



20  
th

令和7年度

---

学生生活  
実態調査報告書

## まえがき

この度、令和7年度実施の香川大学学生生活実態調査報告書が完成いたしました。本調査は、本学の学生がおかれている生活環境や日常生活における意識や考え方を明らかにするとともに、学生から本学に寄せられるニーズを把握し、学生の要望に寄り沿いながら、学生をサポートできるような大学内諸施策の基礎的資料として活用することを目的として実施しているものです。これまでも、本調査の結果を踏まえ、学生短期貸付金制度の創設をはじめとした支援策の整備が進められてきました。

そして本報告書は、学生生活の実情や学生の多様な考え・要望を把握することのできる貴重な資料であり、本学として学生生活のさらなる充実を図るための必要な支援の在り方や、施設・制度面での課題を検討するための重要な手がかりとなっています。

調査は、時代や背景の変化も踏まえて設問を追加・変更しながら、1986年（昭和61年）の開始以来、長年にわたり実施されており、今回で20回目を迎えました。調査方法については、学生の回答負担の軽減や集計作業の効率化を図るため、第11回以降、Webによる調査を行っています。前回調査までは、夜間主コース学生及び留学生を除く全学部学生の中から一定数を無作為に抽出し回答を依頼していましたが、今回の調査から回答者数の増加を図るため、夜間主コース学生及び留学生を除く全学部学生へ回答を依頼する方式へと変更しました。その結果、400名余りの学部学生から回答を得ることができました。

設問の構成については、経済状況などの基本的な事項に関する項目に加え、学業や課外活動をはじめとするキャンパスライフに関する項目を設け、近年の学生生活を取り巻く状況を反映した内容としました。具体的には、SNSの利用状況や、急速に普及している生成AIの利用状況など、幅広い内容を取り上げています。また、前回調査と同様、全設問について所属学部別・入学年度別の集計結果をグラフ化するとともに、一部の設問ではクロス集計を行い、各項目の傾向を視覚的に把握できるよう工夫しています。さらに、今回の調査から、本報告書の内容を簡潔にまとめたダイジェスト版を作成しました。今後も、学生を取り巻く環境の変化を踏まえ、学生生活全体の実態把握につながる調査となるよう、継続的な改善に努めてまいります。

調査にご協力くださった学生の皆さんには、深く感謝申し上げますとともに、今後も本学に対して忌憚のない意見や積極的な提案をお寄せいただくことを期待しています。

香川大学は、「地域に根ざした学生中心の大学」を目指しています。価値観が多様化して先の見えない時代といわれる中にも、この理念のもと、学生一人ひとりが安心して充実した学生生活を送り、これからの時代を生き抜く力を身につけ、地域社会・グローバル社会に貢献できる人材に育つよう、学生支援の一層の充実に取り組んでまいります。

最後に、本報告書の作成にあたり、多大なるご尽力を賜りました学生支援センター会議委員の皆様、ならびに関係する教職員の方々に、心より御礼申し上げます。

令和8年3月

副学長（学生支援・ダイバーシティ・特命担当）

平野 美紀

## 令和7年度学生支援センター会議委員

センター長	平野美紀
副センター長	小方朋子
バリアフリー支援室長	坂井聡
センター主担当教員	大沼泰枝
教育学部	篠原渉
教育学部	宮前淳子
法学部	石井一也
法学部	溝渕彰
経済学部	古川尚幸
経済学部	松井潤
医学部	金西賢治
医学部	山本美輪
創造工学部	小水内俊介
創造工学部	小宅由似
農学部	高田悟郎
農学部	古本敏夫
地域マネジメント研究科	吉澤康代
保健管理センター	野仲和真
教育・学生支援部	藤沢博伸

# 目 次

## 第1章 香川大学学生生活実態調査について

(1) 調査の目的	1
(2) 調査実施期間	1
(3) 調査の内容及び項目	1
(4) 調査の対象と方法	2
(5) 集計と報告書の作成	2

## 第2章 調査結果の概要について

### I. 基本的事項について

1. 属性	3
2. 通学方法	6
3. 経済状況	11
(1) 住居の形態	11
(2) 住居を選んだ理由	12
(3) 部屋の間取り	14
(4) 1ヶ月の仕送り額	15
(5) 1ヶ月の支出額	16
(6) 1ヶ月の住居費	17
(7) 1ヶ月の食費	18
(8) 1ヶ月の奨学金	19
(9) 過去1年間のアルバイト経験	20
(10) 1ヶ月のアルバイト収入	21
(11) アルバイトの主な職種	22
(12) アルバイト収入の主な使途	23

### II. キャンパスライフについて

1. 学 業	24
(1) 学部・学科の満足度	24
(2) 1日の勉強時間	25
(3) 授業以外の取り組み	26
(4) アルバイトに費やす時間	28
(5) アルバイトと学業の関係	29
(6) 教員との交流	31
(7) 学生窓口の対応	32
(8) バリアフリー支援室について	33
(9) ダイバーシティ推進室について	34

2. 課外活動	3 5
(1) サークルへの加入	3 5
(2) サークルに加入した理由	3 6
(3) サークル活動の感想	3 7
(4) サークル活動と学業の関係	3 8
(5) サークルに加入しない理由	3 9
3. 職業選択	4 0
(1) 卒業後の進路	4 0
(2) 職種を選ぶ基準	4 1
(3) 希望する分野	4 2
(4) 職業選定で重視すること	4 3
(5) 就職を希望する地域	4 5
(6) 就職活動で不安なこと	4 7
(7) 就職に関する大学への要望	4 8
4. 情報社会における安心・安全	4 9
(1) SNSの利用状況	4 9
(2) SNSの利用時間	5 0
(3) SNS上でのトラブル	5 1
(4) 生成AIについて	5 3
(5) 生成AIの主な用途	5 4
(6) 生成AIの活用について	5 6
(7) 闇バイトについて	5 7
5. 健康	6 2
(1) 保健管理センターの利用状況	6 2
(2) 身体の具合が悪くなったときの対処方法	6 4
(3) 飲酒の頻度	6 5
(4) 喫煙の頻度	6 6
(5) 1日の睡眠時間	6 7
(6) 1日の食事回数	6 8
(7) 精神的ストレス	6 9
(8) ストレスの要因	7 0
(9) 問題に直面したときの対処方法	7 1
(10) 学内の友人関係	7 3

<b>第3章 自由記述欄への回答について</b>	<b>7 4</b>
--------------------------	------------

## 第1章 香川大学学生生活実態調査について

## (1) 調査の目的

香川大学学生生活実態調査は、香川大学の学生がどのような条件のもとで、どのような意識をもって学生生活を営んでいるのかといった、学生生活の実態を把握し、大学の諸施策の基礎的資料として活用することを目的としています。この調査は、1986年(昭和61年)の第1回以来これまでに19回実施されており、それぞれ報告書にまとめられています。

第1回調査	1986年(昭和61年)	第2回調査	1989年(平成元年)
第3回調査	1992年(平成4年)	第4回調査	1994年(平成6年)
第5回調査	1996年(平成8年)	第6回調査	1998年(平成10年)
第7回調査	2000年(平成12年)	第8回調査	2002年(平成14年)
第9回調査	2004年(平成16年)	第10回調査	2006年(平成18年)
第11回調査	2008年(平成20年)	第12回調査	2009年(平成21年)
第13回調査	2011年(平成23年)	第14回調査	2013年(平成25年)
第15回調査	2015年(平成27年)	第16回調査	2017年(平成29年)
第17回調査	2019年(令和元年)	第18回調査	2021年(令和3年)
第19回調査	2023年(令和5年)		

この調査は、第1回から第3回まではおおむね3年ごとに実施してきましたが、社会人入学、外国人留学生の増加等多様化する学生や、急速に変化する大学の教育環境を明確に把握するため、第4回からは、2年ごとに実施することとしました。第11回から毎年実施することになりましたが、第12回から従来の2年に一回に戻すことになりました。

調査内容についても、経済状況などの基礎的な調査に加えて、その時々におけるトピックス的なテーマに関する調査を実施しています。

## (2) 調査実施期間

この調査は、令和7年6月24日から8月31日まで実施し、6月1日現在の状況について回答を依頼しました。

## (3) 調査の内容及び項目

調査項目の設定に当たっては、経済状況などの基礎的な事項に加え、今回はトピックス的な事項として、情報社会における安心・安全についての調査を実施しました。

設定項目は、「Ⅰ. 基本的事項について」「Ⅱ. キャンパスライフについて」に分けられています。それぞれの質問内容及び質問数は、以下のとおりです。合計で66問になっています。

- Ⅰ. 基本的事項 : 属性(3問)、通学方法(3問)、経済状況(13問)
- Ⅱ. キャンパスライフ : 学業(10問)、課外活動(5問)、職業選択(7問)、情報社会における安心・安全(13問)、健康(12問)

#### (4) 調査の対象と方法

調査に当たっては、全学部学生（但し、夜間主コース学生及び留学生を除く）を対象に、教務システムにて回答を依頼しました。学部別、入学年度別の回収数、回収率は、次表に示すとおりです。

令和7年度学生生活実態調査 学部別、入学年度別の回答者数及び回答率

区 分		調査対象者数	回答者数	回答率 (%)	
学 部 別	教育学部	706	98	13.9	
	法学部	668	83	12.4	
	経済学部	1,073	81	7.5	
	医 学 部	医学科	693	29	4.2
		看護学科	341	22	6.5
		臨床心理学科			
	創造工学部	1,435	94	6.6	
農学部	620	80	12.9		
学部別 計		5,536	487	8.8	
入 学 年 度 別	2025年度	1,302	237	18.2	
	2024年度	1,313	89	6.8	
	2023年度	1,271	68	5.4	
	2022年度	1,235	82	6.6	
	2021年度	219	3	1.4	
	2020年度	153	7	4.6	
	2019年度以前	43	1	2.3	
入学年度別 計		5,536	487	8.8	

※留学生及び法学部・経済学部の夜間主コースの学生は除いています。

#### (5) 集計と報告書の作成

各調査項目に対する回答については、調査結果が分かりやすいように回答者の所属する学部ごとに、また、入学年度別でも集計し、帯グラフとして表しています。

さらに、報告書の作成に当たっては、主な調査項目について、学生支援センター会議委員が分析を行いました。

※本報告書では、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が必ずしも100.0%にはなりません。

## 第2章 調査結果の概要について

# I. 基本事項について

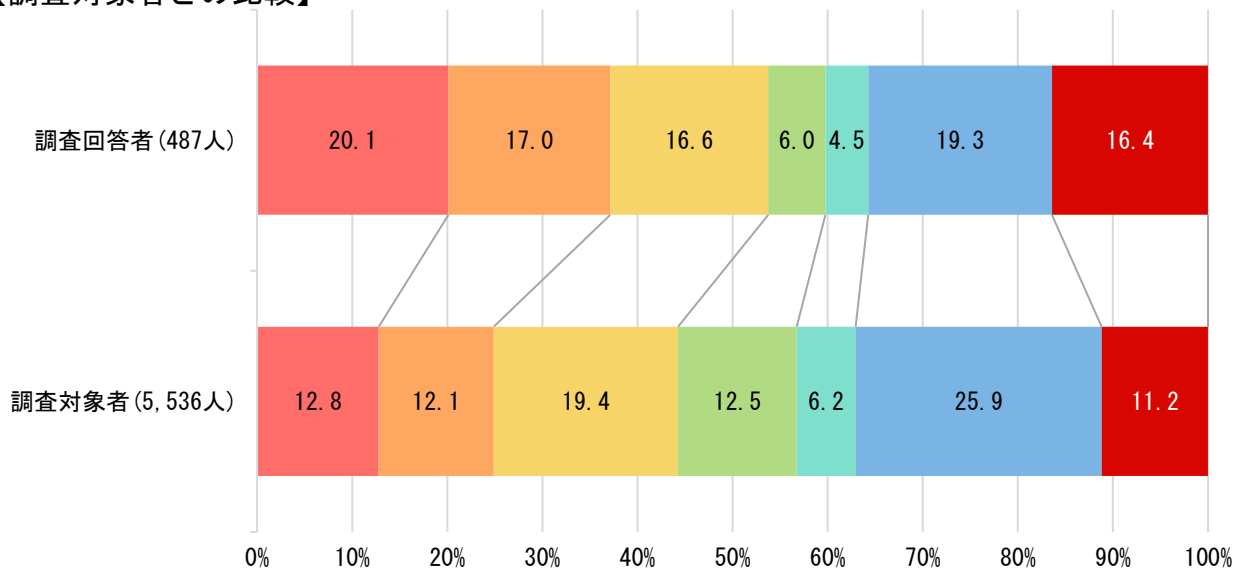
## 1. 属性

問1 あなたの所属学部を選択してください。

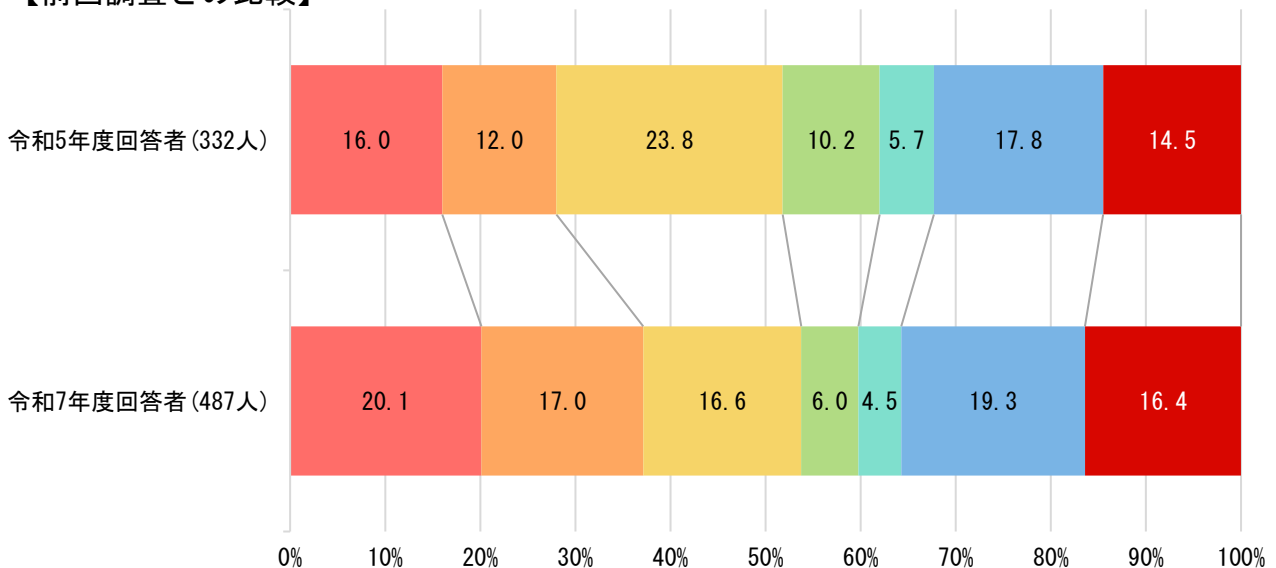
前回調査（2023年度実施）と比較すると、回答者の割合は教育学部+4.1%、法学部+5.0%、経済学部-7.2%、医学部医学科-4.2%、医学部看護・臨床心理学科-1.2%、創造工学部+1.5%、農学部+1.9%となりました。  
調査対象者の学部別割合と比較すると、特に、教育学部、法学部、農学部の回答割合が高くなっています。

■教育学部 ■法学部 ■経済学部 ■医学部医学科 ■医学部看護・臨床心理学科 ■創造工学部 ■農学部

### 【調査対象者との比較】



### 【前回調査との比較】

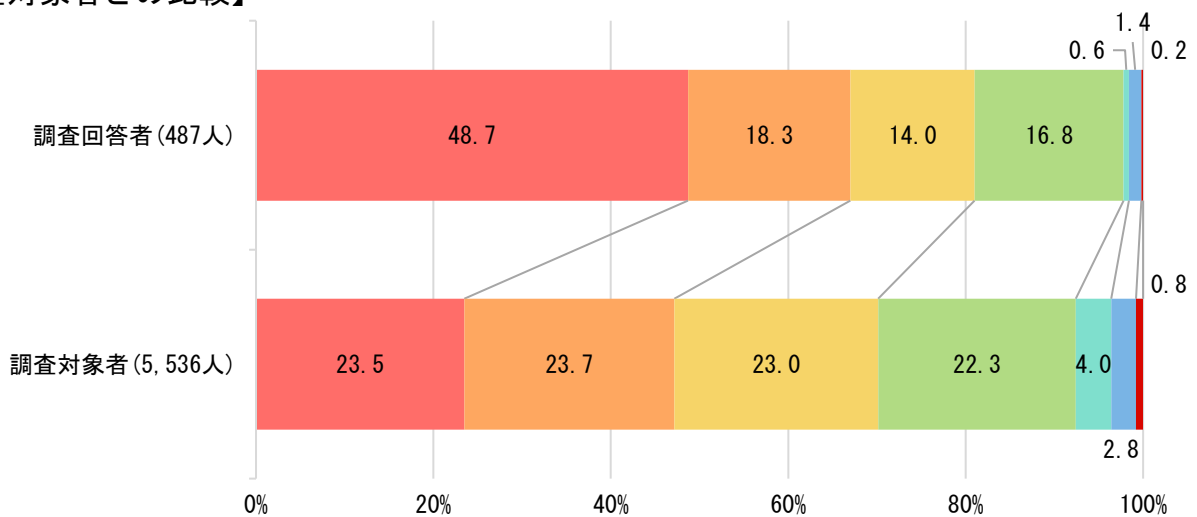


問2 あなたの本学への入学年度はいつですか。

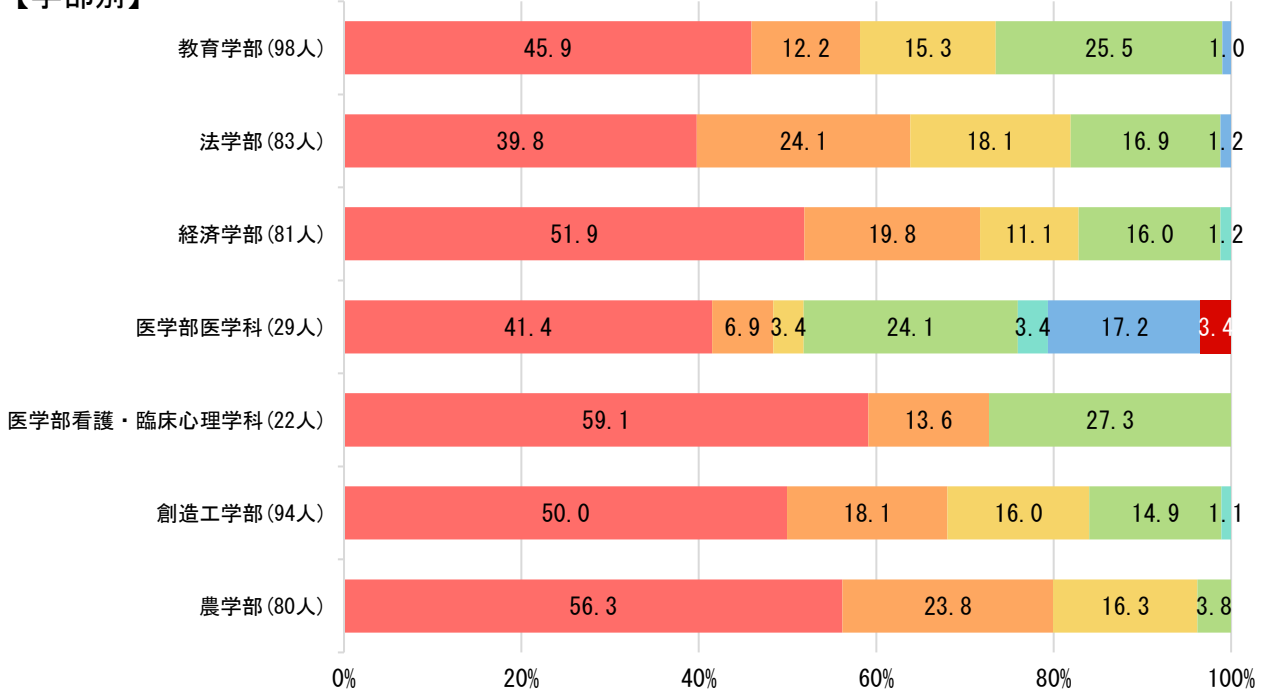
前回調査では、入学年度別の回答割合は2023年度41.3%、2022年度20.8%、2021年度17.8%、2020年度15.7%、2019年度2.4%、2018年度1.8%、2017年度以前0.3%で、調査実施年度入学者の回答割合が実施年度以前入学者に比べて高い結果となりましたが、今回調査においても同様の結果となりました。  
所属学部別においても、おおむね同様の結果となっています。

■ 2025年度 ■ 2024年度 ■ 2023年度 ■ 2022年度 ■ 2021年度 ■ 2020年度 ■ 2019年度以前

【調査対象者との比較】



【学部別】

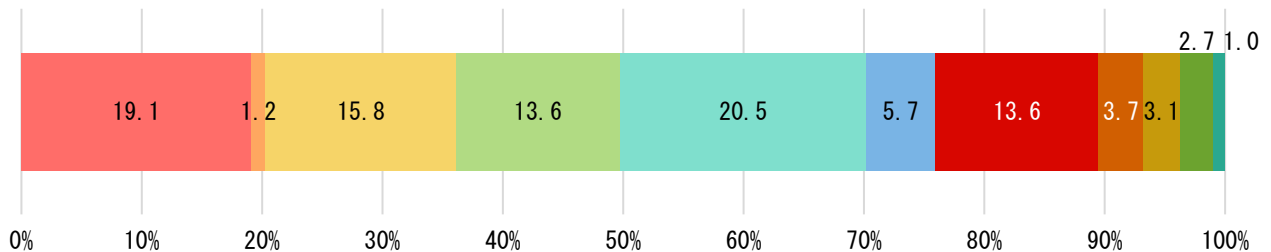


問3 あなたの出身地はどこですか。

前回調査と比較すると、高松市+1.3%、三木町-0.3%、香川県内（高松市・三木町を除く）-0.5%、四国地方（香川県を除く）+1.3%、岡山県+1.2%、中国地方（岡山県を除く）-1.2%、近畿地方+0.9%、中部地方-1.1%、関東地方-1.1%、九州・沖縄地方-0.3%、その他-0.2%となりました。  
 所属学部別にみると、教育学部、医学部看護・臨床心理学科では、他の学部比べて香川県内出身者の割合が高く、約半数を占めています。  
 入学年度別では、おおむね全体と同様の傾向がみられます。

- 高松市
- 三木町
- 香川県（高松市・三木町を除く）
- 四国地方（香川県を除く）
- 岡山県
- 中国地方（岡山県を除く）
- 近畿地方
- 中部地方
- 関東地方
- 九州・沖縄地方
- その他

【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



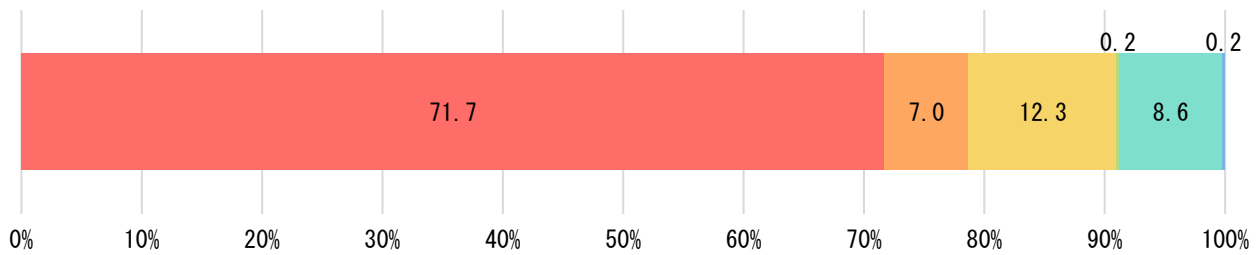
## 2. 通学方法

問4 あなたはどこから通学していますか。

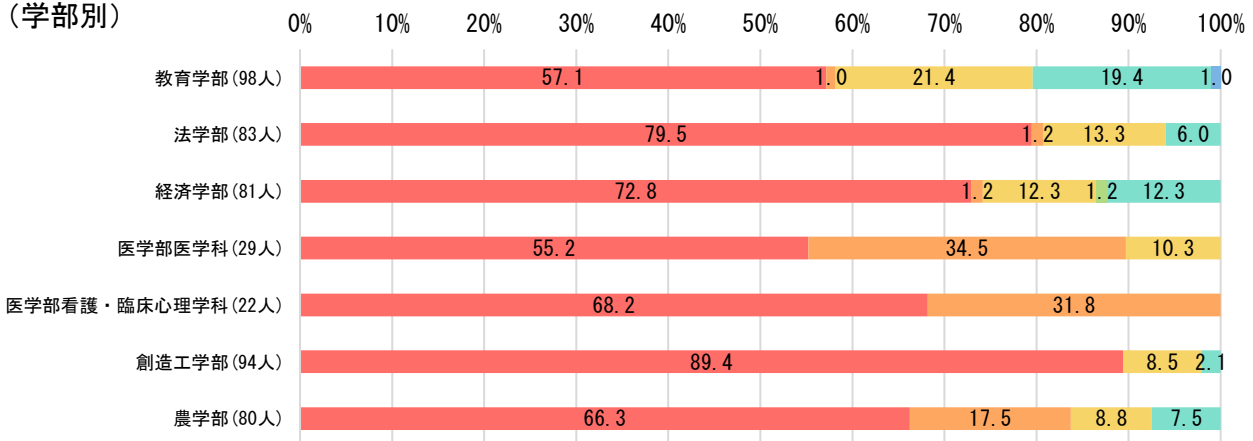
前回調査と比較すると、高松市+1.5%、三木町-4.1%、香川県内（高松市・三木町を除く）-0.7%、四国地方（香川県を除く）+0.2%、岡山県+2.9%、中国地方（岡山県を除く）+0.2%となりました。  
所属学部別にみると、医学部、農学部ではキャンパスが三木町に所在するため、他の学部に比べて三木町居住者の割合が高くなっています。  
入学年度別では、顕著な差はみられませんでした。

- 高松市
- 三木町
- 香川県（高松市・三木町を除く）
- 四国地方（香川県を除く）
- 岡山県
- 中国地方（岡山県を除く）
- 近畿地方
- 中部地方
- 関東地方
- 九州・沖縄地方
- その他

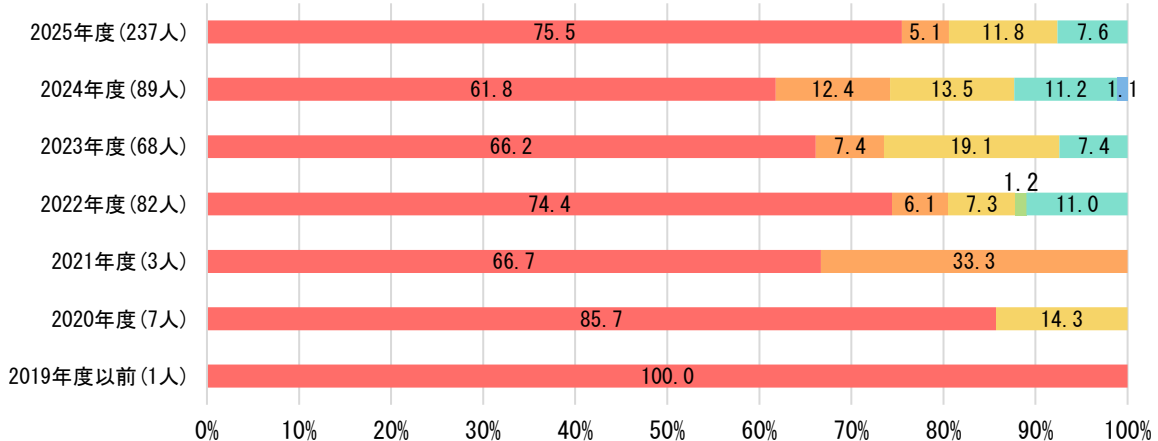
### 【全体(487人)】



### (学部別)



### (入学年度別)

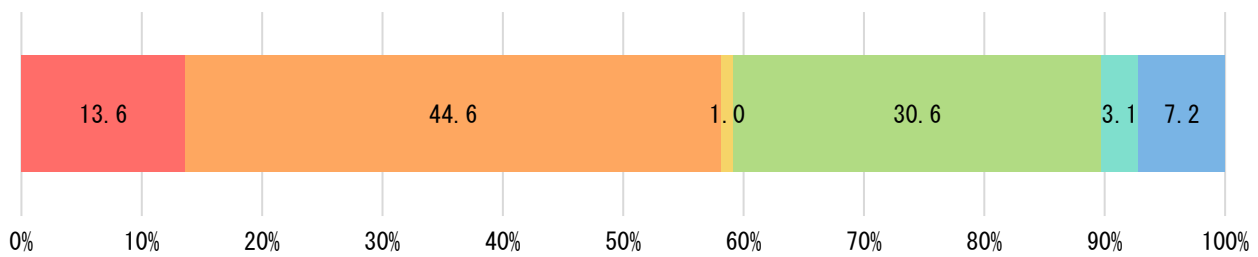


問5 あなたは主としてどのような方法で通学していますか。

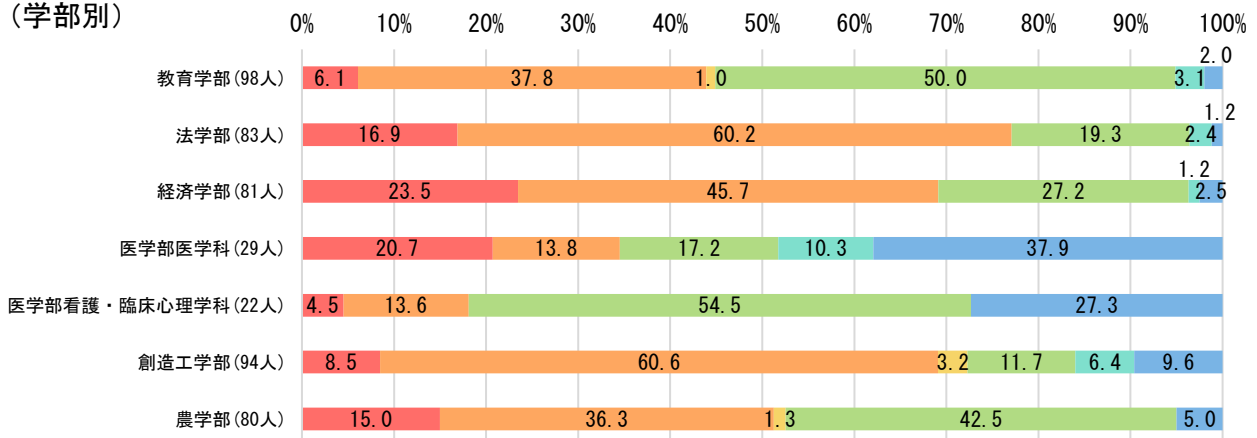
前回調査と比較すると、徒歩-0.6%、自転車+1.5%、バス-1.1%、電車・鉄道+6.8%、自動二輪（原付を含む）-2.3%、自動車-3.6%、その他-0.6%となり、前回調査同様、自転車の割合が最も高くなりました。  
 所属学部別では、医学部は他の学部比べて自動車の割合が高くなっていますが、入学年度別では顕著な差はみられませんでした。  
 居住地別に見ると、キャンパスの所在する高松市、三木町からの通学者は、徒歩または自転車の割合が過半数を超えています。

■ 徒歩 ■ 自転車 ■ バス ■ 電車・鉄道 ■ 自動二輪（原付を含む） ■ 自動車 ■ その他

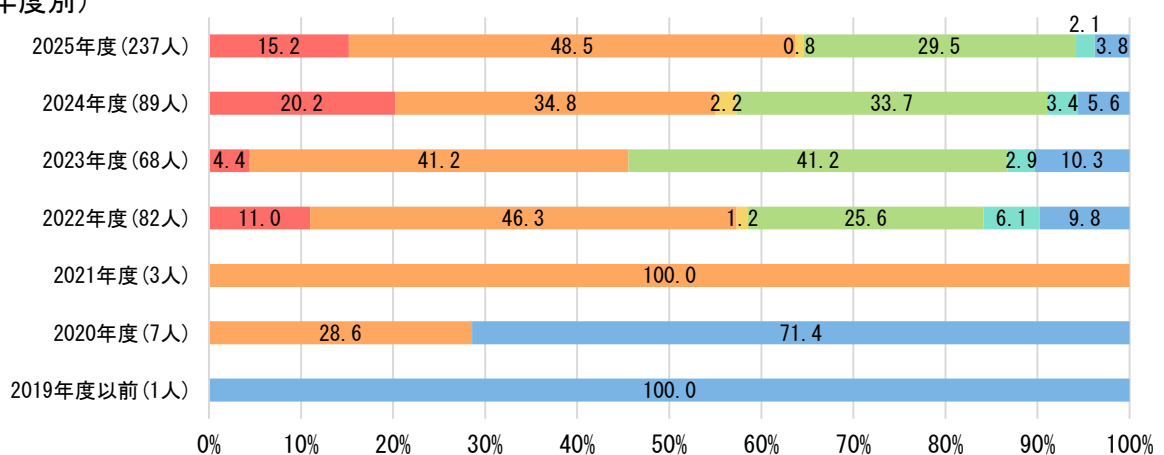
【全体(487人)】



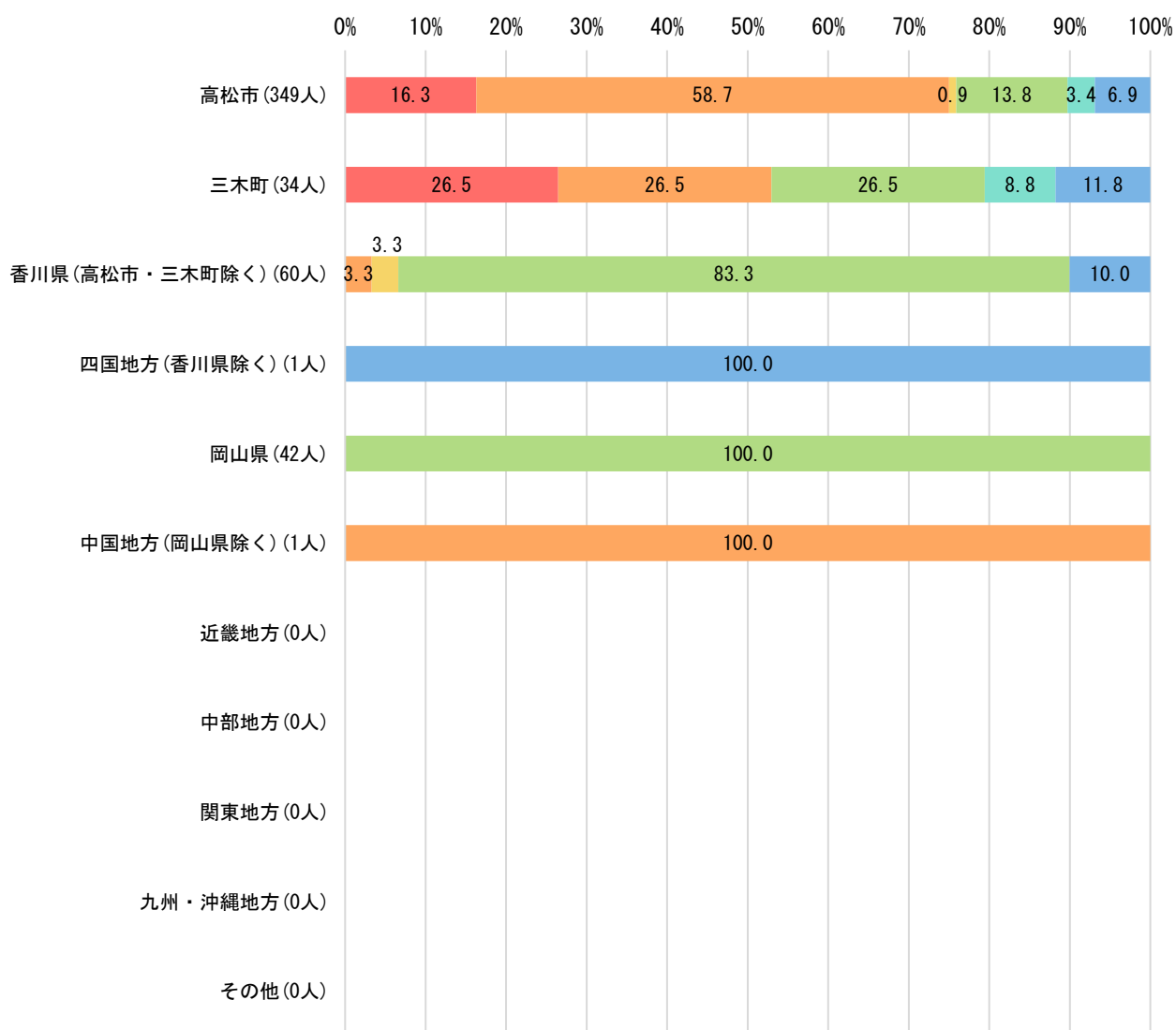
(学部別)



(入学年度別)



(通学方法×居住地)

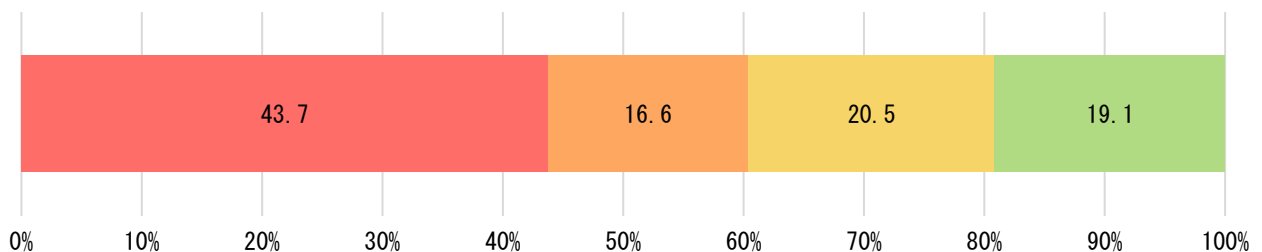


問6 あなたが通学に要する所要時間（片道）はおよそ何分ですか。

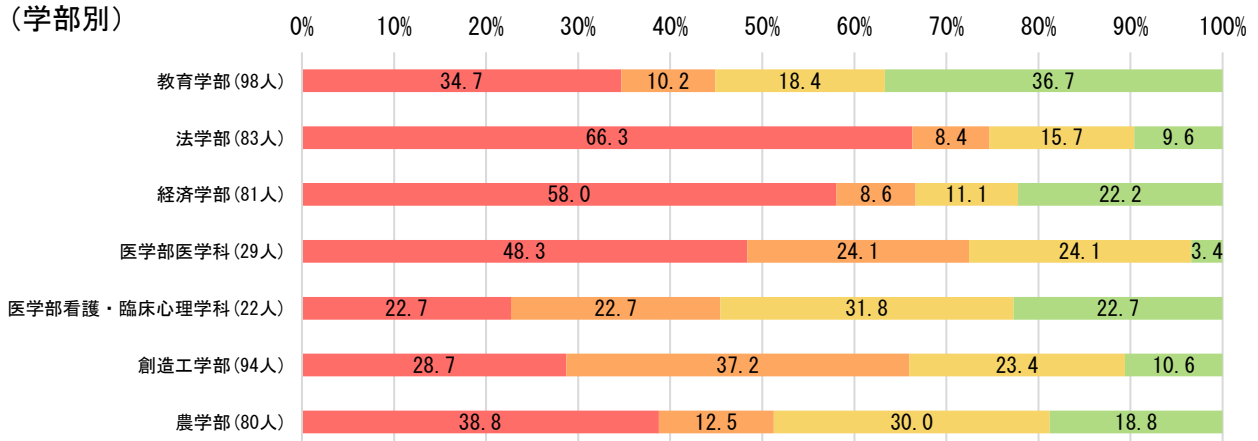
前回調査と比較すると、15分以内-3.9%、16～30分-3.3%、31～60分+1.8%、61分以上+5.2%となり、前回調査同様、15分以内の割合が最も高くなりました。  
 所属学部別・入学年度別においてもおおむね同様の傾向がみられますが、法学部、経済学部では15分以内の割合が過半数を超えています。  
 居住地別に見ると、高松市、三木町居住者は15分以内の割合が過半数を超えています。なお、中国地方（岡山県を除く）居住者の回答は、本調査の対象範囲と整合しないため、誤回答である可能性があります。通学方法別では、運行ダイヤ等に左右されない徒歩、自転車、自動二輪（原付含む）、自動車による通学者については、30分以内の割合が過半数を超えています。

■ 15分以内      ■ 16～30分      ■ 31～60分      ■ 61分以上

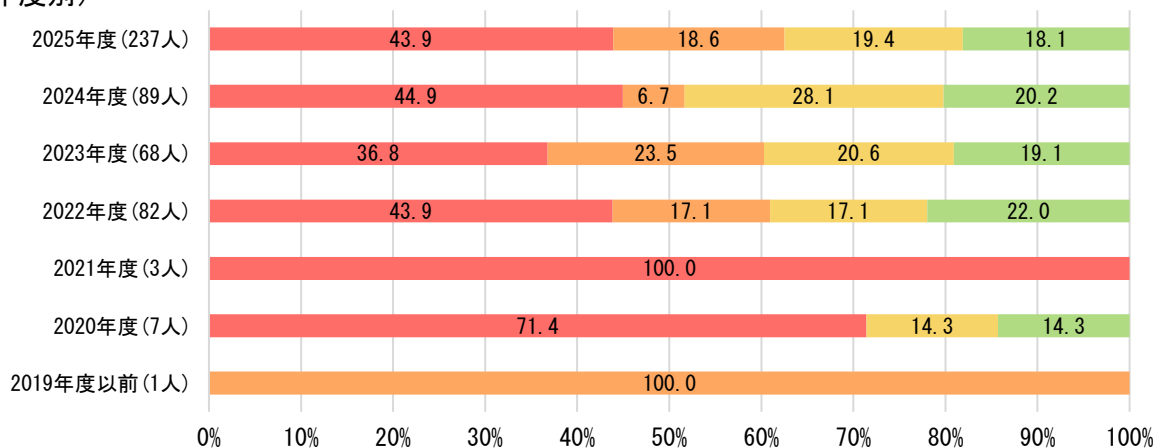
【全体(487人)】



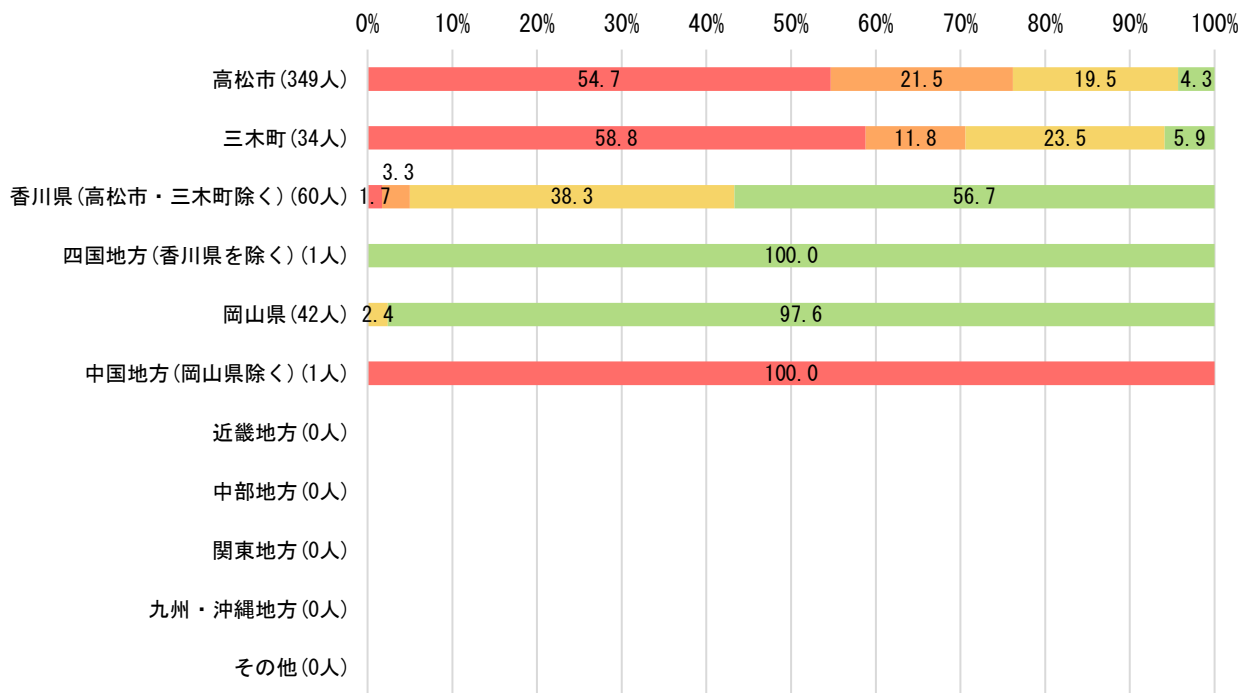
(学部別)



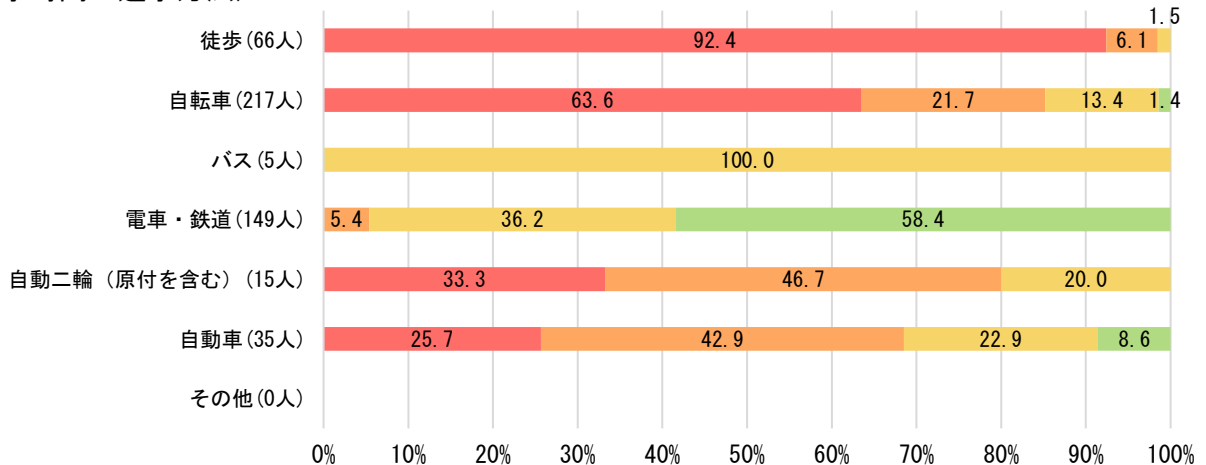
(入学年度別)



(通学時間×居住地)



(通学時間×通学方法)



### 3. 経済状況

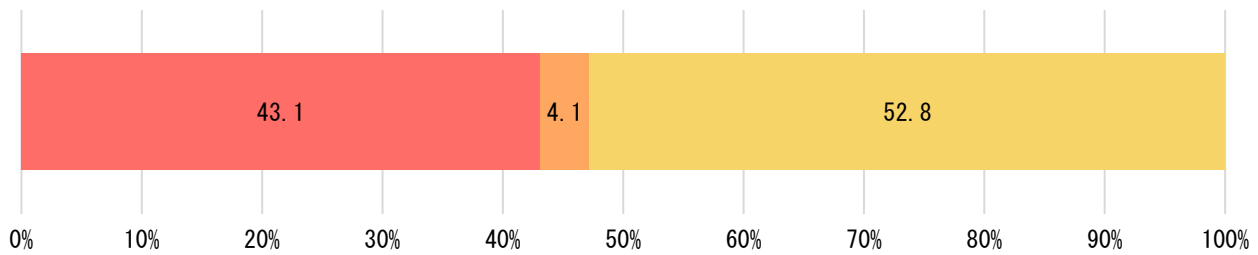
#### (1) 住居の形態

問7 あなたが現在住んでいるのは、次のうちどれですか。

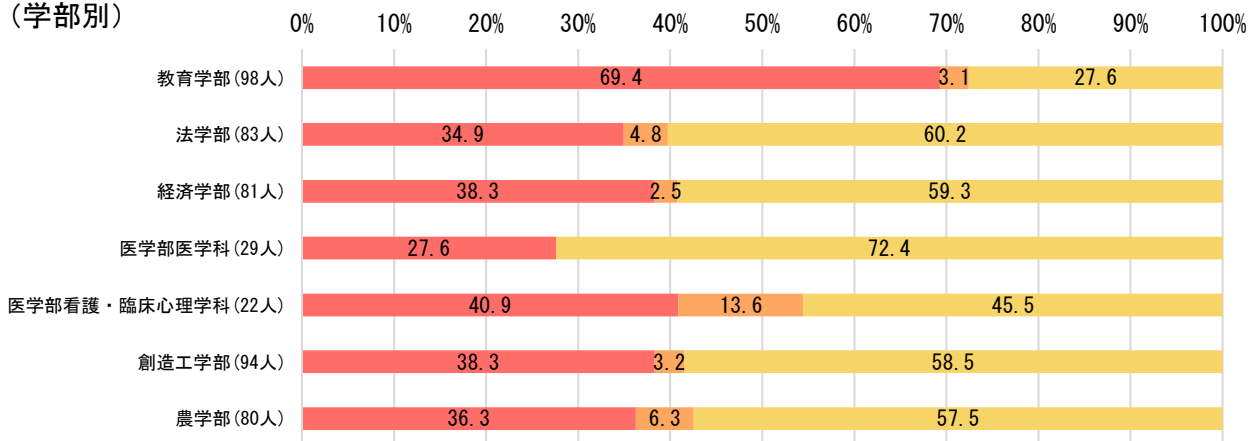
全体の約6割が下宿生、約4割が自宅生であるのは、前回調査と変わりません。所属学部別に見て自宅生が際立って多いのが教育学部です。自宅生が少ないのは医学部医学科です。前回の調査と比較すると、法学部、医学部医学科、農学部で自宅生の割合が増加しました（法学部：22.5%→34.9%、医学部医学科：20.6%→27.6%、農学部：25.0%→36.3%）。また、医学部看護・臨床心理学科の大学の学生寮の割合が0%から13.6%に上がりました。

■自宅 ■大学の学生寮 ■アパート・マンション・下宿

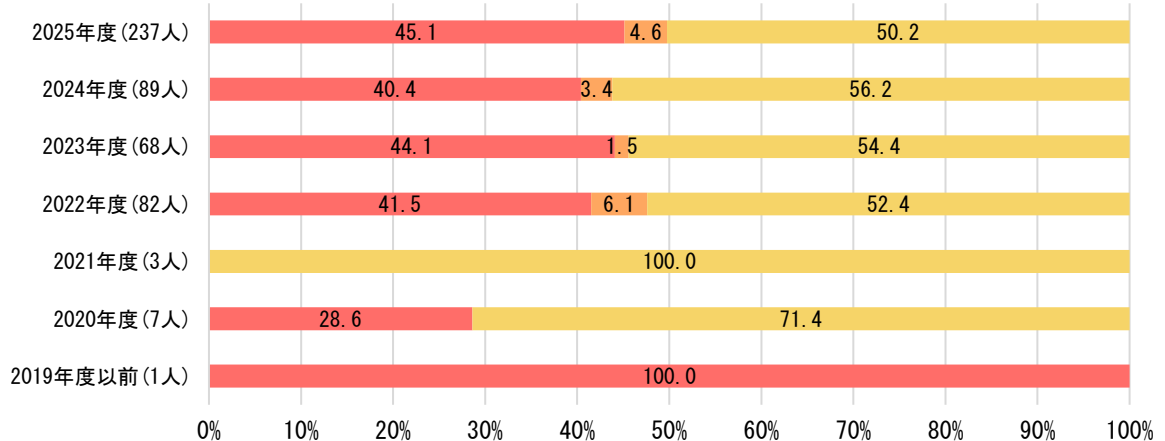
#### 【全体(487人)】



#### (学部別)



#### (入学年度別)



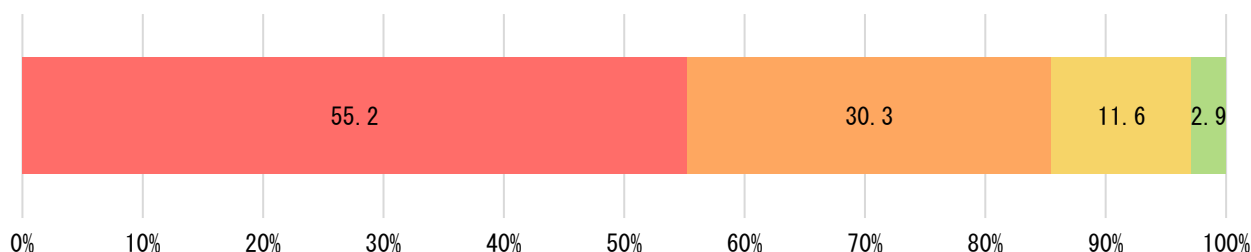
(2) 住居を選んだ理由

問8 現在の住居を選んだ理由は何ですか。

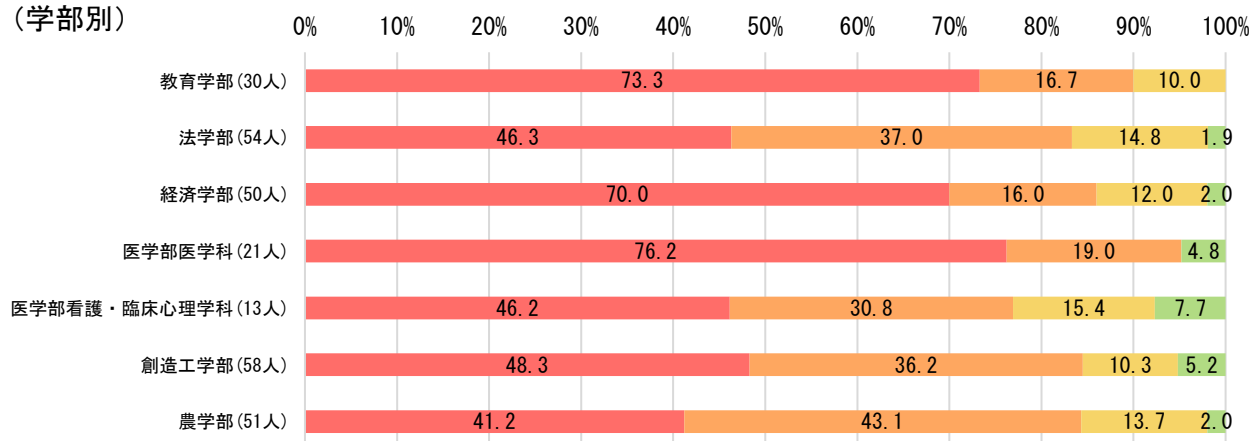
前回調査では、「大学に近い」を理由に選んだ学生が約64%でしたが、今回は約55%に下がりました。「生活するのに便利」を選択した学生は前回調査の27.3%から30.3%とあまり変わらず、「家賃が安い」を選択した学生は前回調査の7.3%から11.6%に上がりました。学部別では「大学に近い」を選んだ学生が法学部で前回から約34%減少し、逆に医学部医学科で約10%上昇しました。また「家賃が安い」が多くの学部において前回調査より増加しました。

■大学に近い ■生活するのに便利 ■家賃が安い ■その他

【全体(277人)】



(学部別)



(入学年度別)



問9 問8で、「その他」を選択した方はその内容を記述してください。

教育学部

（ 回答無し ）

法学部

（ ・きづいたらここでした ）

経済学部

（ ・祖父母の手助けをするため ）

医学部医学科

（ ・人に会わなくて済む ）

医学部看護・臨床心理学科

（ ・安心 ）

創造工学部

（ ・景色がいい  
・通う2つのキャンパスの中間地点であるため ）

農学部

（ ・大学に近い、生活するのに便利、家賃が安い全て ）

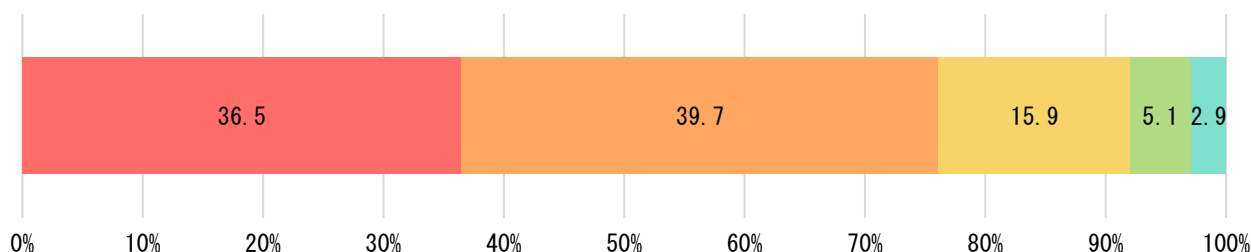
### (3) 部屋の間取り

問10 現在の住居の部屋の間取りはどのタイプですか。

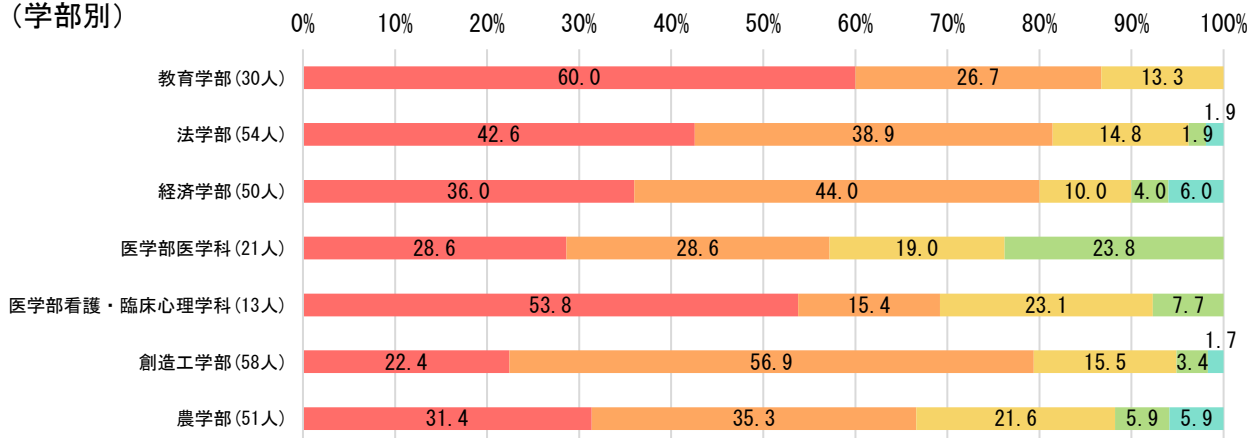
全体の割合は前回調査から大きく変化はありませんでした。  
 学部別では教育学部、医学部医学科、医学部看護・臨床心理学科でワンルームの割合がそれぞれ36.4%から60%、7.4%から28.6%、10%から53.8%に大きく増加しています。逆に法学部、経済学部、創造工学部、農学部ではワンルームの割合が減少し、法学部では1DK以上のタイプが、その他の学部で1Kタイプが増加しました。

■ ワンルーム ■ 1K ■ 1DK ■ 1LDK ■ その他

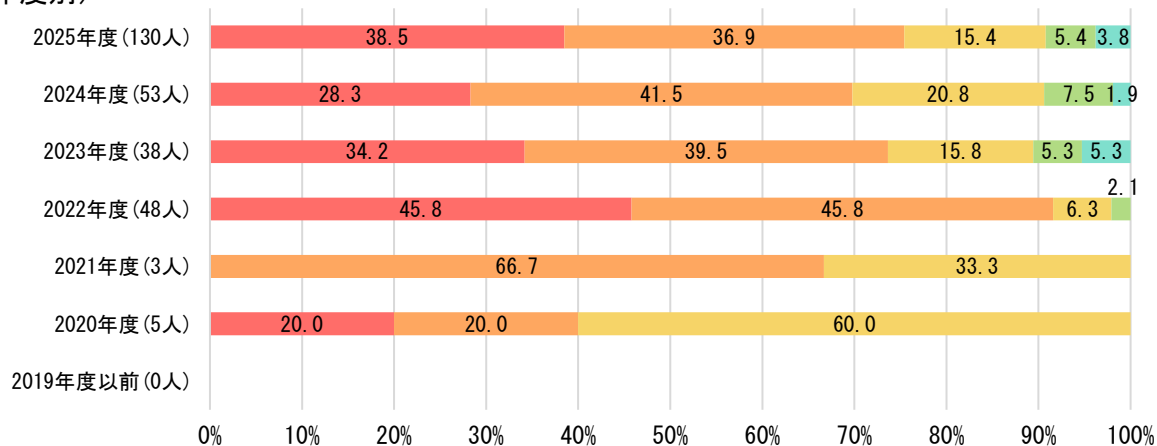
#### 【全体(277人)】



#### (学部別)



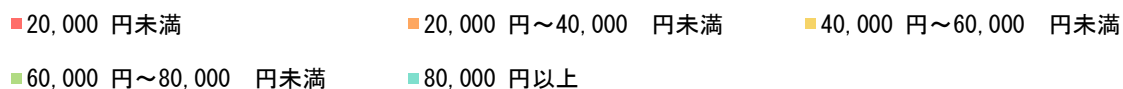
#### (入学年度別)



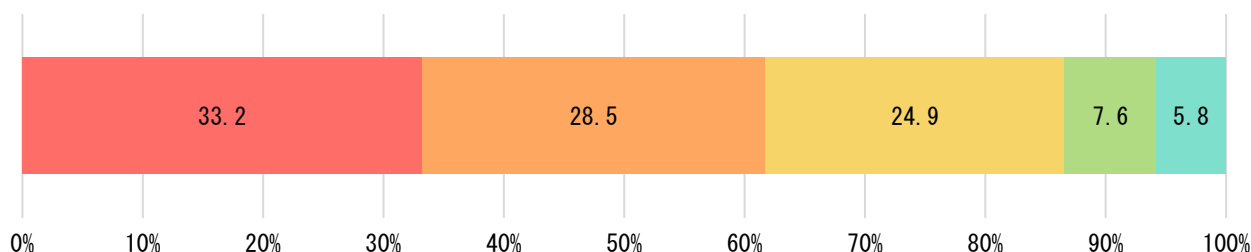
(4) 1ヶ月の仕送り額

問11 あなたの仕送り額はいくらですか。(家賃を除く。)

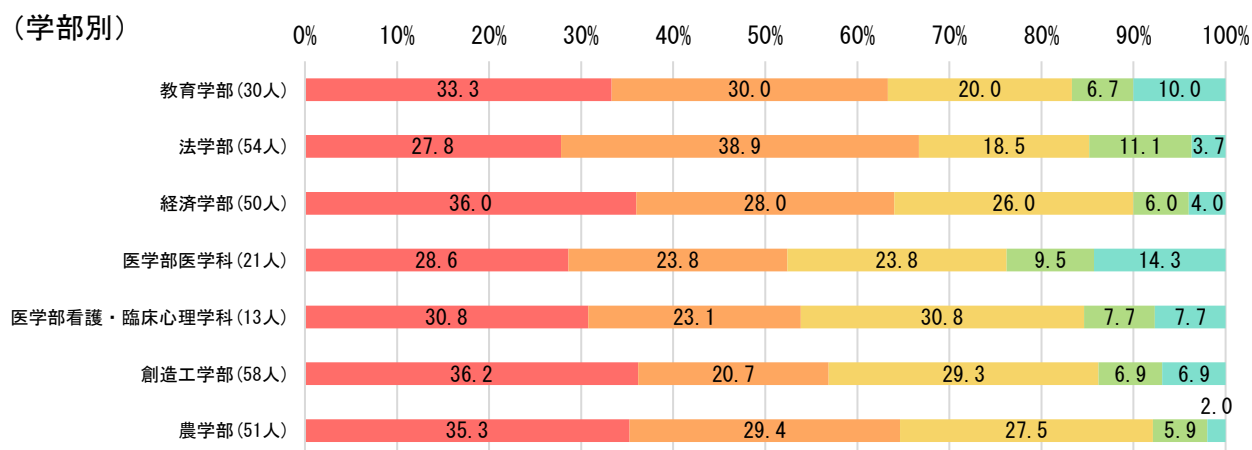
4万円未満が全体の約6割、6万円以上がおよそ1割であるのは、前回調査と変わりません。所属学部別に見ると、教育学部、法学部、経済学部、農学部の仕送り額がやや低い傾向にあるようです。しかし医学部医学科は、前回調査に比べて2万円未満の仕送りを受ける学生が約1割から約3割に上昇しています。入学年度別に見ると、2023年度入学生の2万円未満の割合が低くなっています。



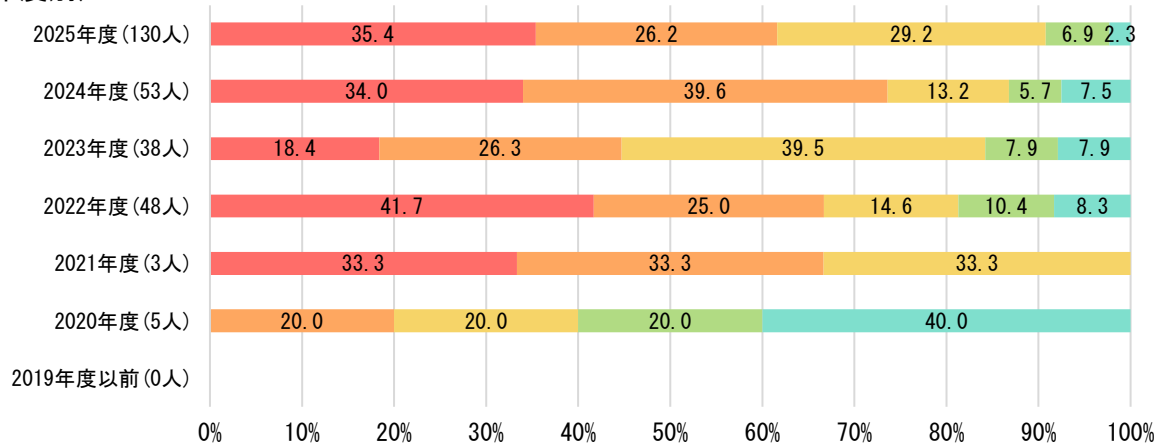
【全体(277人)】



(学部別)



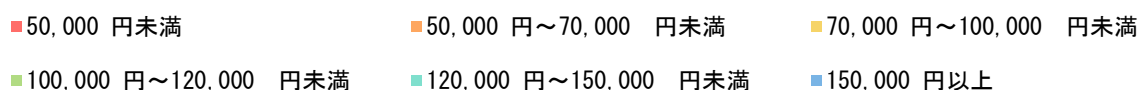
(入学年度別)



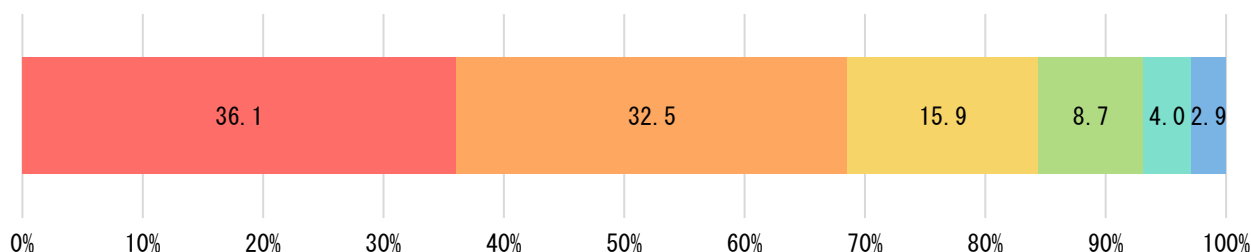
(5) 1ヶ月の支出額

問12 あなたの最近1年間における、1か月の支出平均額はいくらですか。(授業料を除く。)

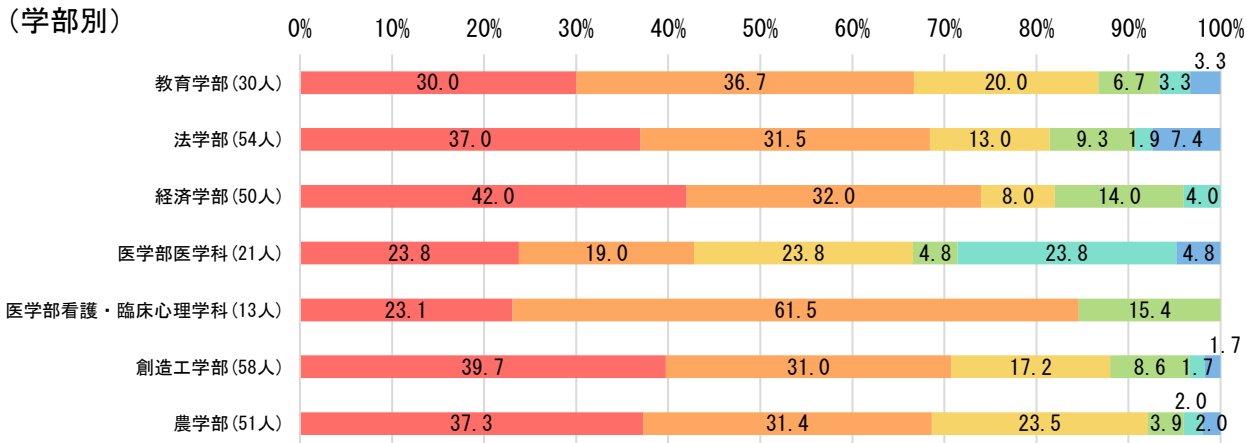
5万円未満が全体の3分の1程度を占めており、10万円を超える学生は15%程度です。所属学部別に見ると、医学部医学科の学生に支出が多く、3割程度の学生が12万以上となっています。医学部看護・臨床心理学科では、8割以上が7万円未満である一方、7万～10万円未満と回答した学生はいませんでした。また2021年度から2025年度にかけて、学年が上がるにつれて支出額が上がる傾向がみられました。



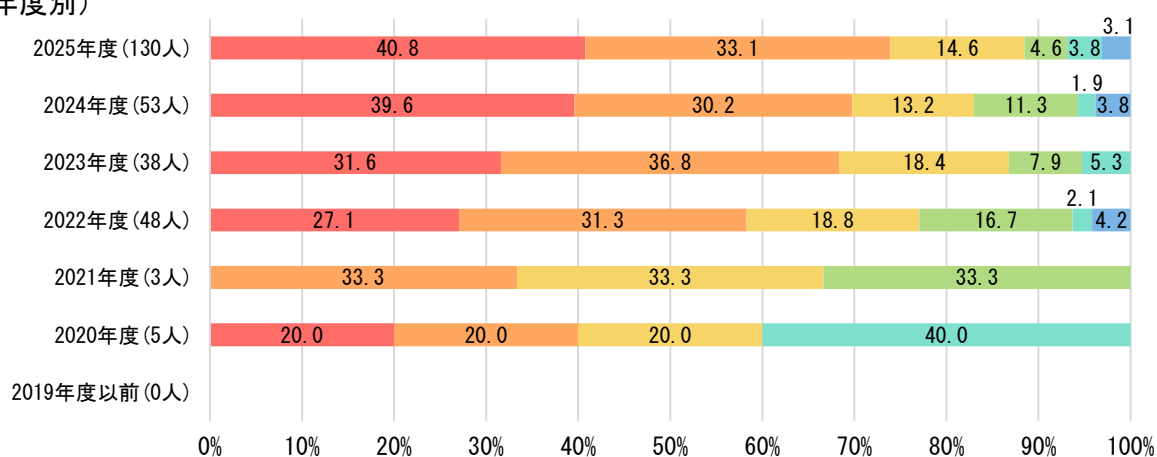
【全体(277人)】



(学部別)



(入学年度別)



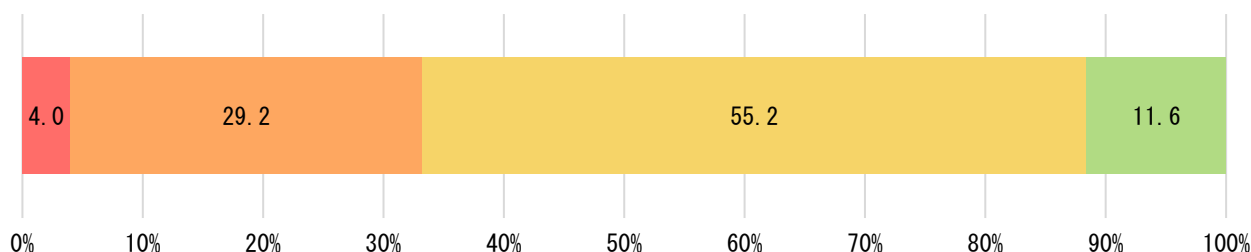
(6) 1ヶ月の住居費

問13 あなたの1ヶ月の住居費はいくらですか。

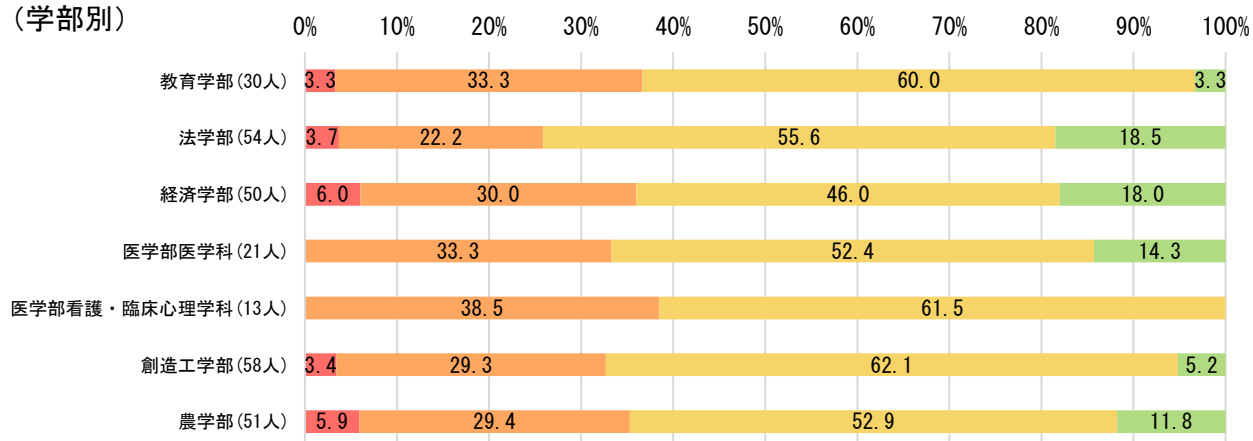
全体の3分の1程度が4万円未満で、4万以上の割合が前回調査よりもやや増えています。今回はすべての学部で4万円以上が6割を超えており、全体的に前回よりも1ヶ月の住居費は高くなっているといえます。教育学部では4万円～6万円未満と回答した人の割合が、前回調査よりも20%程度上昇しました。また、法学部、経済学部、医学部医学科、農学部では、6万円以上の割合が増加しています。

■ 20,000 円未満 ■ 20,000 円～40,000 円未満 ■ 40,000 円～60,000 円未満 ■ 60,000 円以上

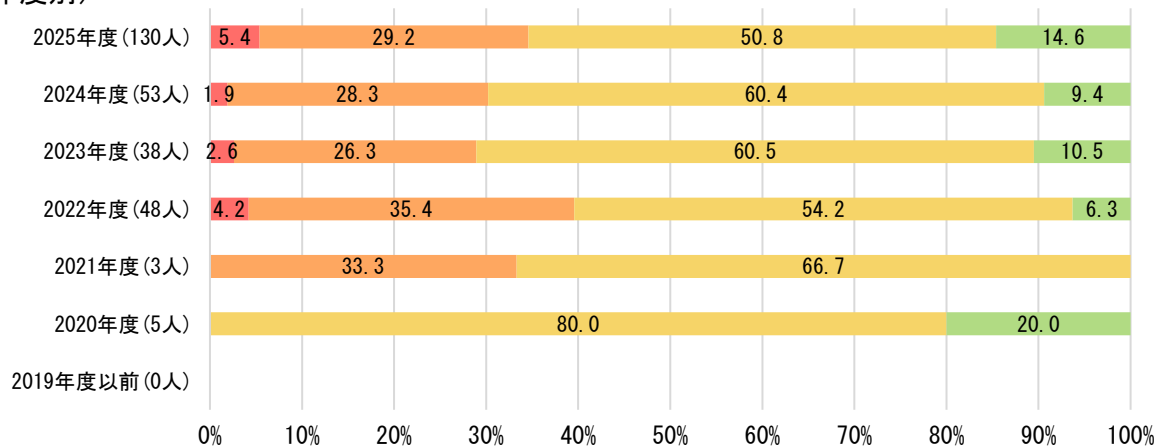
【全体(277人)】



(学部別)



(入学年度別)



(7) 1ヶ月の食費

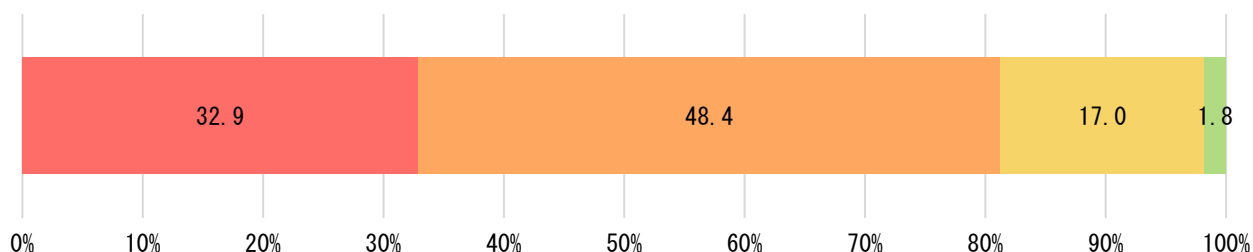
問14 あなたの最近1年間における、1ヶ月の食費の平均額はいくらですか。

食費が3万円未満の学生が8割を超えており、そのうち2万円未満と回答している学生が全体の3分の1近くとなっています。

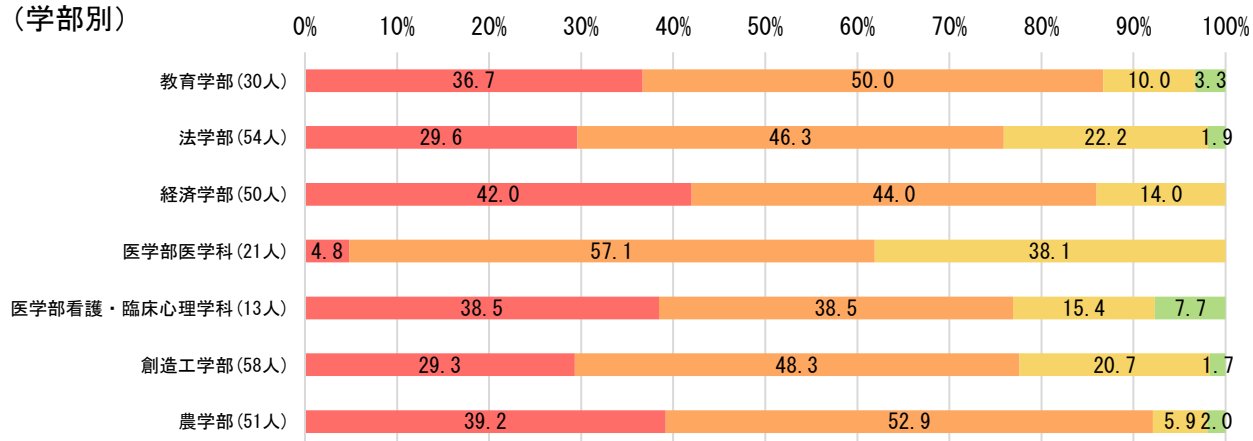
所属学部別でみると、医学部医学科では2万円未満の学生が他学部に比べて少なく、2万円～3万円未満の学生が6割近くとなっています。学年別で見ると、2万円未満と回答する学生の割合が学年の上昇に伴って減少していることが分かります。

■ 20,000 円未満 ■ 20,000 円～30,000 円未満 ■ 30,000 円～40,000 円未満 ■ 40,000 円以上

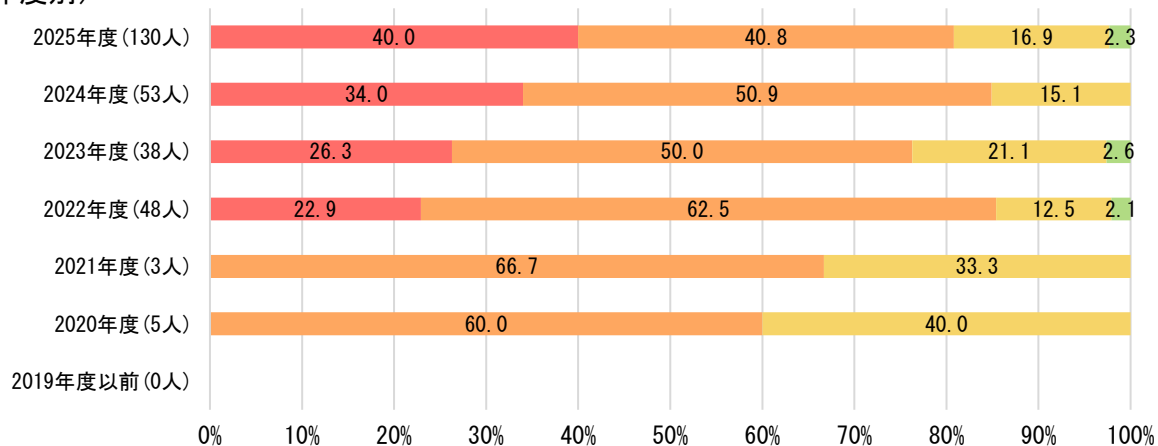
【全体(277人)】



(学部別)



(入学年度別)



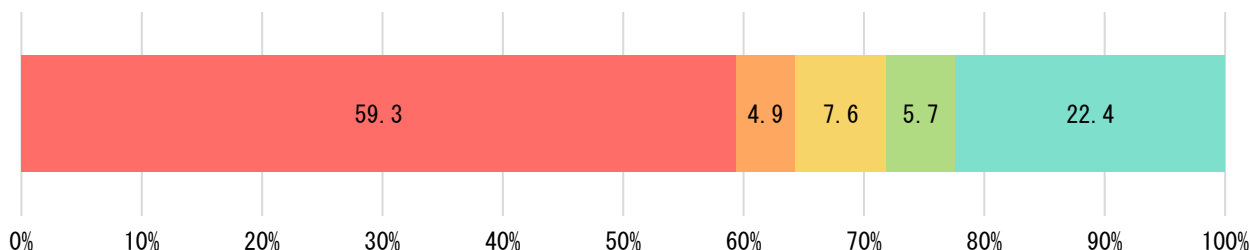
(8) 1ヶ月の奨学金

問15 あなたの1ヶ月の奨学金はいくらですか。

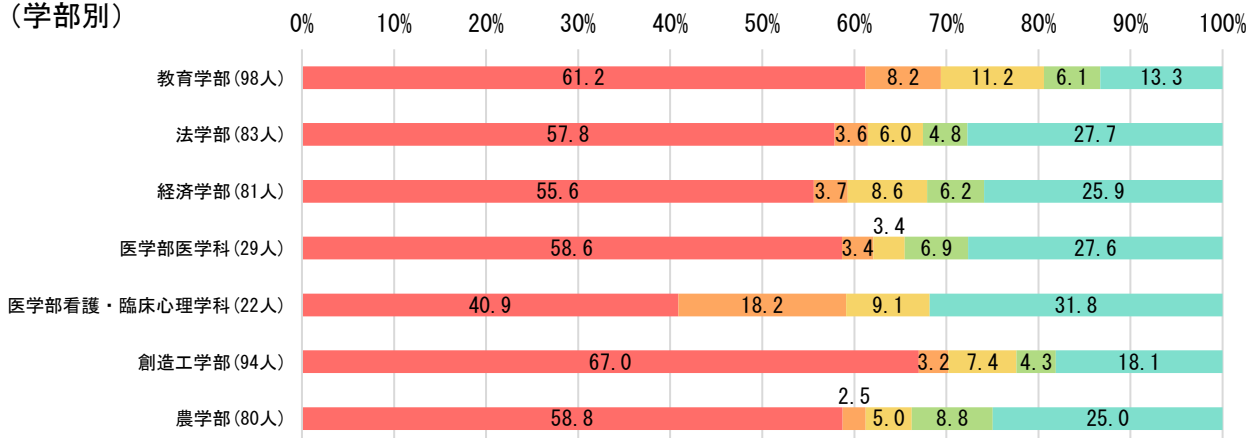
全体では奨学金非受給者の割合は59.3%であり、前回調査時の63.3%から4%ポイント減少しています。非受給者が比較的多いのは、創造工学部で67.0%、逆に低いのが医学部看護・臨床心理学科で40.9%となっています。また、入学年度によって奨学金利用状況に差があり、近年入学した学生ほど奨学金を利用している割合が高くなっています。物価上昇や生活費の増加が影響している可能性があります。なお、奨学金受給者のうち、22.4%が月額4万円以上の給付・貸与を受けており、一部の学生では生活費や学修環境を維持するうえで奨学金への依存度が高い状況がうかがえます。

■ 0円 ■ 20,000円未満 ■ 20,000円～30,000円未満 ■ 30,000円～40,000円未満 ■ 40,000円以上

【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



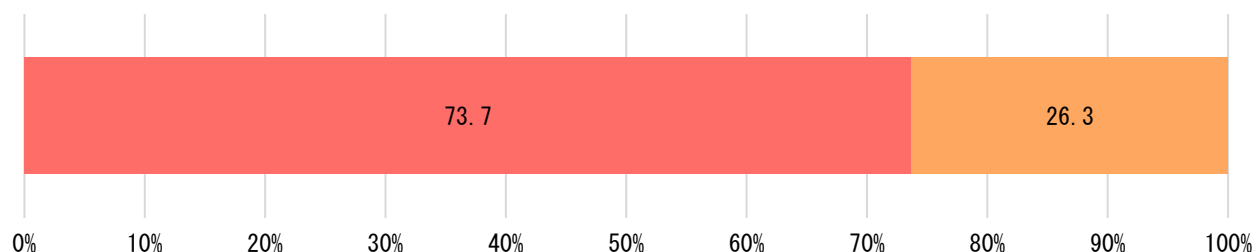
(9) 過去1年間のアルバイト経験

問16 あなたは最近1年間にアルバイトをしましたか。

入学年度別では、1年生（2025年度入学生）のアルバイト経験率が60.8%と比較的低い結果となりました。入学初期は、履修状況や生活リズムの形成段階にあることが影響している可能性があります。今後、継続調査の中で変化を追う必要があります。一方、2年生以降では84.3～89.0%と高い割合で推移しており、学年が進むにつれてアルバイトが生活の一部として定着している様子がうかがえます。

■ した                      ■ していない

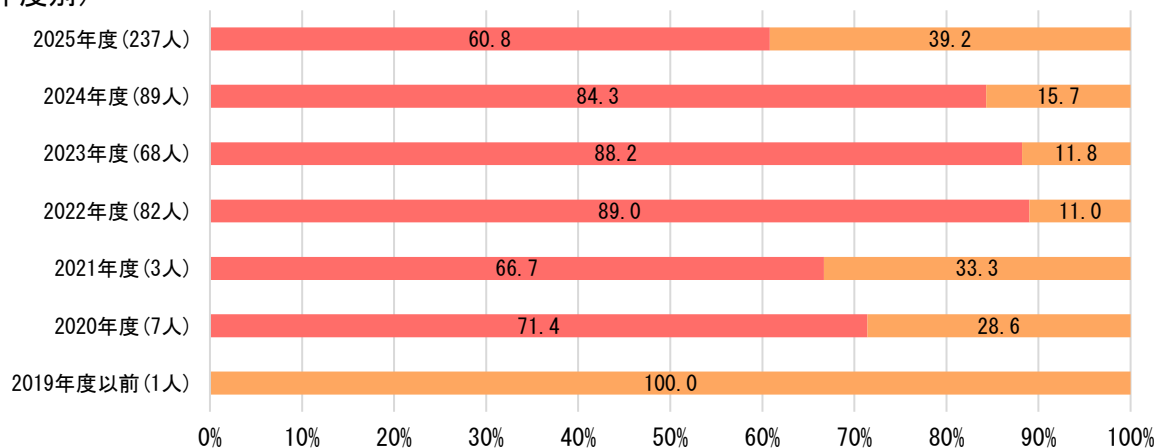
【全体(487人)】



(学部別)



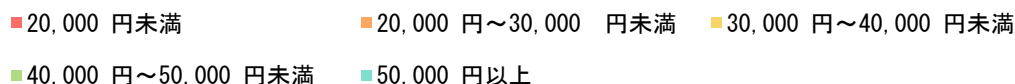
(入学年度別)



(10) 1ヶ月のアルバイト収入

問17 あなたの1ヶ月のアルバイト収入の平均額はいくらですか。

全体では、回答者の32.6%が月額5万円以上のアルバイト収入を得ており、一定割合の学生にとってアルバイトが重要な収入源となっている状況が確認できます。  
 学部別にみると、法学部の学生が42.0%と最も高く、反対に医学部医学科では15.0%と低くなっています。授業や実習の拘束時間の差が影響している可能性があります。  
 入学年度別では、2022年度入学生が38.4%と最も高い一方、2025年度入学生では26.4%と低い傾向がみられました。大学生活の初期段階にある学生は、履修や生活サイクルの調整期間でもあることから、アルバイト開始の時期が遅れることが背景にあると思われます。今後の調査で推移を継続的に確認していく必要があります。



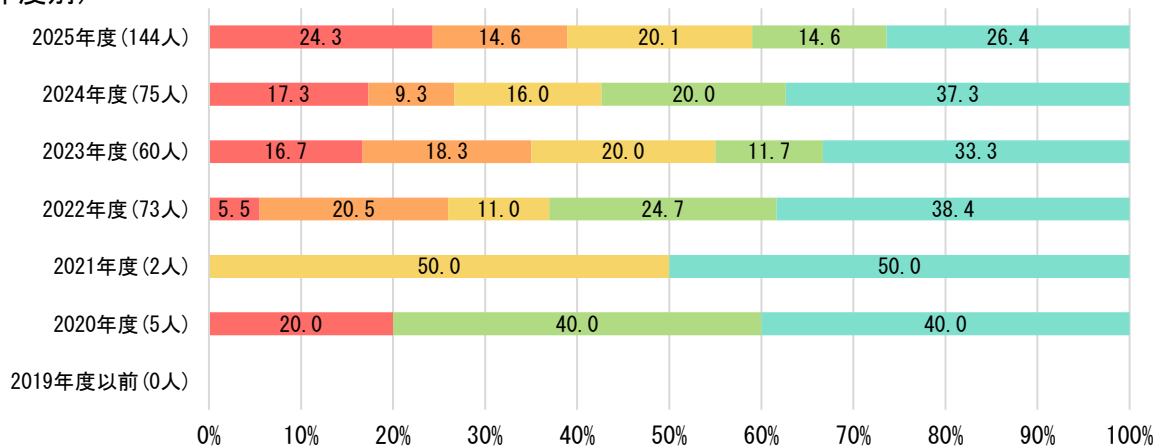
【全体(359人)】



(学部別)



(入学年度別)



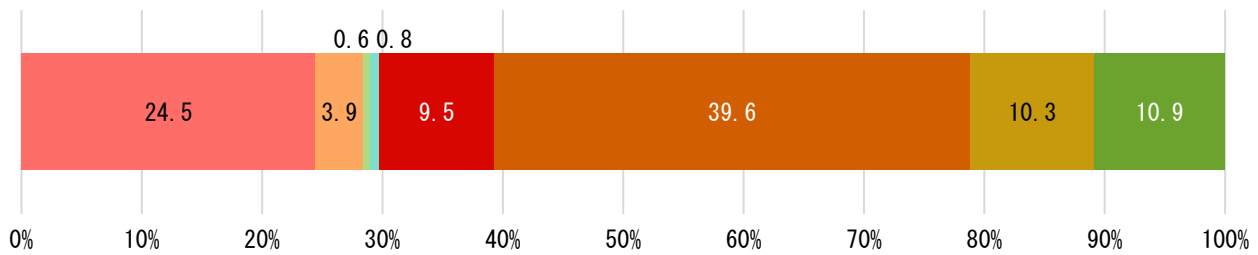
(11) アルバイトの主な職種

問18 あなたが主に従事したアルバイトを1つ選んでください。

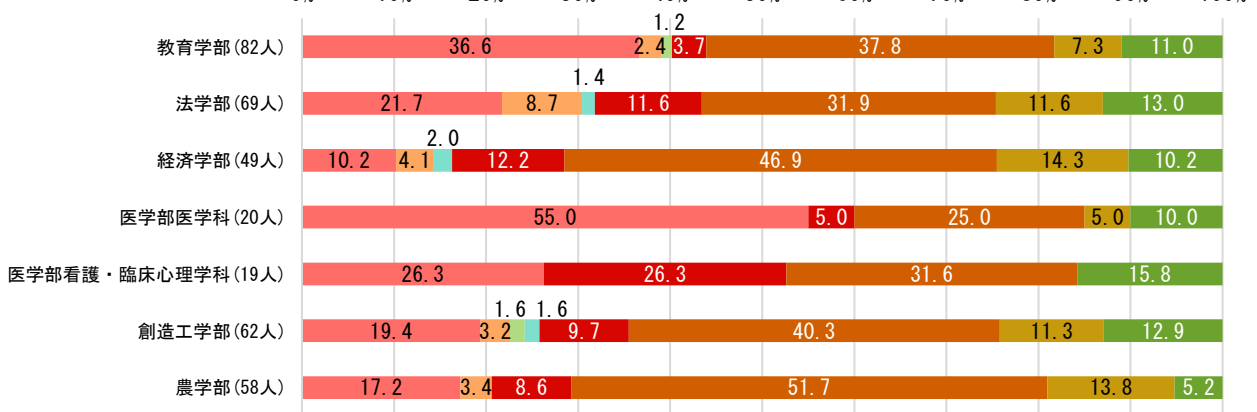
アルバイトの主な職種としては、飲食店の店員（39.6%）が最も多く、次いで家庭教師・塾講師（24.5%）、スーパーやコンビニエンスストアの店員（10.3%）が続いています。販売員（9.5%）も一定数みられ、前回調査とおおむね同様の傾向です。特に医学部医学科では55.0%が家庭教師・塾講師に従事しており、特徴的な結果です。また、2025年度入学生でも約4人に1人が同様の職種に従事しています。

- 家庭教師・塾講師
- 事務員
- 工場・建築現場の作業員
- 配達員
- 清掃作業員
- 警備員
- 販売員
- 飲食店の店員
- スーパー、コンビニエンスストアの店員
- その他

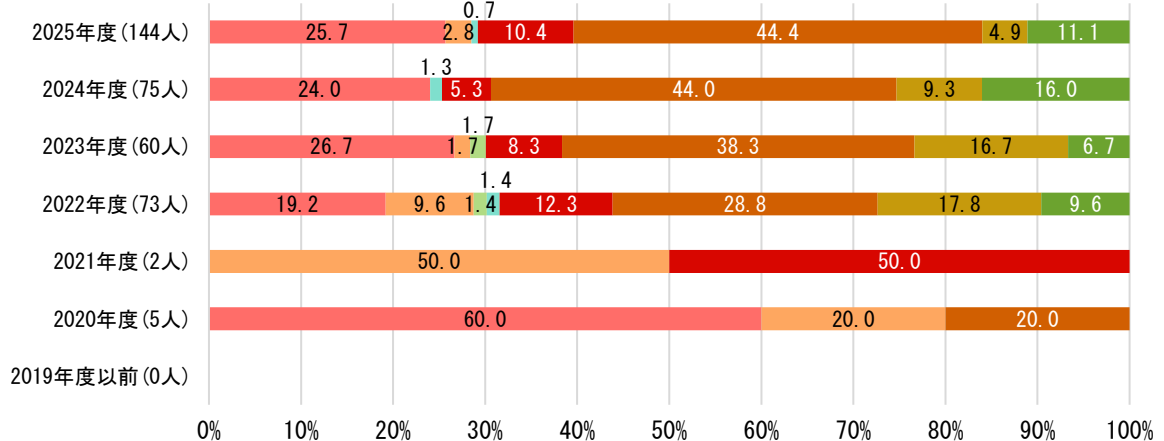
【全体(359人)】



(学部別)



(入学年度別)



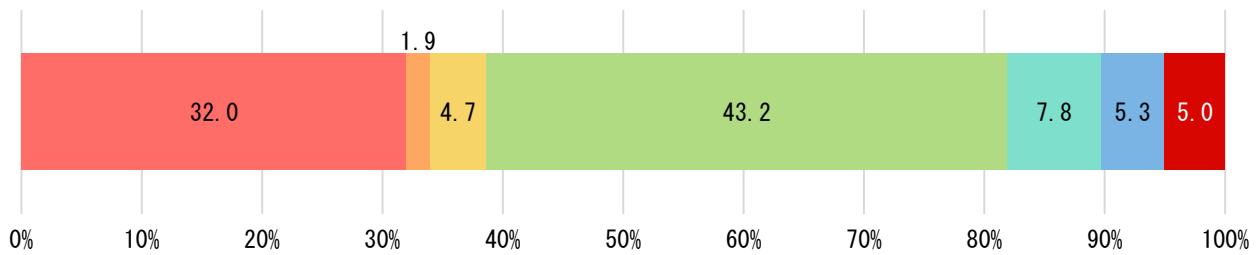
(12) アルバイト収入の主な使途

問19 アルバイト収入の主な使途は何ですか。

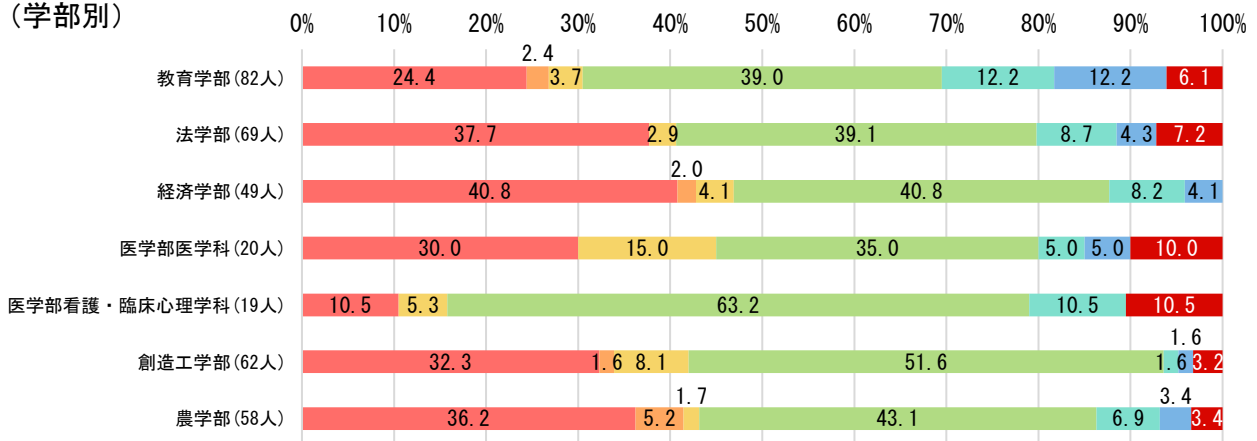
アルバイト収入の使途としては、「教養・娯楽費」に充てている学生が最も多く、全体の43.2%を占めています。次いで「生活費」が高い割合となっています。  
 所属学部別では、教養・娯楽費への支出割合が最も高いのは医学部看護・臨床心理学科(63.2%)、最も低いのは医学部医学科(35.0%)でした。  
 入学年度別では、2023年度入学生が50.0%と比較的高い値を示しており、他学年とは異なる傾向がみられます(過年度入学生除く)。

■生活費 ■学費 ■課外活動費 ■教養・娯楽費 ■旅行資金 ■交際費・コンパ費 ■その他

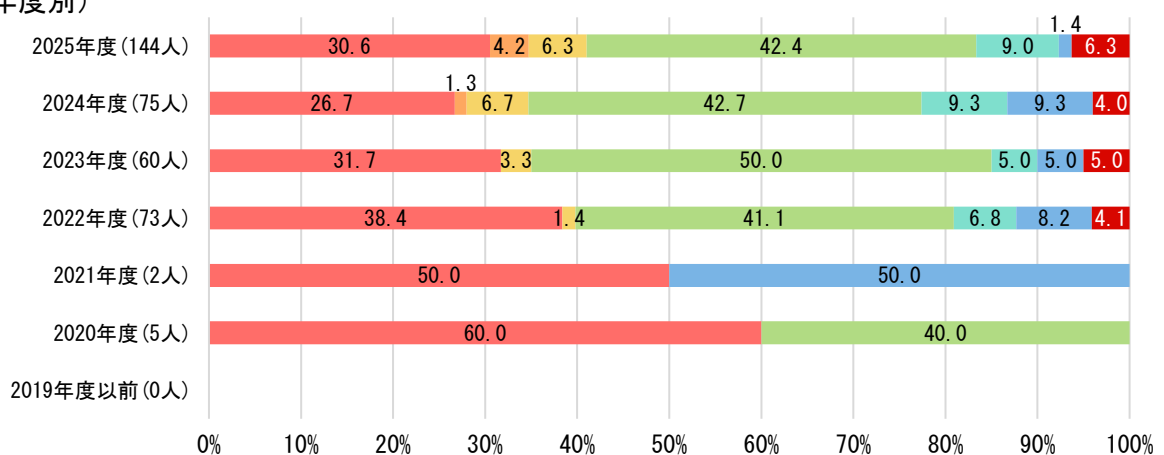
【全体(359人)】



(学部別)



(入学年度別)



## Ⅱ. キャンパスライフについて

### 1. 学業

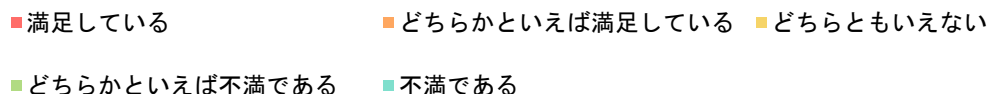
#### (1) 学部・学科の満足度

問20 あなたは入学した学部・学科などに満足していますか。

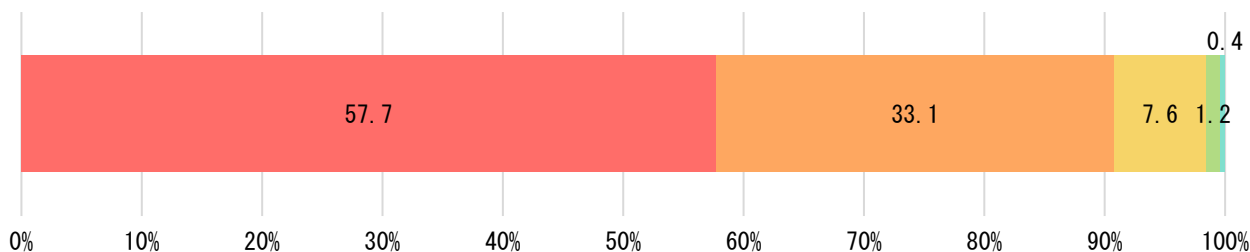
入学した学部や学科について、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した学生は全体の90.8%でした。

学部別では、医学部医学科および医学部看護・臨床心理学科がいずれも100.0%となり、特に高い満足度が示されています。

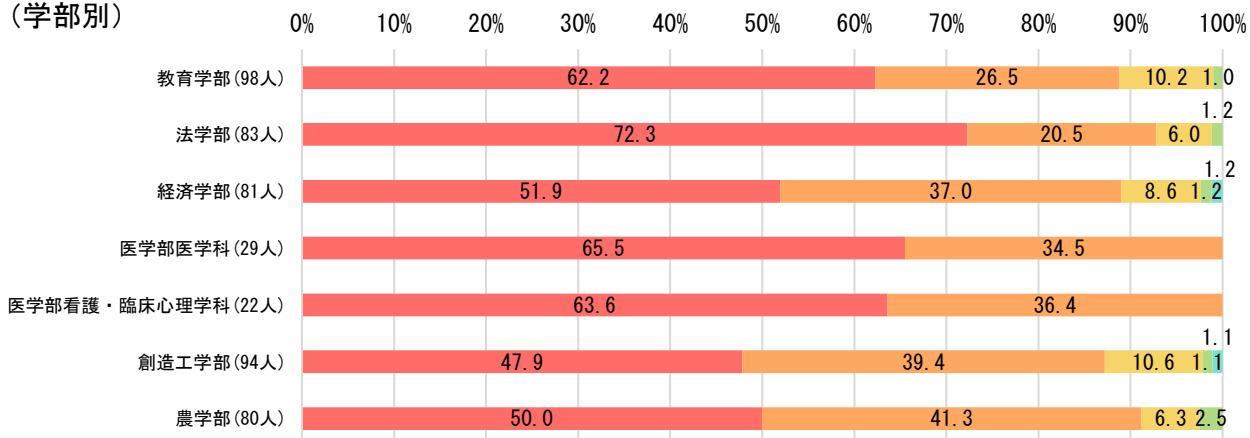
入学年度別では、学年が進むにつれて満足度が上昇する傾向がみられ、学修内容や進路意識の形成と関連している可能性があります。



#### 【全体(487人)】



#### (学部別)



#### (入学年度別)



## (2) 1日の勉強時間

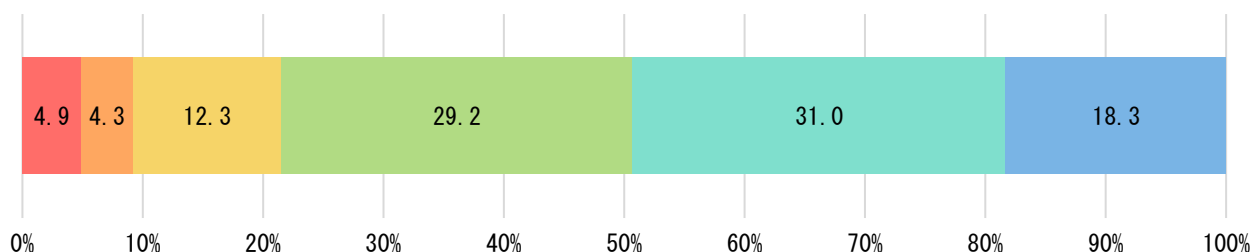
問21 大学の授業以外に、あなたは1日平均何時間ぐらい勉強していますか。

大学全体では、回答した学生のうち、2時間以上勉強している学生が50%程度を占めており、令和6年度「全国学生調査（第4回試行実施）」の結果と比較しても、その割合が多い結果となりました。

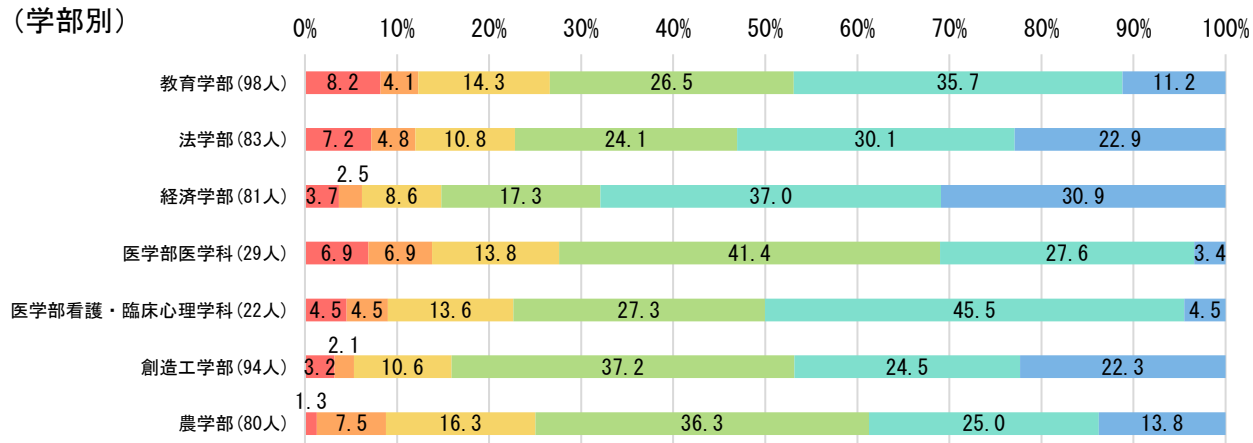
所属学部別では、回答した学生のうち、医学部医学科がその割合が最も多く、70%近くの学生が2時間以上勉強しています。入学年度別にみると、回答した学生のうち、2時間以上勉強している割合は、1年生でやや低く50%を切る結果となりましたが、2年生から4年生は60%程度になっています。

■ 5時間以上 ■ 4時間程度 ■ 3時間程度 ■ 2時間程度 ■ 1時間程度 ■ ほとんどしない

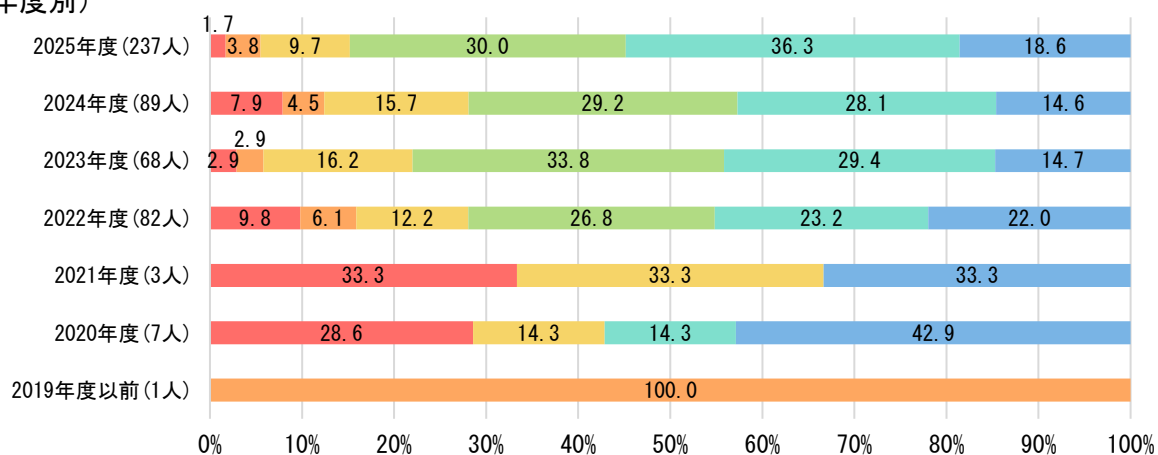
### 【全体(487人)】



### (学部別)



### (入学年度別)



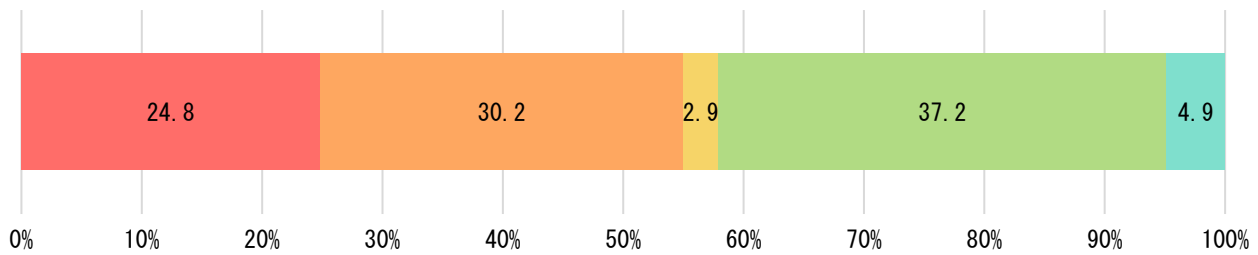
(3) 授業以外の取り組み

問22 大学の授業以外に、特にあなたが時間を費やしているものは何ですか。

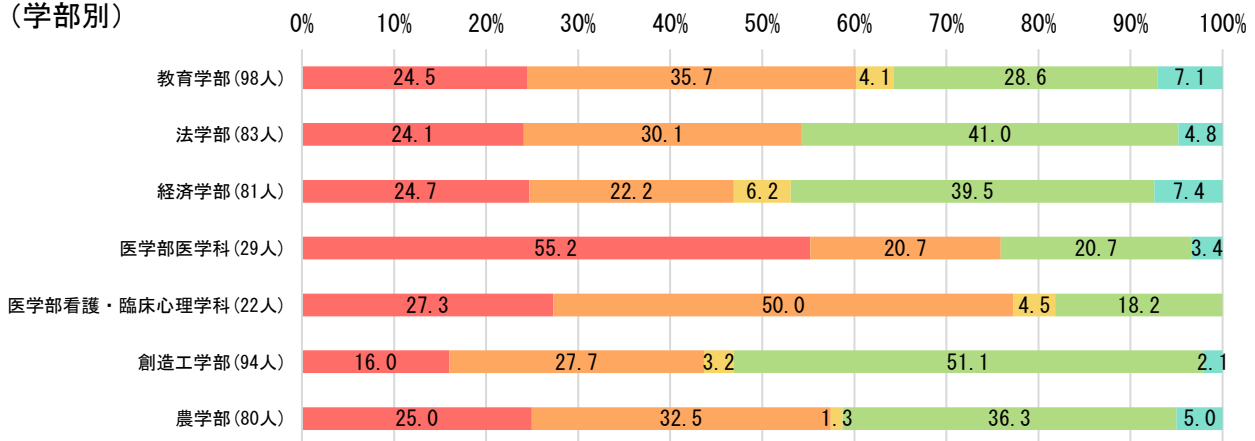
大学全体では、趣味、アルバイト、サークル活動の順となりました。前回調査と比べると、アルバイトと答えた学生の割合が増加し、サークル活動と答えた学生の割合が減少しました。これは少なからず昨今の経済状況が影響していると考えられます。また、前回調査では、コロナ禍を経て、新入生の勧誘活動がスムーズに進んだことやサークル活動に対する制限がなくなったことの影響もあり、サークル活動と答えた新入生の割合が例年よりも高い結果となりましたが、今回調査では例年並みの結果となりました。

- サークル活動
- アルバイト
- ボランティア（ボランティア活動を主とするサークル活動も含む）
- 趣味

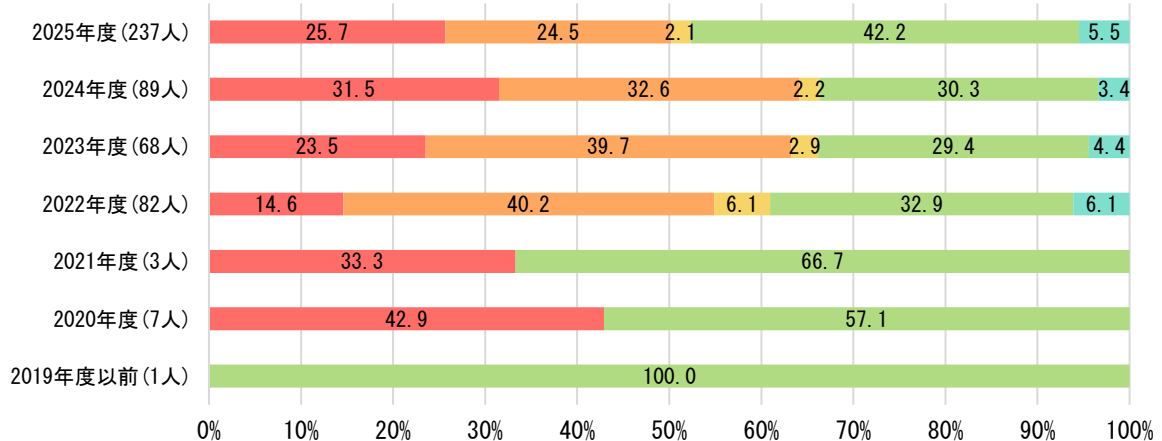
【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



問23 問22で、「その他」を選択した方はその内容を記述してください。

教育学部

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・英会話</li><li>・課外活動</li><li>・教員採用試験の勉強</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・試験勉強、卒論、課題</li><li>・就職活動</li><li>・部活動</li></ul> |
|---|--|

法学部

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・プロジェクト活動、資格勉強</li><li>・筋トレ</li><li>・睡眠</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・勉強</li></ul> |
|---|---|

経済学部

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・プロジェクト活動</li><li>・自動車学校</li><li>・就職関連</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・部活動</li></ul> |
|--|--|

医学部医学科

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・研究活動</li></ul> |  |
|---|--|

医学部看護・臨床心理学科

- |  |      |
|--|------|
|  | 回答無し |
|--|------|

創造工学部

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・遊び</li><li>・部活動</li></ul> |  |
|--|--|

農学部

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・資格勉強</li><li>・作り置き</li><li>・料理</li></ul> |  |
|---|--|

#### (4) アルバイトに費やす時間

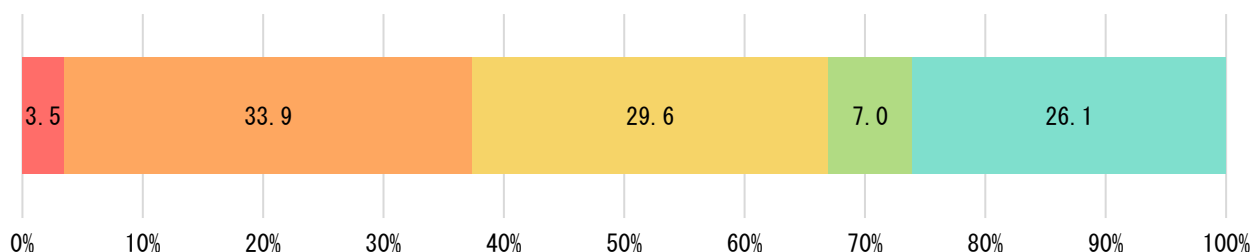
問24 アルバイトに費やす時間はどれぐらいですか。(通勤時間を含む1週間当たりの平均)

大学全体では、回答した学生のうち、約75%の学生がアルバイトに従事しており、費やす時間は「2～10時間未満」、「10～20時間未満」がいずれも30%程度となりました。

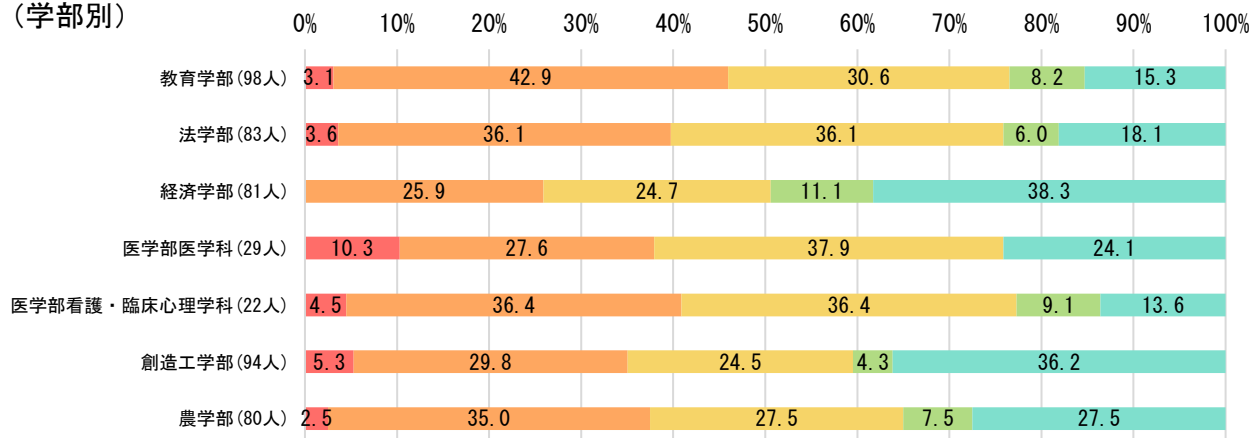
所属学部別では、回答した学生のうち、教育学部や医学部看護・臨床心理学科に所属する学生の15%程度、経済学部や創造工学部に所属する学生の40%程度がアルバイトに従事しておらず、学部による大きな相違がみられます。また入学年度別に見ると、高学年になるにつれてアルバイトに従事する割合が増える傾向にあります。

■ 2時間未満 ■ 2～10時間未満 ■ 10～20時間未満 ■ 20時間以上 ■ アルバイトはしていない

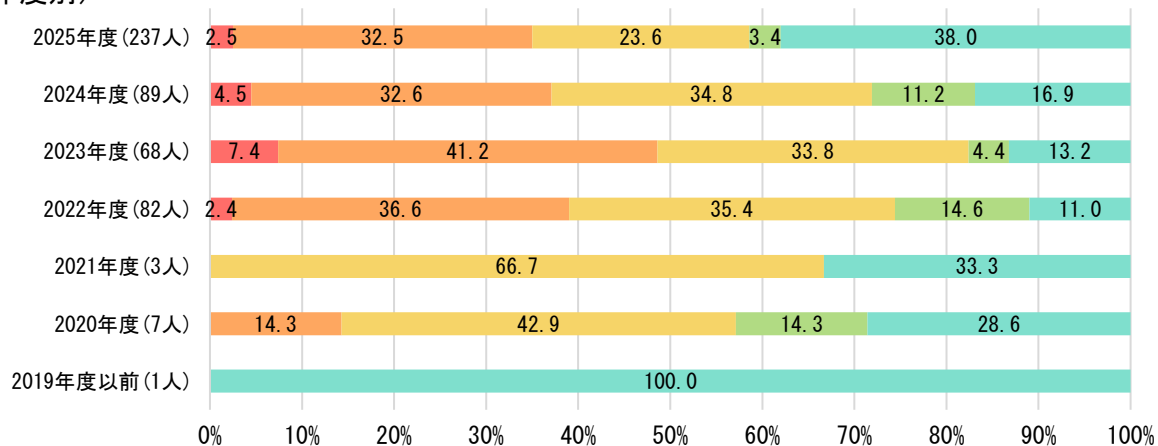
#### 【全体(487人)】



#### (学部別)



#### (入学年度別)



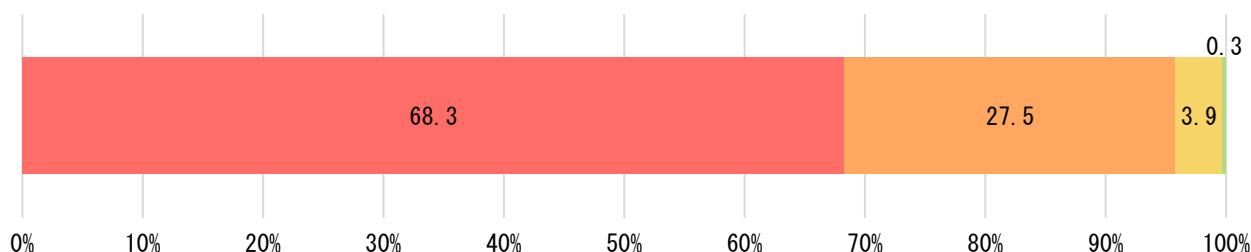
## (5) アルバイトと学業の関係

問25 アルバイトと学業の関係はどうでしたか。

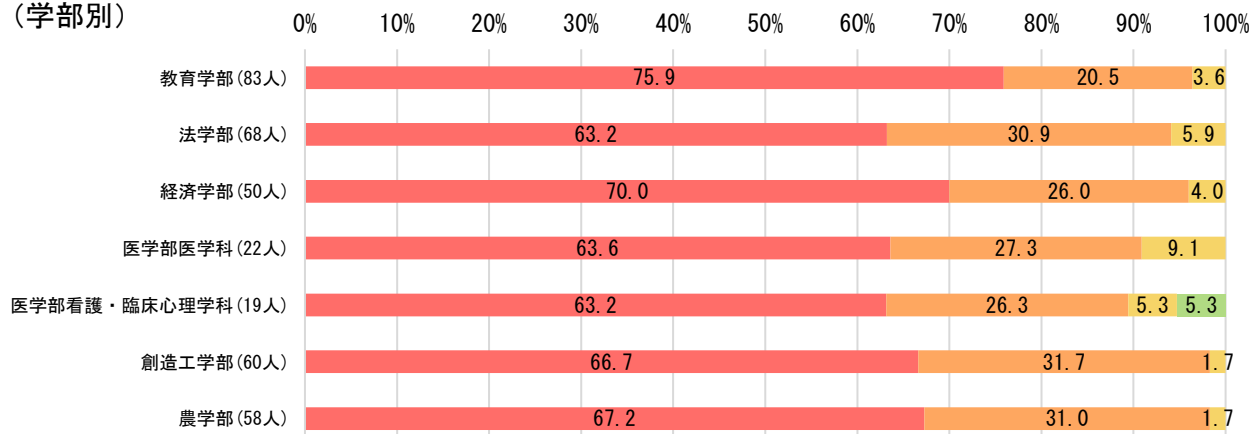
大学全体では、回答した学生のうち、アルバイトと学業が「両立し特に影響はなかった」と答えた学生が70%程度でした。所属学部別や入学年度別でも、この傾向は変わりませんでした。一方、前回調査と比較して、「授業には出席できたが勉強時間が少なくなった」と答えた学生がやや増加しました。さらに、前回調査ではみられなかった「授業にはほとんど出席できていない」と答えた学生が、今回調査では、その数は少ないものの大学全体では0.3%、医学部看護・臨床心理学科では5.3%みられました。アルバイトには充実した学生生活を送るために必要であったり、社会に出る前に経験を積むことができるという利点がありますが、学生の本業である勉学がおろそかにならぬよう注意が必要です。

- 両立し特に影響はなかった
- 授業には出席できたが勉強時間が少なくなった
- 授業を欠席したことがある
- 授業にはほとんど出席できなかった

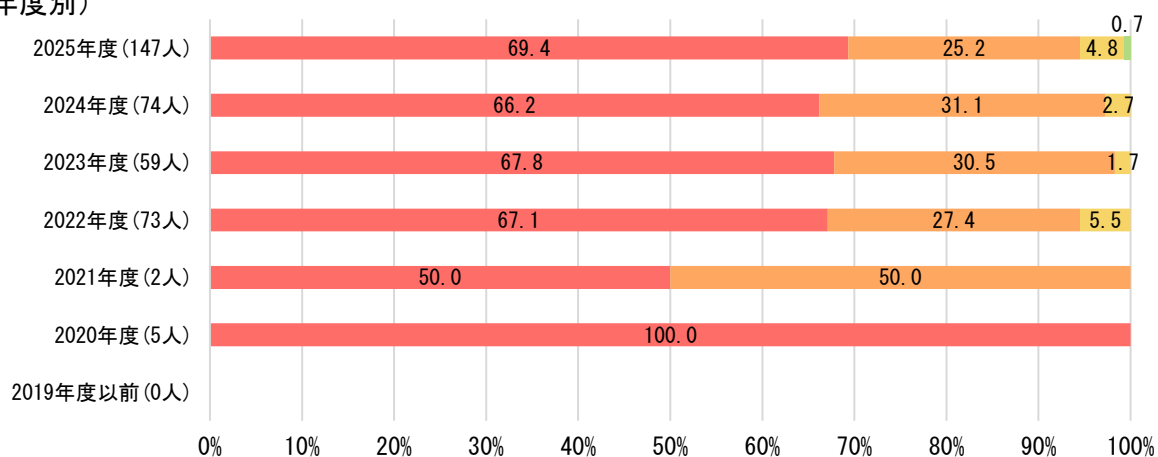
### 【全体(360人)】



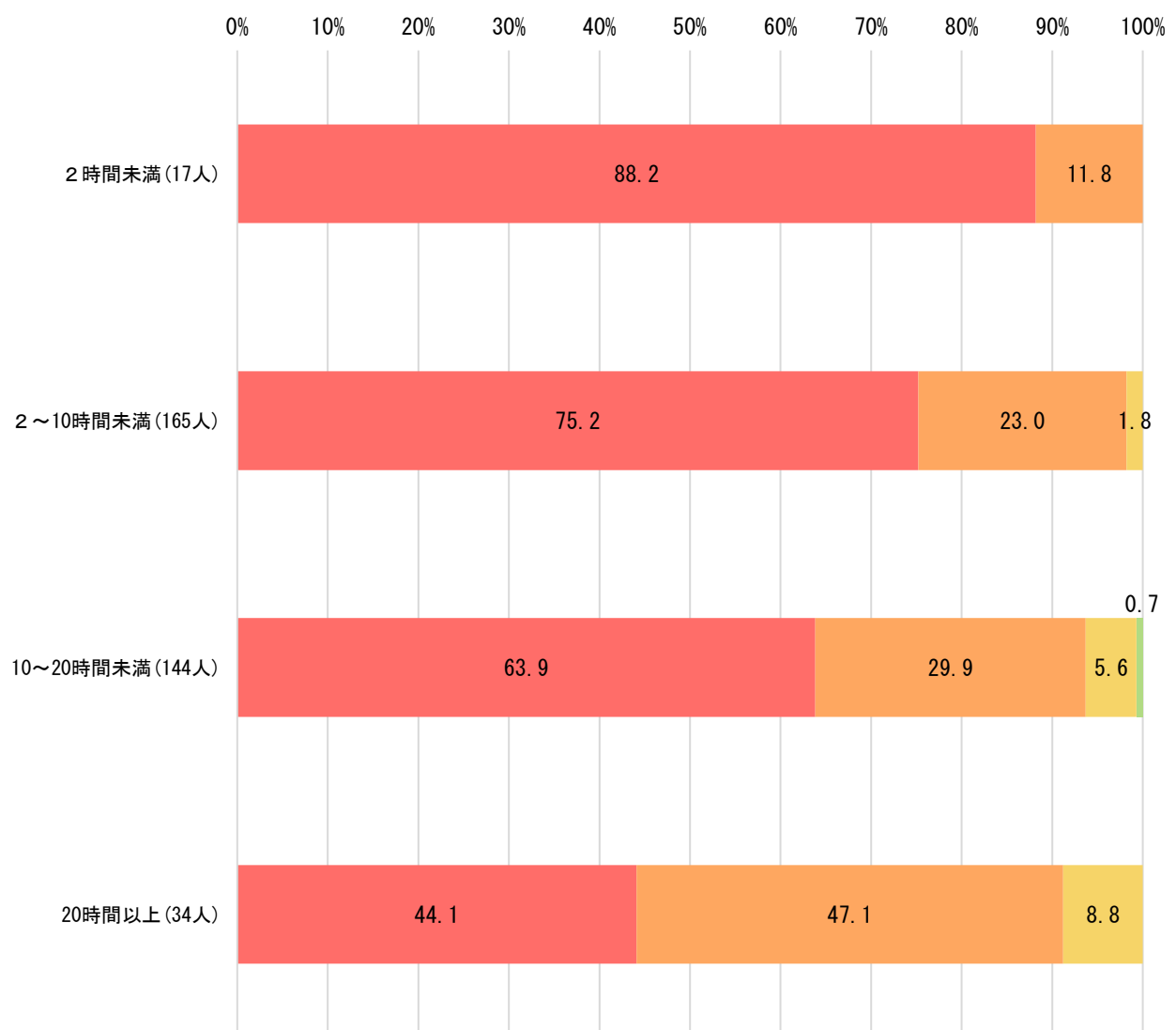
### (学部別)



### (入学年度別)



(アルバイトと学業の関係×アルバイトに費やす時間)



(6) 教員との交流

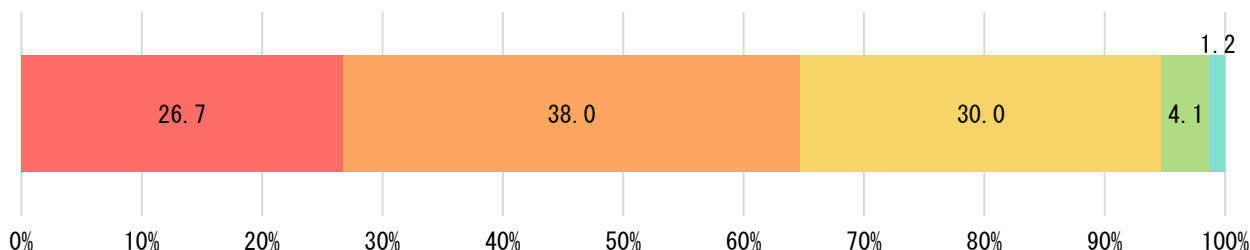
問26 あなたは本学の教員との交流に満足していますか。

大学全体では、回答した学生のうち、「満足している」または「どちらかといえば満足している」が合わせて65%程度となりました。前回調査よりも満足している学生の割合が若干増える結果となりました。

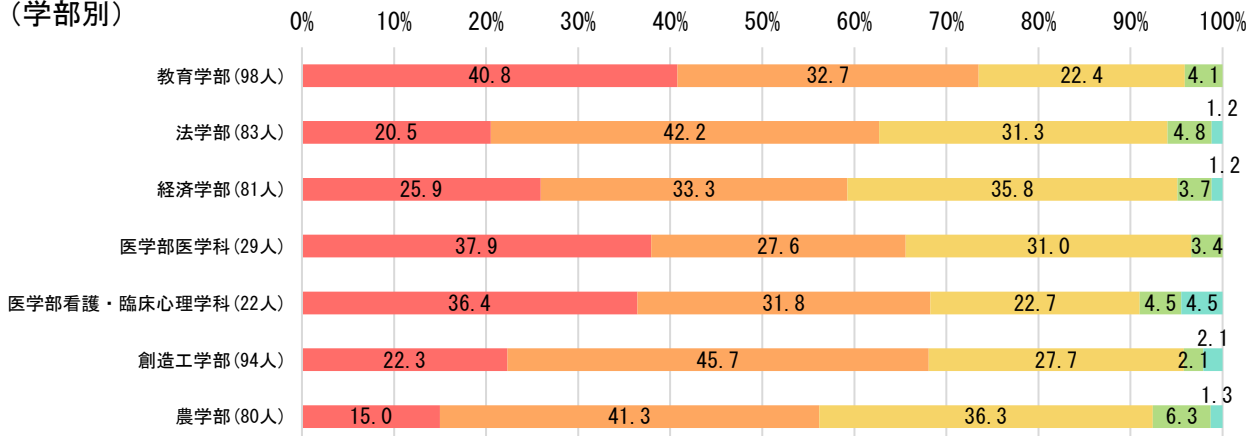
学部別では、教育学部が最も割合が高く70%程度であり、農学部で最も割合が低く55%程度でした。入学年度別では、1年生の満足度がやや低く、学年が上がるほど満足している学生の割合が増える傾向にあります。教員との交流については、学部、学年、学生個々でも期待が異なると考えられますが、満足度があまり高くない学部においては改善策について検討の余地がありそうです。

- 満足している
- どちらかといえば満足している
- どちらともいえない
- どちらかといえば不満である
- 不満である

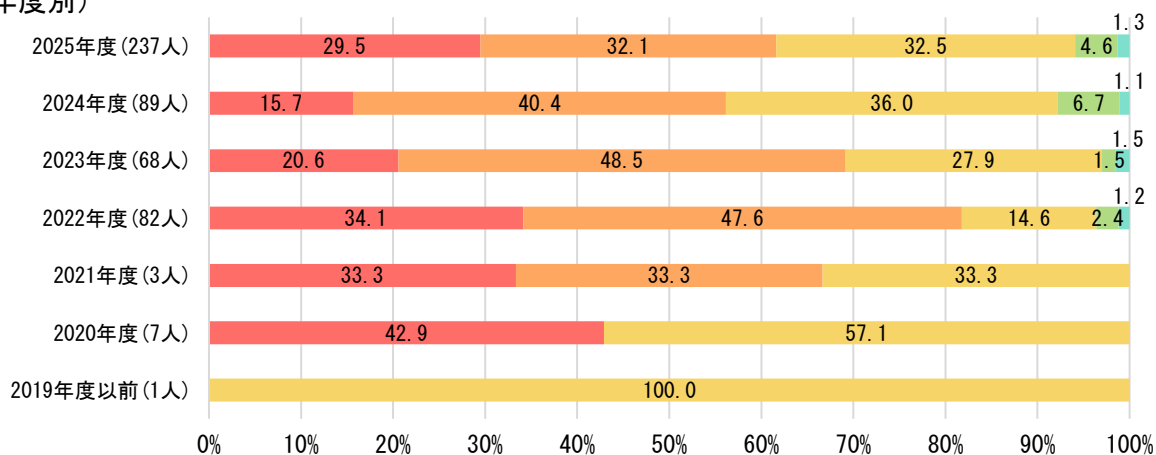
【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



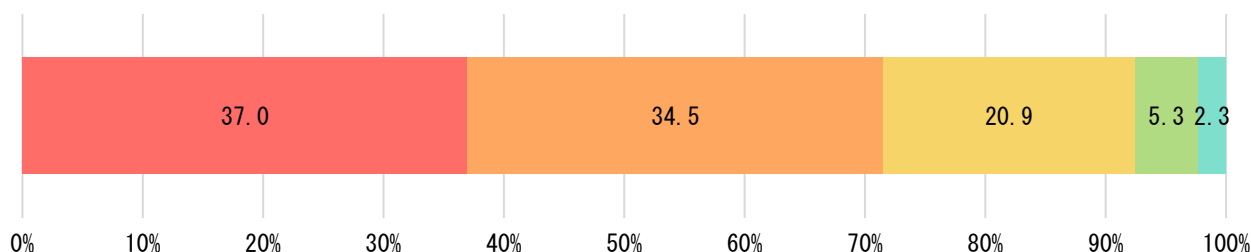
(7) 学生窓口の対応

問27 あなたは学生窓口（各学部の学務係等）の対応に満足していますか。

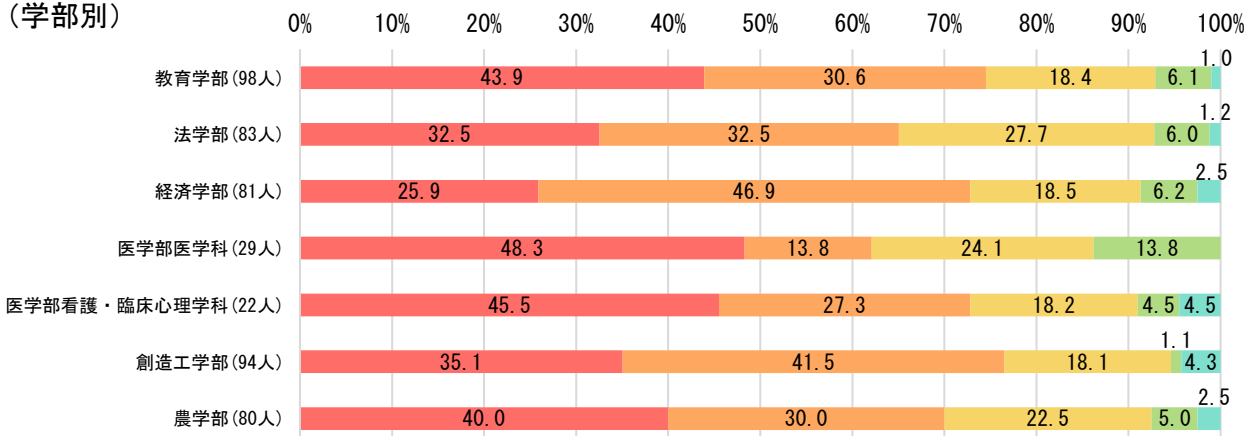
大学全体では、回答した学生のうち、70%程度の学生が「満足している」または「どちらかといえば満足している」と答えており、前回調査と比較して、満足度の上昇がみられます。学部別によって大きな相違はなく、70%程度の学生が「満足している」または「どちらかといえば満足している」と答えています。一方、どの学部においても、10%近くの学生が「どちらかといえば不満である」または「不満である」と答えており、その数は少ないものの大学全体として、改善策について検討の余地がありそうです。入学年度別では、1年生の満足度が高く、学年が上がるほど不満足が増える傾向がみられます。

- 満足している
- どちらともいえない
- 不満である
- どちらかといえば満足している
- どちらかといえば不満である

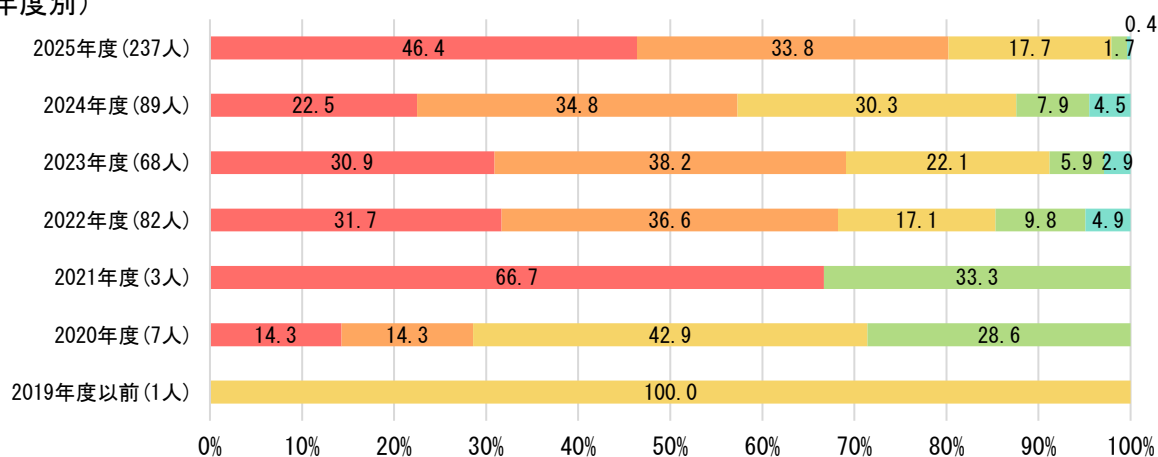
【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



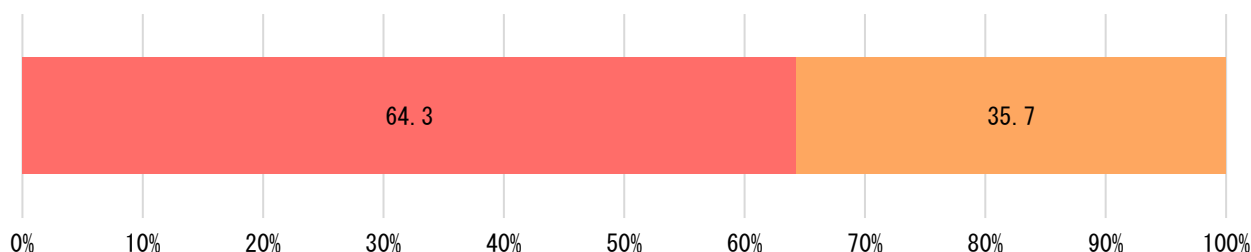
(8) バリアフリー支援室について

問28 あなたは「バリアフリー支援室」を知っていますか。

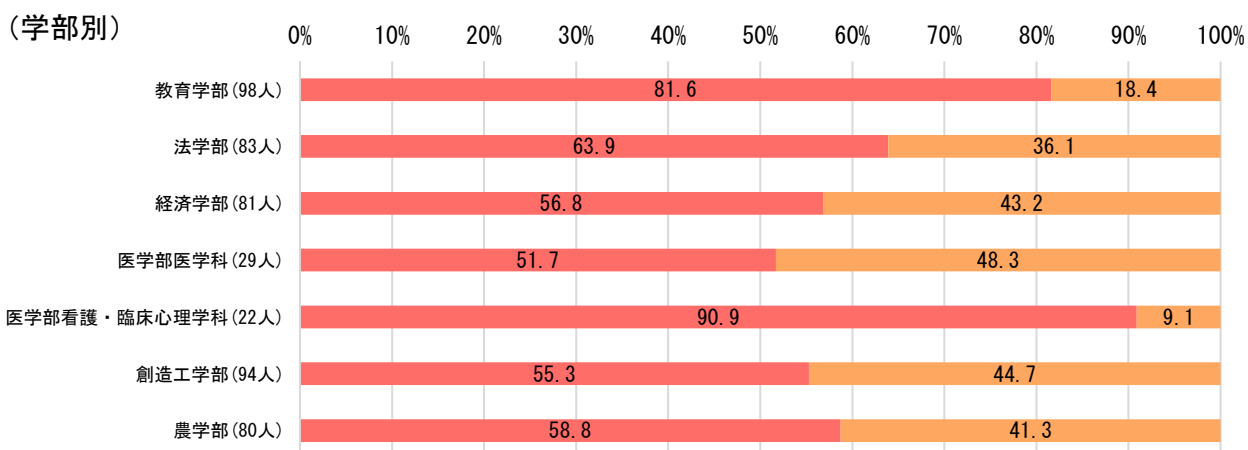
バリアフリー支援室の認知度は、前回調査で「知っている」という回答が51.2%だったのと比較して、今回は64.3%と上昇しました。しかしながら、まだ知らない学生が約35%いるため、今後もさらに周知を図っていく必要があります。学部によって認知度にバラツキがあるため、認知度が低い学部に対して周知する機会を設けるなどの対応が考えられます。

■ 知っている                      ■ 知らない

【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



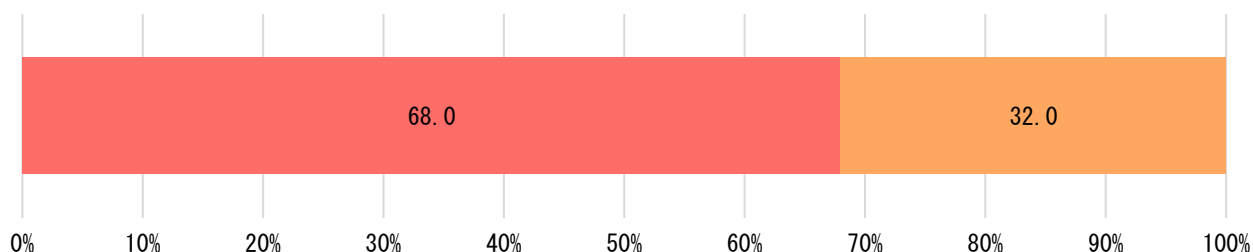
(9) ダイバーシティ推進室について

問29 あなたは「ダイバーシティ推進室」を知っていますか。

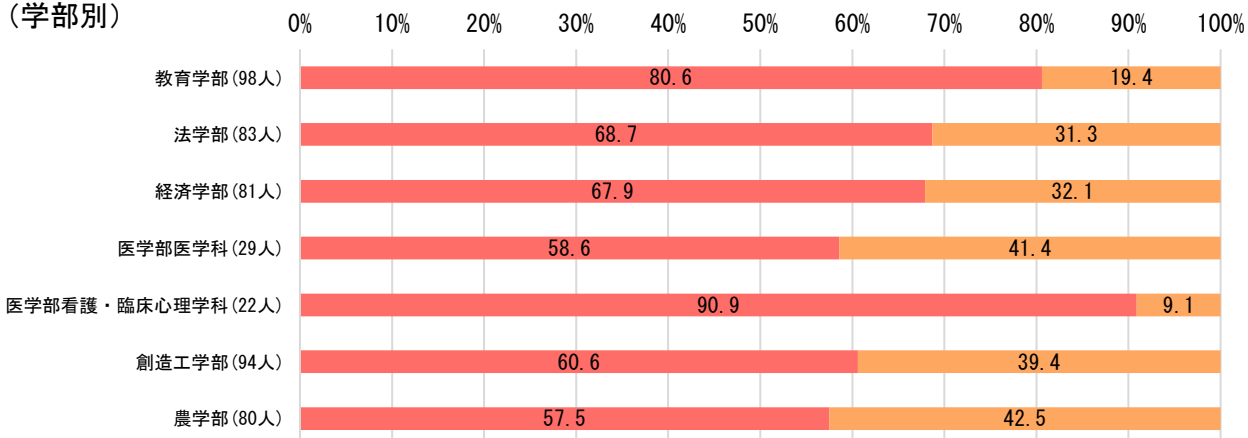
ダイバーシティ推進室の認知度は、前回調査で「知っている」という回答が48.2%だったのと比較して、今回は68.0%と上昇しました。しかしながら、まだ知らない学生が約3割いるため、今後もさらに周知を図っていく必要があります。学部によって認知度にバラツキがあるため、認知度が低い学部に対して周知する機会を設けるなどの対応が考えられます。

■ 知っている                      ■ 知らない

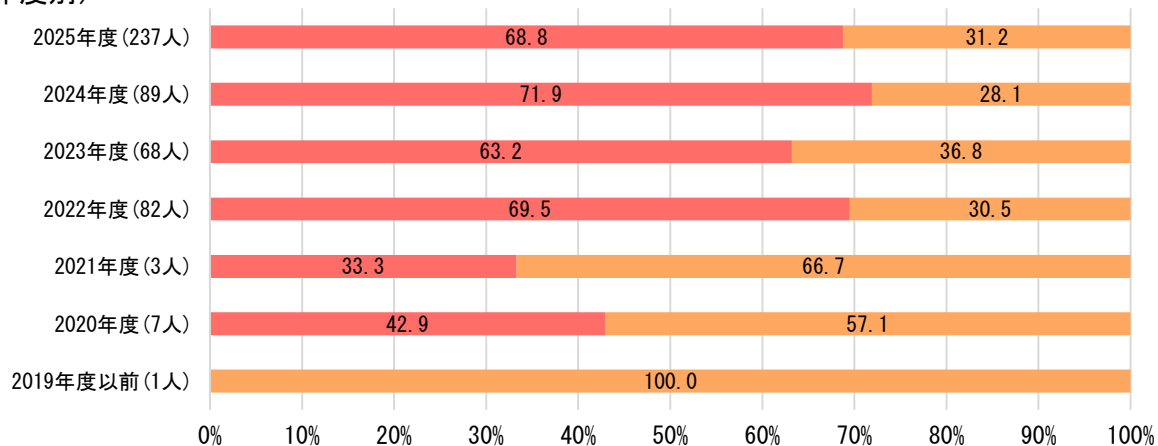
【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



## 2. 課外活動

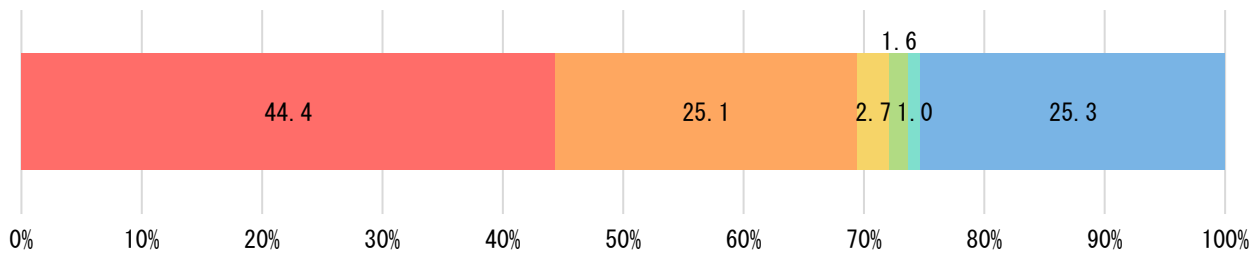
### (1) サークルへの加入

問30 あなたはサークルまたは同好会に加入していますか。

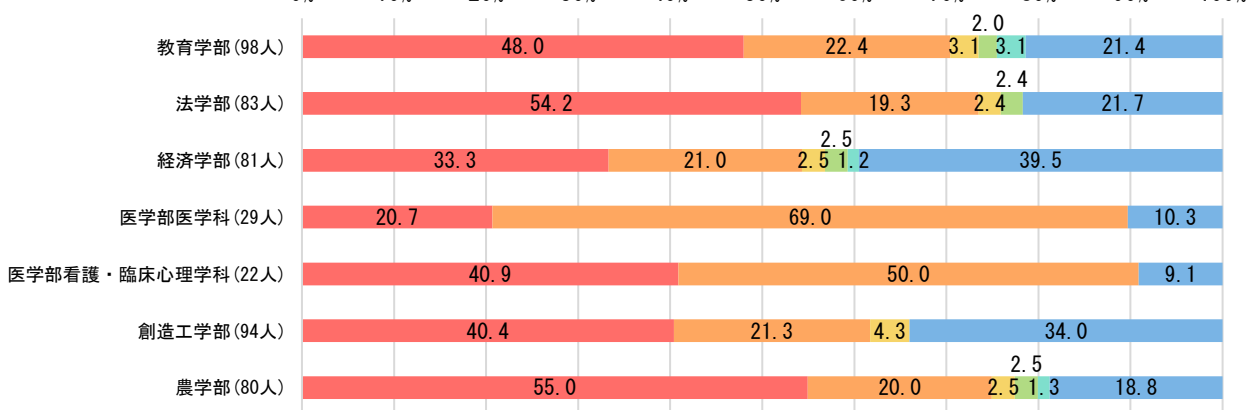
学内外問わずサークル等の課外活動に加入している学生は全体の70%超で、前回調査と同程度でした。ただし、所属学部により加入割合に差があり、最も高いのは医学部看護・臨床心理学科の90.9%で、最も低い経済学部（60.5%）と約30%の差がありました。また、入学前新型コロナによる行動制限の影響を強く受けたと推察される2021から2023年度入学生にかけて減少傾向が認められました。サークルの加入割合は同好会より圧倒的に多く、文化系の方が体育系より多い傾向にありました。

- 文化系サークルに加入している
- 文化系同好会に加入している
- 学外のサークルまたは同好会に加入している
- 体育系サークルに加入している
- 体育系同好会に加入している
- サークルまたは同好会に加入していない

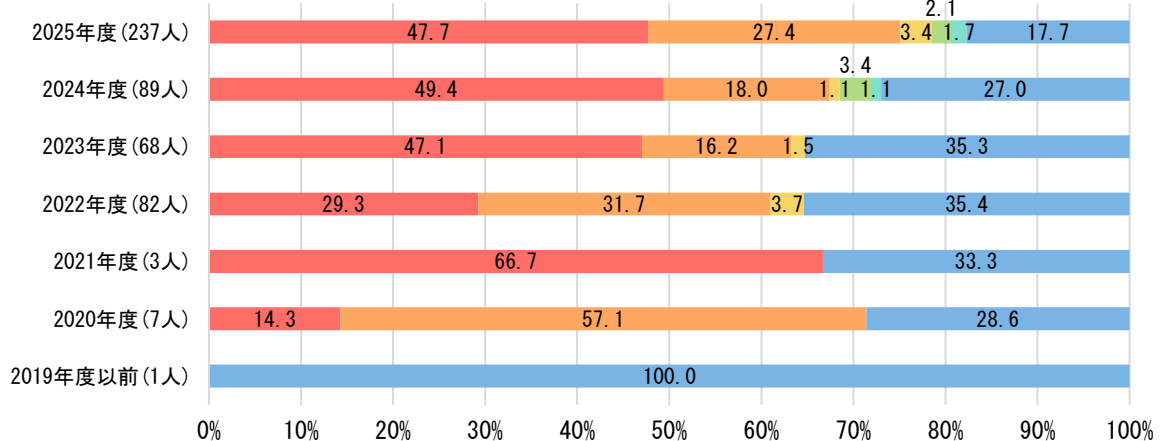
#### 【全体(487人)】



#### (学部別)



#### (入学年度別)



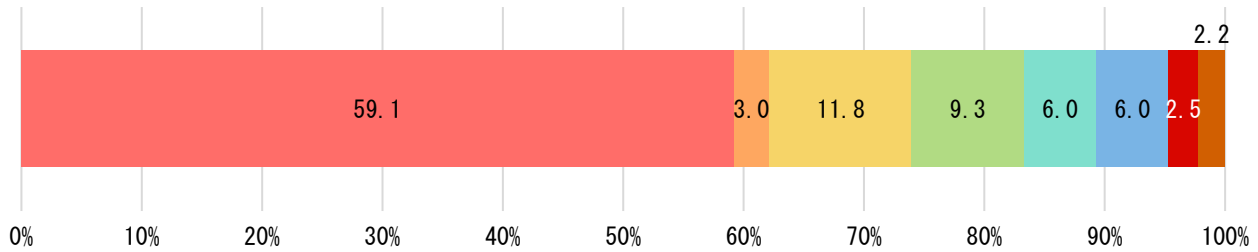
(2) サークルに加入した理由

問31 サークルまたは同好会に加入した動機は何ですか。

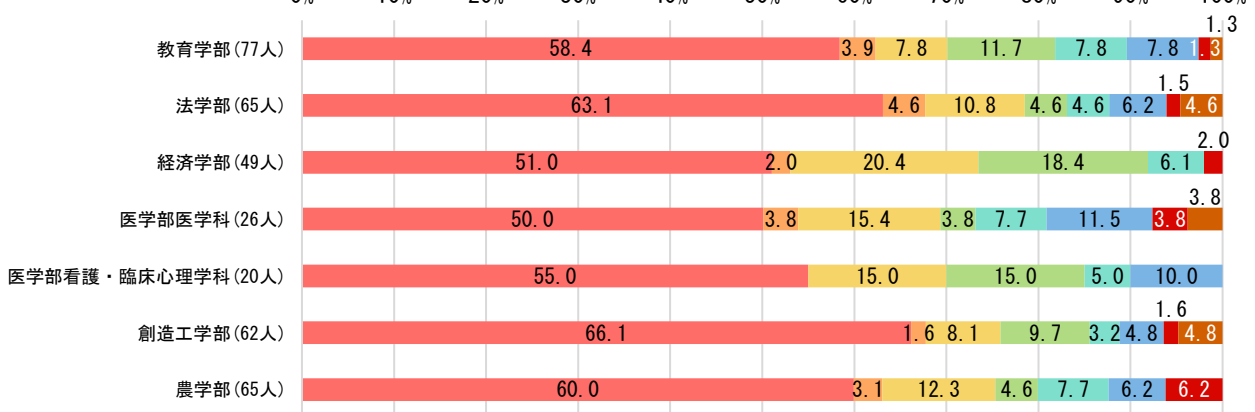
サークル等の活動へ加入した理由について、約6割の学生が活動内容に魅力を感じて加入していました。また、次に多い理由は「友人を得るため」、次いで「先輩・友人に薦められて」でしたが、どちらも10%前後程度でした。加入割合が低い傾向にあった2020年度入学生の加入理由では同様な傾向がみられ、2021年度ではサークル活動と集団活動に魅力があったのが50%ずつでした。学部別での比較においては、経済学部では、約18%程度が先輩・友人に薦められてと回答しました。

- サークルまたは同好会の活動内容に魅力があったから
- 友人を得るため
- 健康増進のため
- 自分の短所を補うため
- 集団活動に魅力があったから
- 先輩・友人に薦められて
- 自分の特技を伸ばすため
- その他

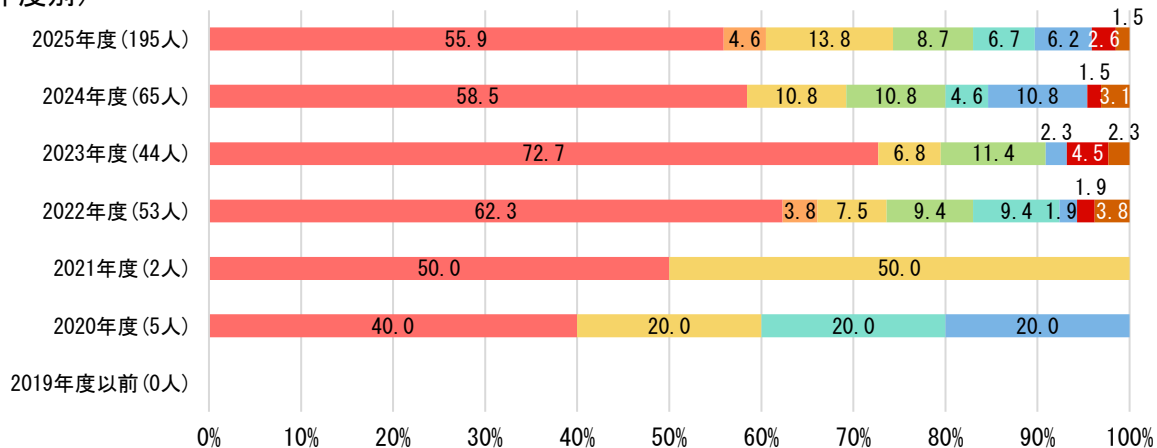
【全体(364人)】



(学部別)



(入学年度別)



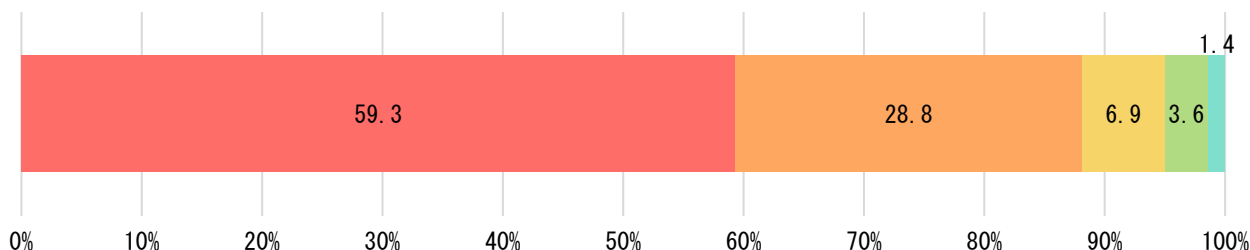
### (3) サークル活動の感想

問32 サークルまたは同好会に参加してどのような感想を持っていますか。

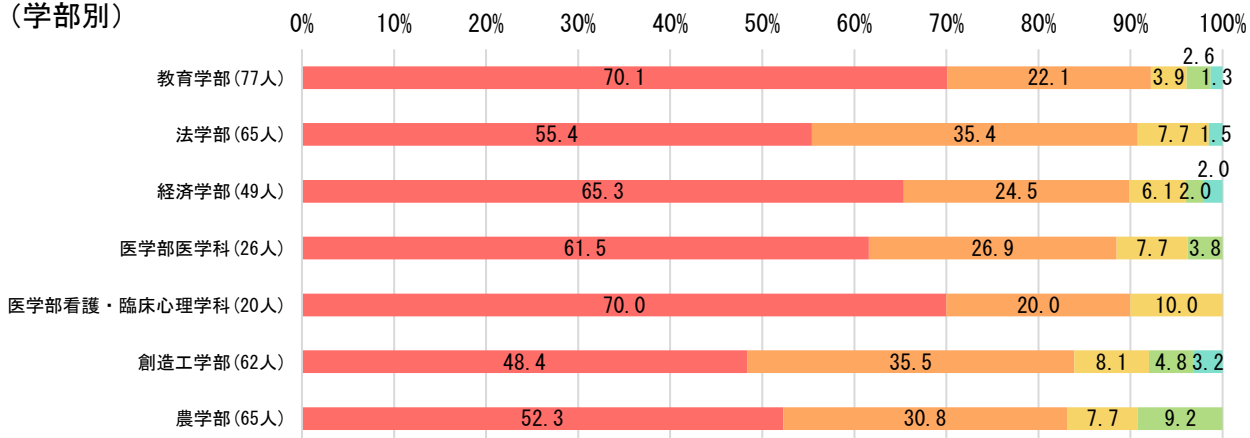
約80%の学生がサークル等の活動に満足している様子で、医学部看護・臨床心理学科は前回調査に比して「満足している」と回答した学生の割合が約2倍になっていました。入学年度別にみると、2022年度より「満足している」「どちらかといえば満足している」の回答に減少傾向がみられました。また学部別で見ますと、教育学部や法学部は学部別間では満足度が高い学生が約9割を超えていて、創造工学部、農学部では他の学部と比して、満足している学生がやや少ない傾向がみられました。

- 満足している
- どちらかといえば満足している
- どちらともいえない
- どちらかといえば不満である
- 不満である

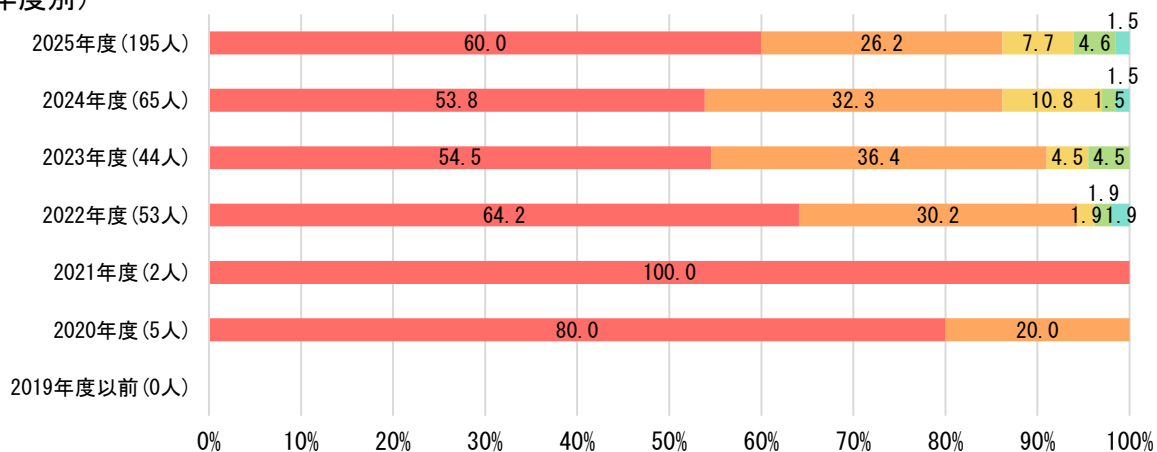
#### 【全体(364人)】



#### (学部別)



#### (入学年度別)



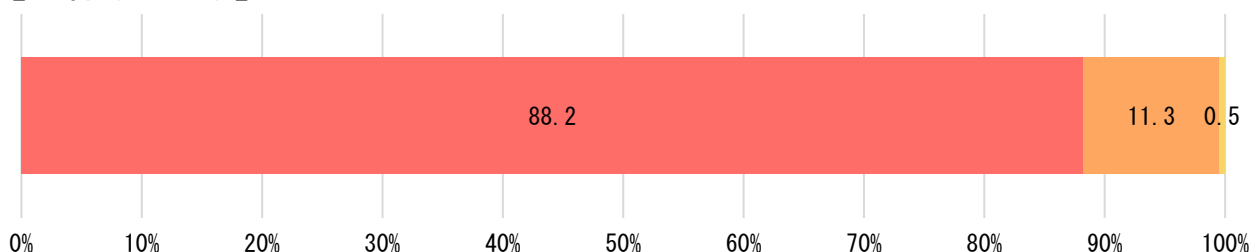
#### (4) サークル活動と学業の関係

問33 あなたはサークルまたは同好会の活動と学業を両立していますか。

サークル等の活動と学業が両立できていると回答した学生は88.2%と近年は年々高い水準となってきました。一方で少しあるいはかなり犠牲にしていると答えた学生は11.8%と1割強で存在し、学部別では医学部、経済学部と農学部が15%を超え、それ以外の学部より高い水準となっています。これを答えた学部学生の数が少ないことが影響しているかもしれませんが、学部によっては実習など時間を必要とする場合もあり、学部ごとに学業とサークル活動のあり方のバランスを考慮することが必要が求められます。

■ 学業と両立している      ■ 学業が少し犠牲になっている      ■ 学業がかなり犠牲になっている

#### 【全体(364人)】



#### (学部別)



#### (入学年度別)



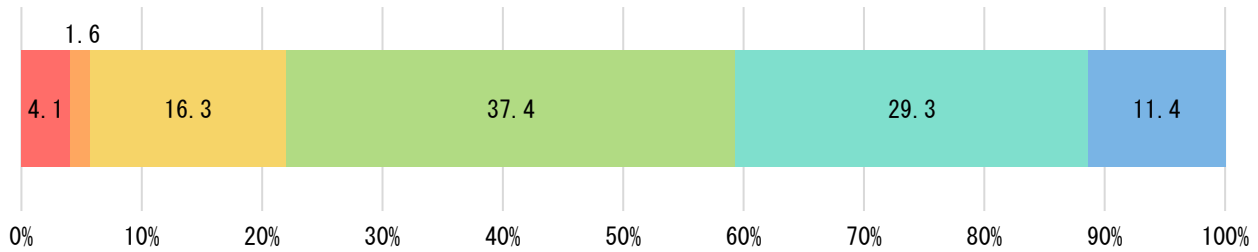
(5) サークルに加入しない理由

問34 あなたがサークルまたは同好会に加入していない理由は何ですか。

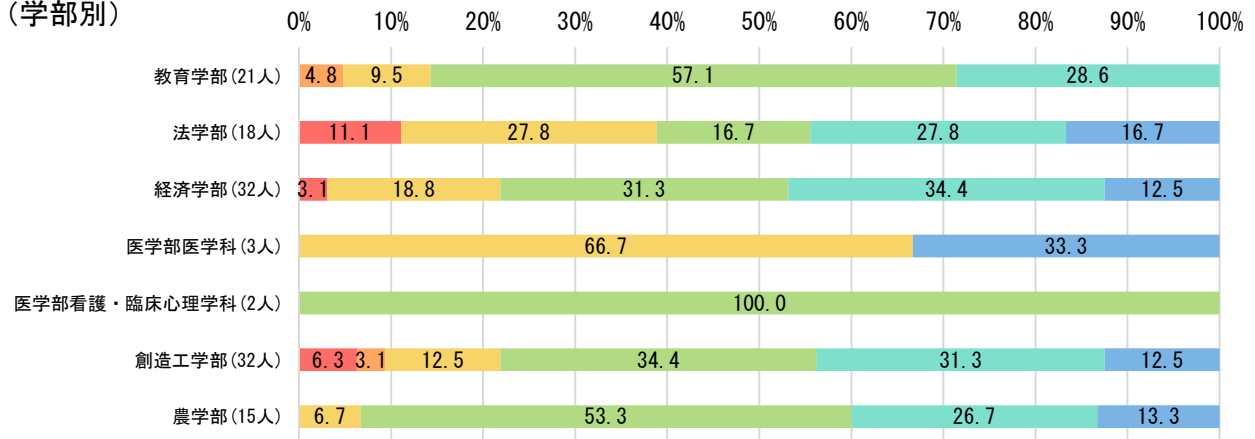
サークルまたは同好会に加入していない理由として、全体として最も多いものが「時間的余裕がない」の37.4%で、個人の自由が束縛されるおそれがあると答えた学生と合わせると半数以上になります。サークルや同好会活動など活動内容以外にも学部や学年をこえた人間関係の形成に興味を持ち、社会性や多様性を学ぶきっかけにしたいと考える学生よりも、個人的な時間や興味を重要と考える学生が増えている傾向かもしれません。

- 学業の妨げとなる
- 練習がいやである
- 個人の自由が束縛されるおそれがある
- 時間的余裕がない
- 魅力的なサークルがない
- その他

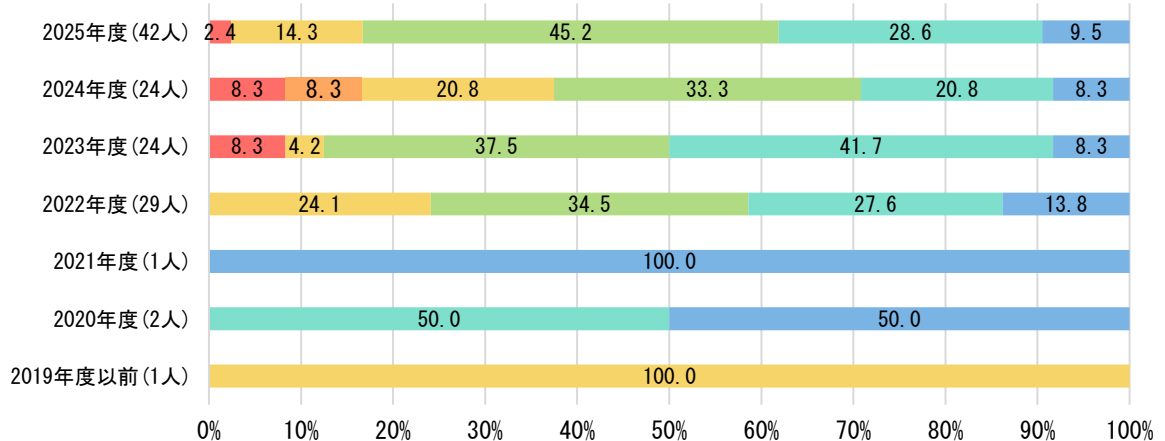
【全体(123人)】



(学部別)



(入学年度別)



### 3. 職業選択

#### (1) 卒業後の進路

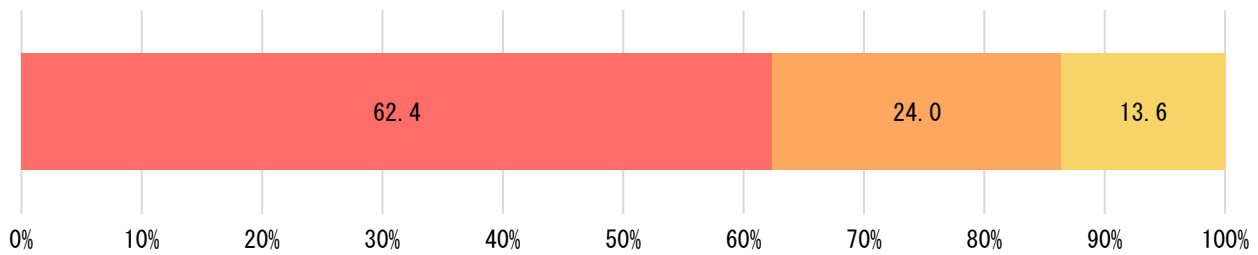
問35 あなたは卒業後の進路についてどのように考えていますか。

卒業後の進路について就職と回答した学生が全体で62.4%と前回調査より若干低い水準となっています。

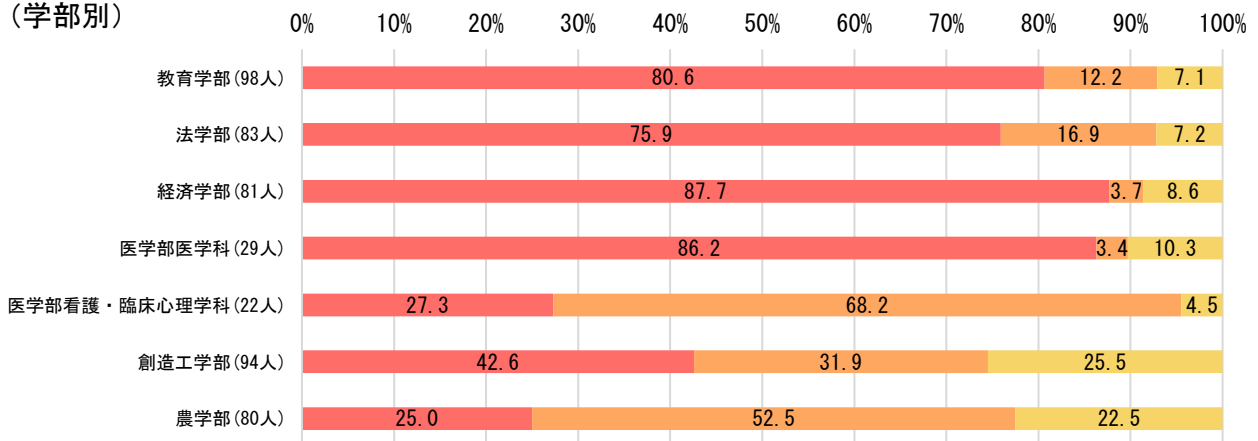
学部別では、文系を中心に学部卒での就職機会が豊富である背景をもとに、多くの学生が早期に就職を選択する傾向が推察されます。一方で、理工系・農学系では地域の産業構造（農業、食品、製造業など）と研究テーマの関連が深く研究開発職への就職を目指す傾向から大学院修了を前提としたキャリア形成を望む学生の比率が高くなる状況が推察されます。

■ 就職                      ■ 進学                      ■ まだ決めていない

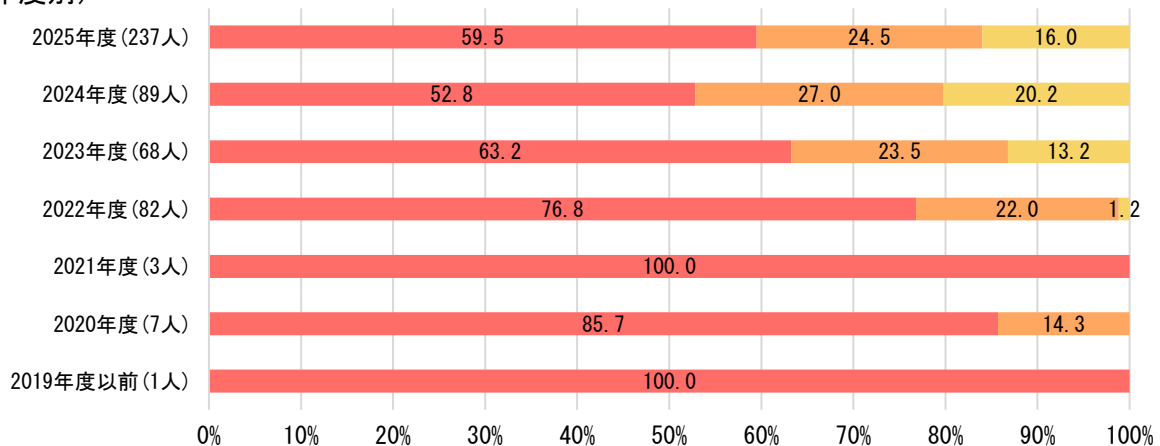
#### 【全体(487人)】



#### (学部別)



#### (入学年度別)



## (2) 職種を選ぶ基準

問36 あなたがアルバイトをしたとき、何を基準にして仕事を選びましたか。

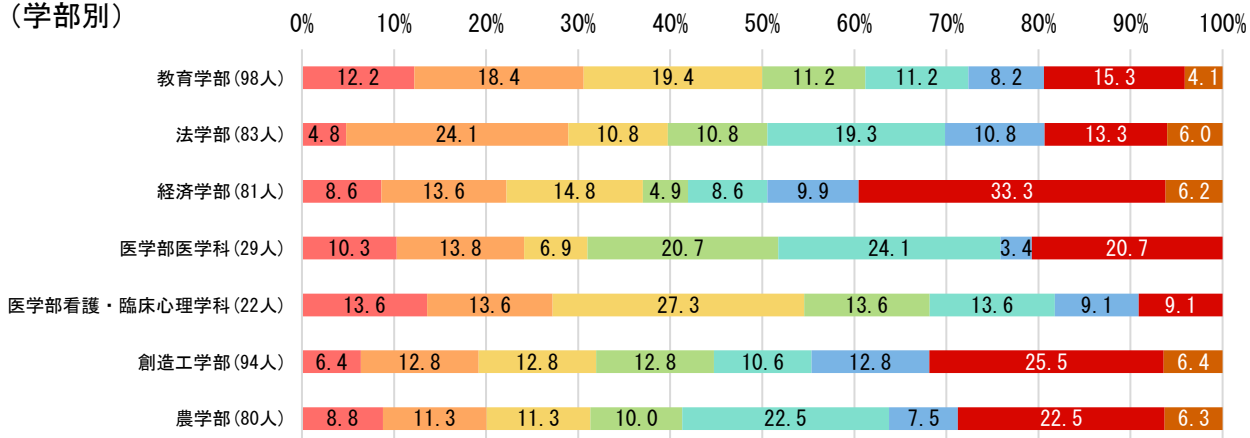
アルバイトの選定基準は多岐に渡りますが、前回調査と比較して「おもしろい仕事や好きな仕事であること」「仕事内容と自己の能力や経験がよく合致していること」を選択する人の割合が増加傾向にあり、アルバイト選定に際して適性や興味を重要視する傾向がみられました。「アルバイトをしたことがない」学生は21.1%と、前回調査から4.5%ポイントの増加がみられました。特に経済学部、創造工学部、農学部で「アルバイトをしたことがない」学生が多くなる傾向がみられました。

- 新しい知識や技術を学ぶ機会が多いこと
- 社会の現実や人間関係を学ぶ機会が多いこと
- おもしろい仕事や好きな仕事であること
- 仕事内容と自己の能力や経験がよく合致していること
- 給料が良いこと
- 楽である（時間的、身体的、精神的に）こと
- アルバイトをしたことがない
- その他

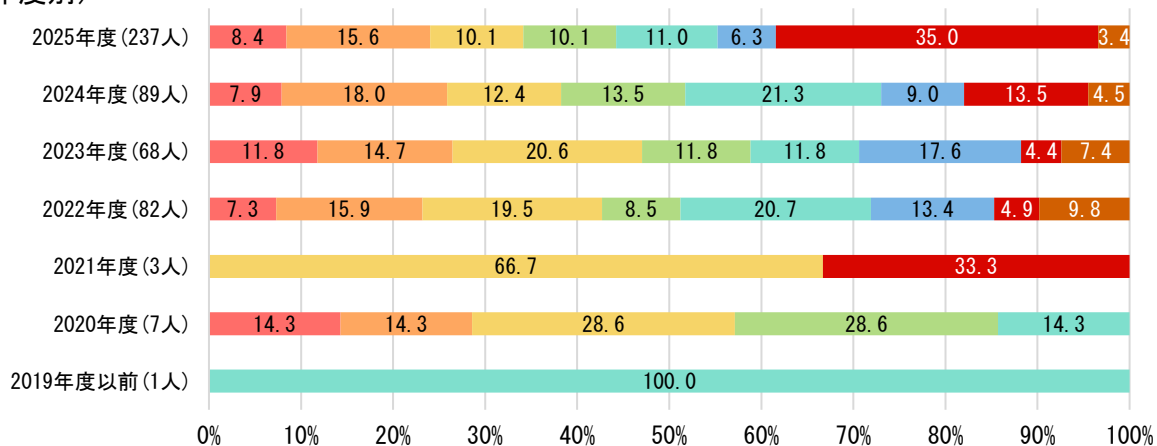
### 【全体(487人)】



### (学部別)



### (入学年度別)



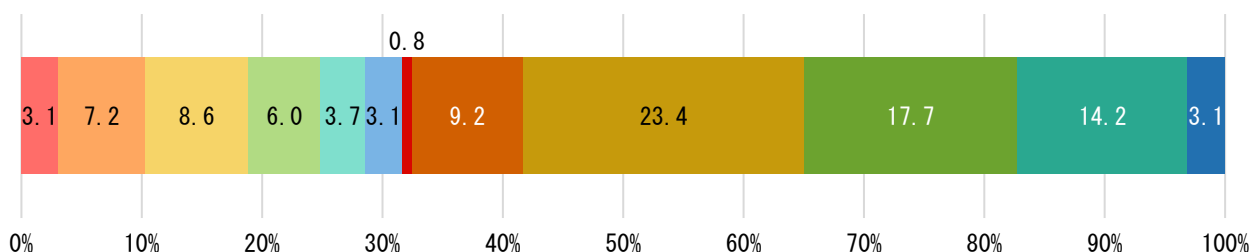
### (3) 希望する分野

問37 職業を決めるに当たって希望する分野は何ですか。

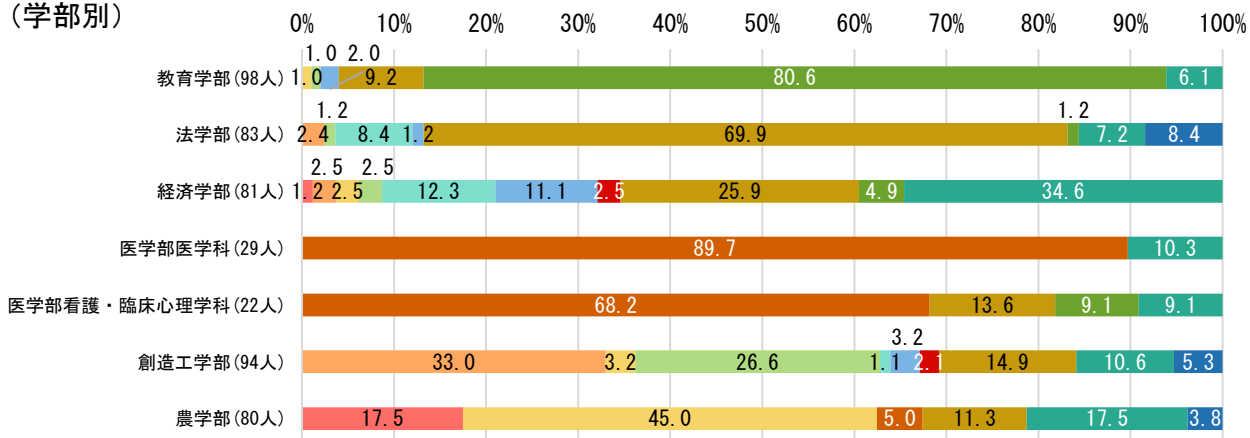
希望する職業分野は、全体では「公務員（国・地方自治体）」が23.4%で最も高く、次いで「教育関係」となる傾向は前回調査時と同様でした。学部別の傾向として、医学部では「保健・衛生・医療関係」、法学部では「公務員」、農学部では「食品・化学関係」が最も高くなる傾向が前回調査から引き続きみられました。創造工学部では「建設・機械関係」が最も高い傾向に変わりありませんが、「情報・通信関係」と「公務員」を希望する学生の割合が増加しました。また、法学部を除くすべての学部において「まだ決まっていない」学生の割合が前回調査と比べて増加していました。

- 農林・水産関係
- 建設・機械関係
- 食品・化学関係
- 情報・通信関係
- 商社・金融関係
- 販売・サービス関係
- マスコミ・出版関係
- 保健・衛生・医療関係
- 公務員（国・地方自治体）
- 教育関係
- まだ決まっていない
- その他

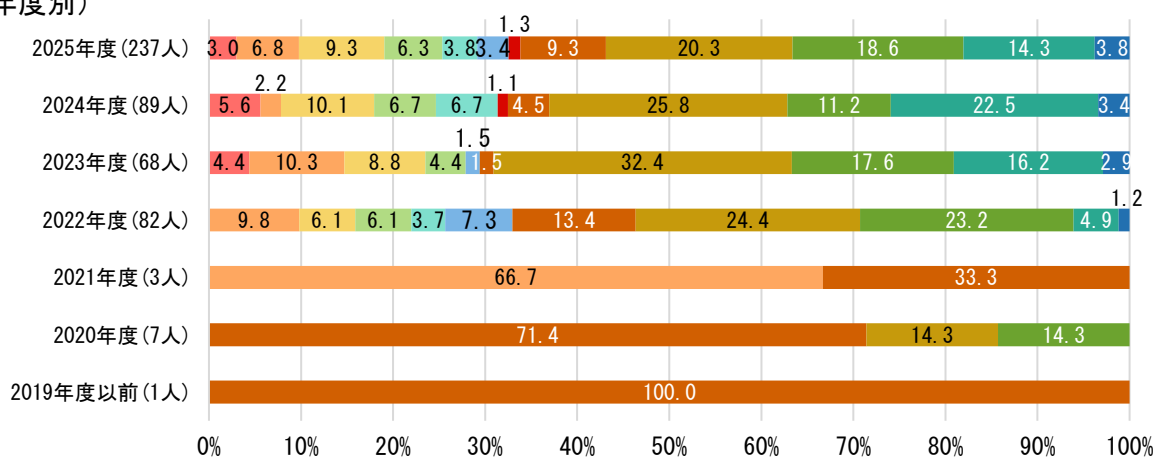
#### 【全体(487人)】



#### (学部別)



#### (入学年度別)



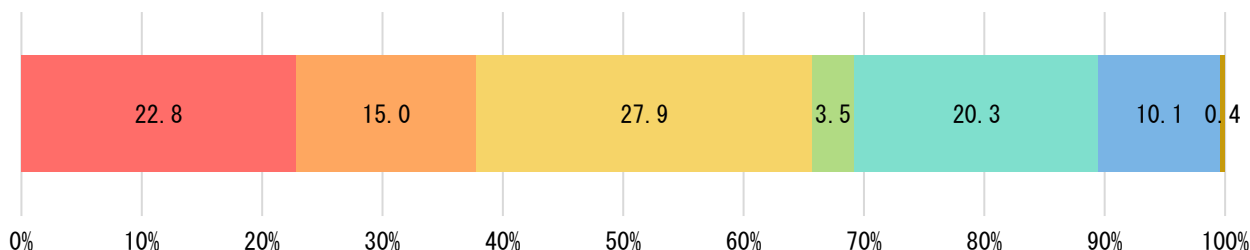
(4) 職業選定で重視すること

問38 職業を決めるに当たって重視することは何ですか。

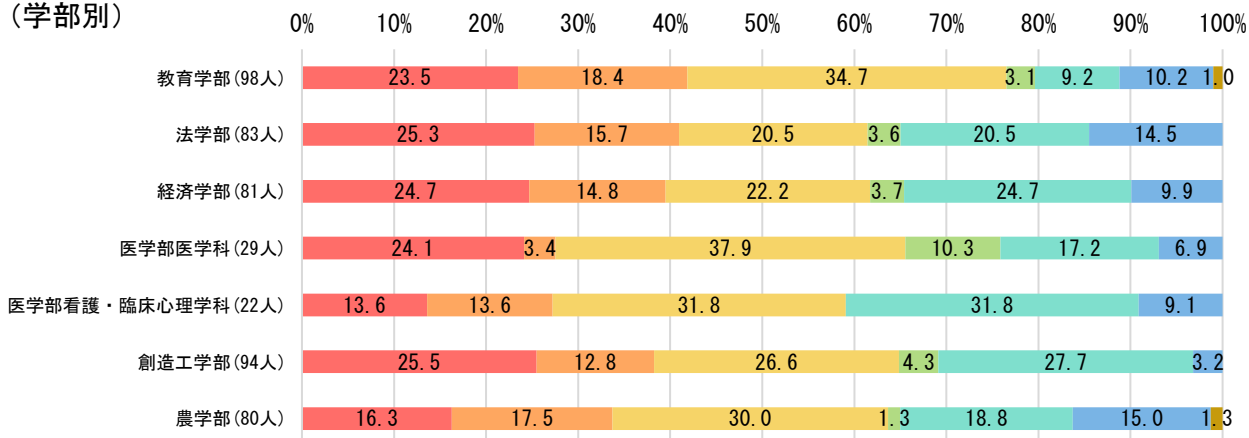
全体では「自分の能力や適性にあっていること」が27.9%で最も高く、次いで「企業の業種・仕事内容」、「勤務時間・休暇・福利厚生」、「企業の将来性・安定性」の順となっており、前回調査と同じ傾向がみられました。前回調査と比較して、職業を決めるにあたり「給料」を重視する学生が3.8%ポイント増加しました。学部別にみると、法学部、経済学部では「企業の業種・仕事内容」が最も高く、その他の学部では「自分の能力や適性にあっていること」が最も高くなる傾向がみられました。

- 企業の業種・仕事内容
- 自分の能力や適性にあっていること
- 勤務時間・休暇・福利厚生
- 企業の知名度
- その他
- 企業の将来性・安定性
- 地域条件
- 給料
- OB・OGの有無や定着度の高さ

【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)





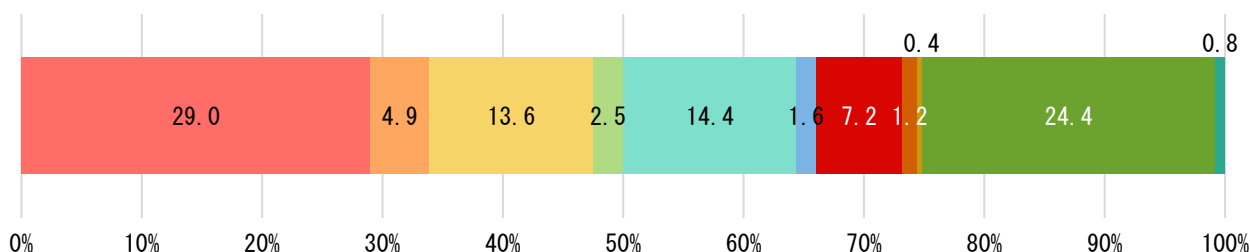
(5) 就職を希望する地域

問39 就職先としてどの地域を希望しますか。

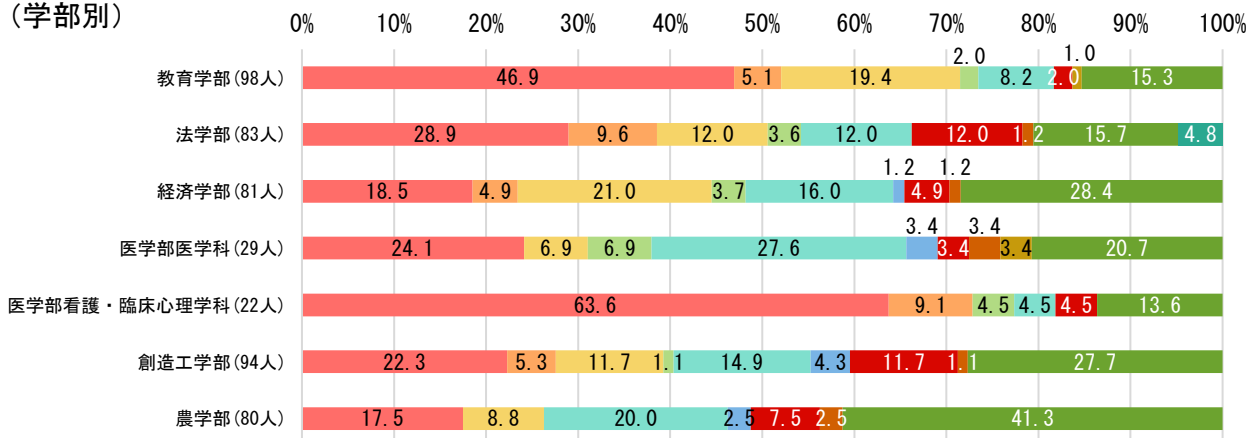
就職先の地域として「香川県内」を希望する学生の割合が最も高く、全体の50%が中四国地方を希望していました。特に教育学部と医学部看護・臨床心理学科では、香川県内での就職を希望する学生がそれぞれ46.9%と63.6%と多い傾向がみられました。次いで「近畿地方」への就職を希望する割合が高く、全体として西日本への就職希望者が多い傾向が示されました。医学部医学科と農学部では「近畿地方」への就職を希望する学生の割合が最も高くなる傾向がみられました。また出身地域別に就職先の希望地域をみたところ、いずれの地域においても「まだ決まっていない」を除き出身地域を希望する学生の割合が最も高くなる傾向がみられました。

- 香川県内
- 中国地方（岡山県を除く）
- 岡山県内
- 中国地方（岡山県を除く）
- 近畿地方
- 中部地方
- 関東地方
- 九州・沖縄地方
- 外国
- まだ決まっていない
- その他

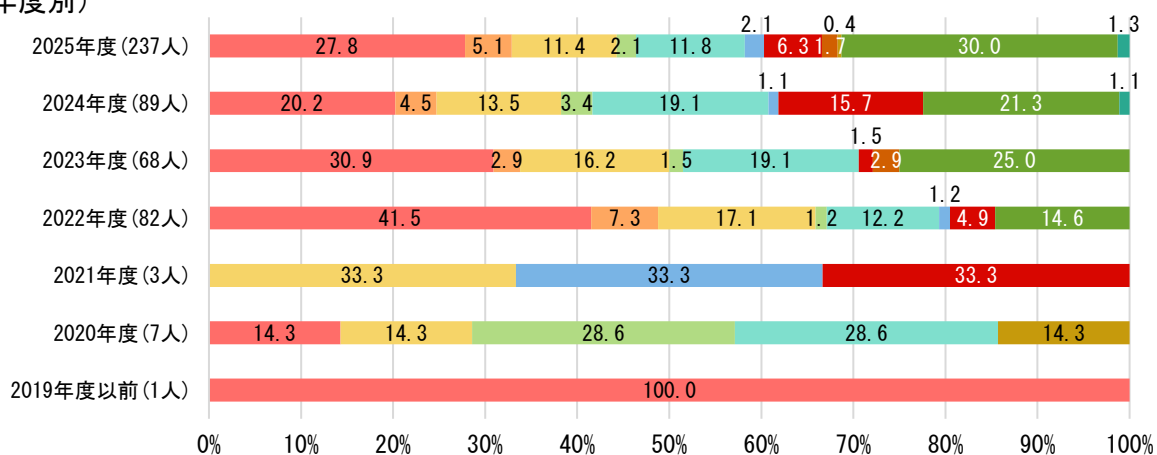
【全体(487人)】



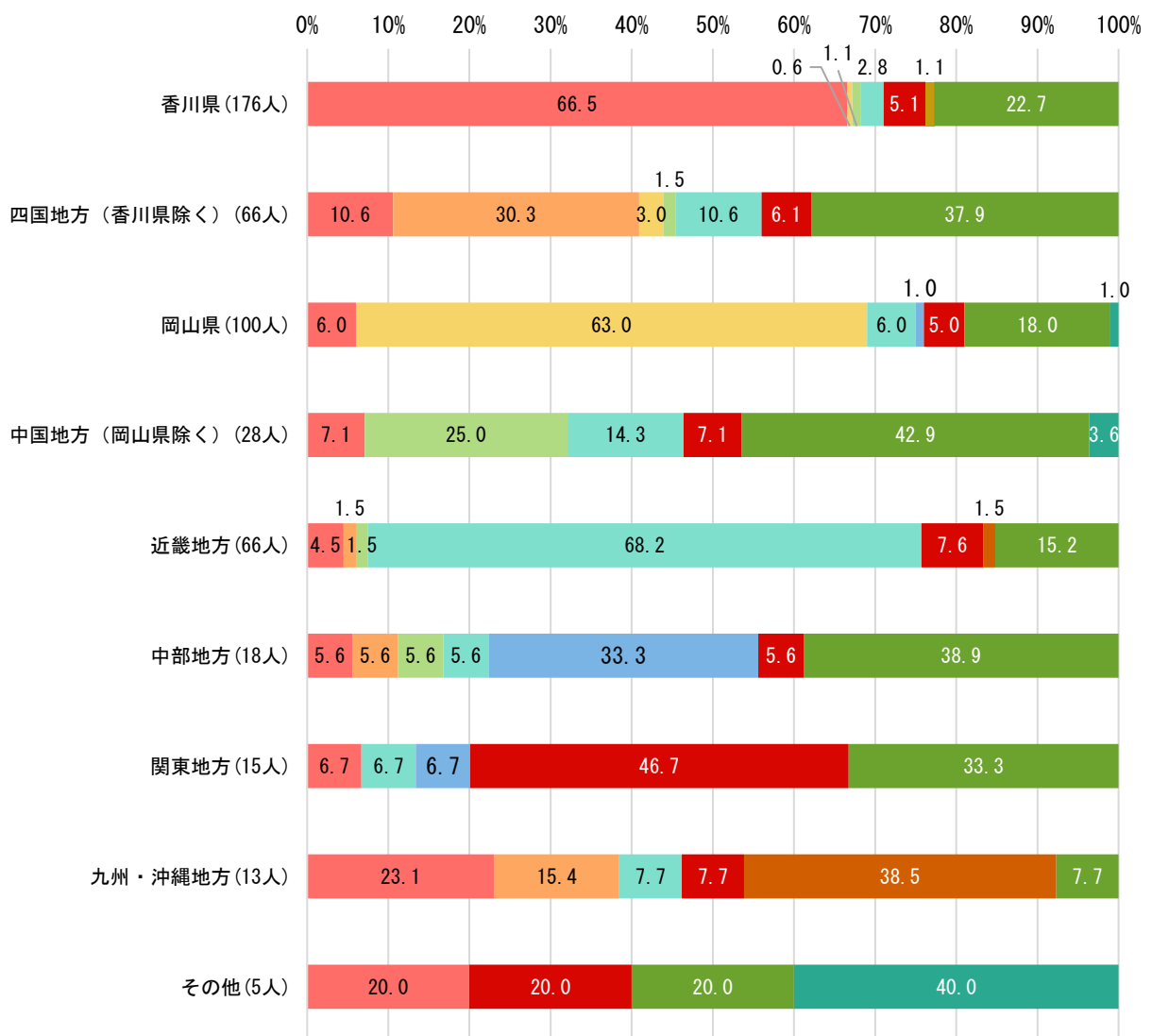
(学部別)



(入学年度別)



(就職を希望する地域×出身地)



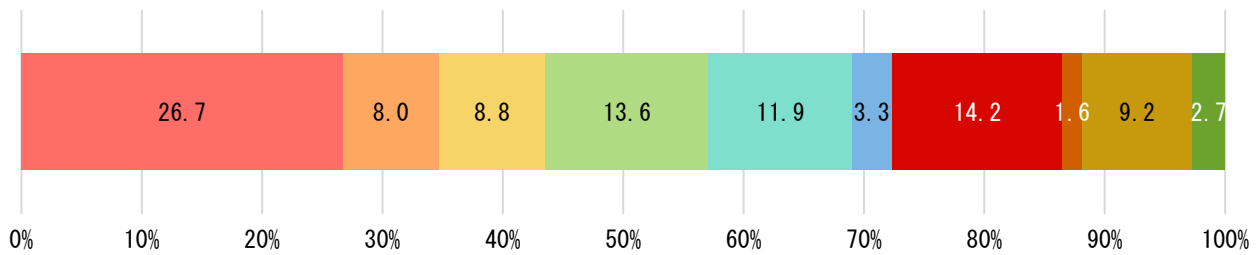
(6) 就職活動で不安なこと

問40 就職活動に関して、不安に思っていることは何ですか。

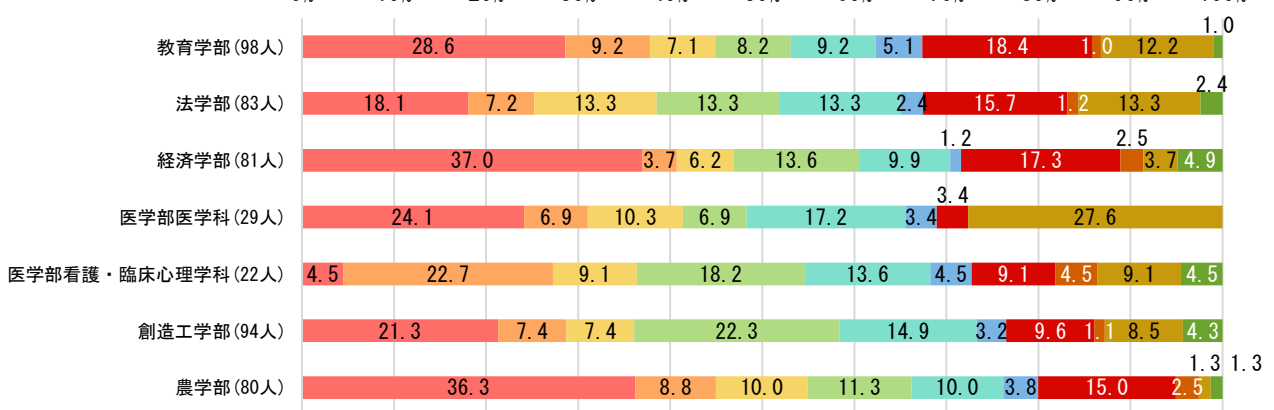
全体として「自分が何に向いているか分からない」が26.7%と最も高く、次いで「面接が不安」「就職活動のやり方が分からない」の順番となりました。  
学部別にみると、経済学部、農学部では「自分が何に向いているか分からない」の割合が他の学部と比べて高い傾向がみられました。医学部は他の学部と傾向が異なり、看護・臨床心理学科では「情報収集のやり方がわからない」が、医学科では「不安はない」が最も多くなる傾向がみられました。

- 自分が何に向いているか分からない
- 情報収集のやり方が分からない
- 他の学生に遅れをとっている気がする
- 就職活動のやり方が分からない
- 希望企業が自分を採用してくれるか自信がない
- 語学が苦手である
- 面接が不安である
- 大学の成績が良くない
- 不安はない
- その他

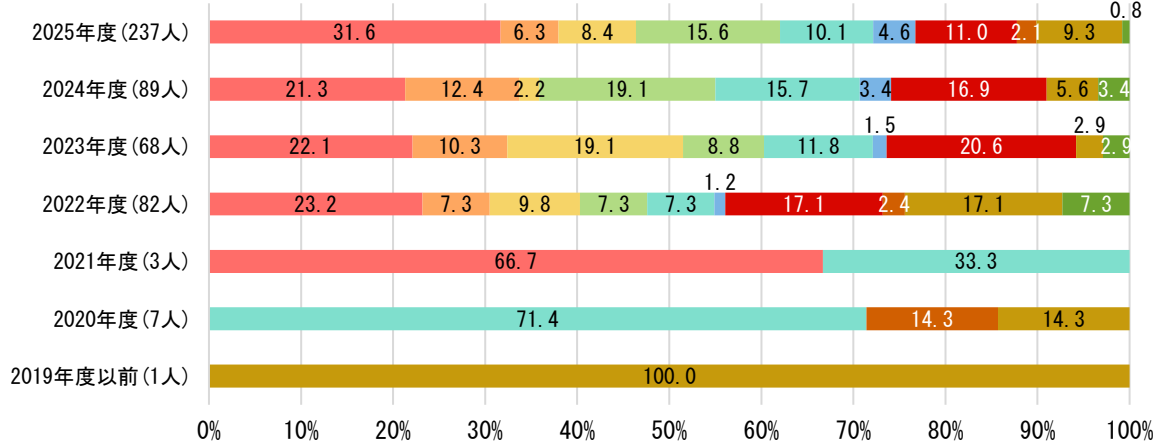
【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



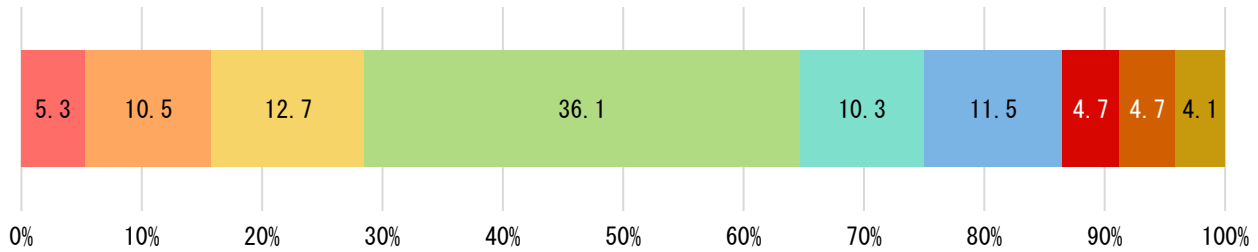
(7) 就職に関する大学への要望

問41 就職に関して大学へ要望したいことは何ですか。

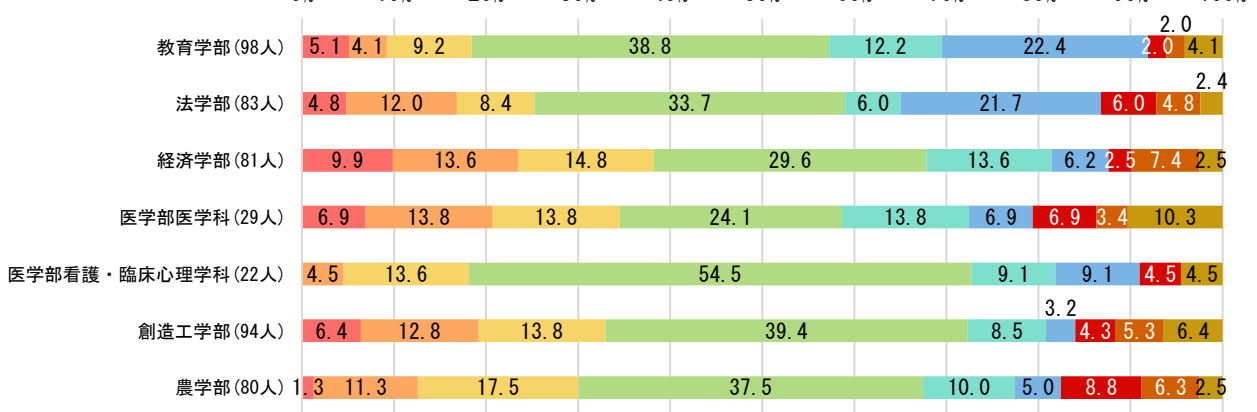
全体としては例年どおり「面接対策、履歴書・エントリーシートの書き方の実践指導の充実」が最も多いものの、その割合は20%台から35%超と大きく増えました。特に医学部看護・臨床心理学科でその変化が顕著となっています。学部別としてはそれに次いで教育学部と法学部で「公務員・教員試験講座を開くなど各種試験の合格対策」が多いものの、割合としては例年より2/3ほどに減少しています。本選考だけでなくインターンシップも含め面接の機会が多くなり、志望先に応じたアプローチの洗練に試行錯誤していることがうかがえます。

- 就職情報誌、就職関係書籍、PC（利用環境）の充実
- ガイダンス、セミナー等の充実
- 相談員による就職相談、職業適性検査の充実
- 面接対策、履歴書・エントリーシートの書き方の実践指導の充実
- 就職・職業に関する授業（キャリア科目）の充実
- 公務員・教員試験講座を開くなど各種試験の合格対策
- 企業説明会の内容充実、回数の増加
- 求人企業の開拓強化
- その他

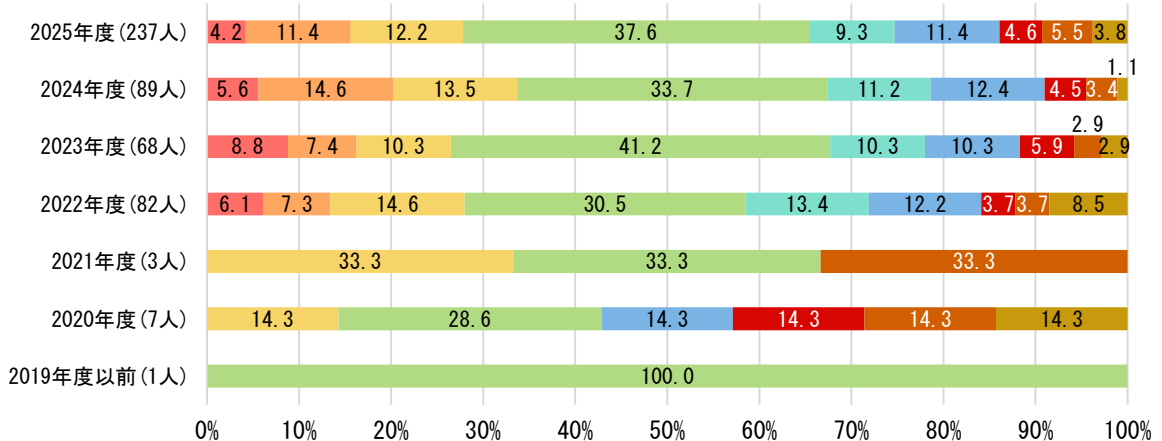
【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



#### 4. 情報社会における安心・安全

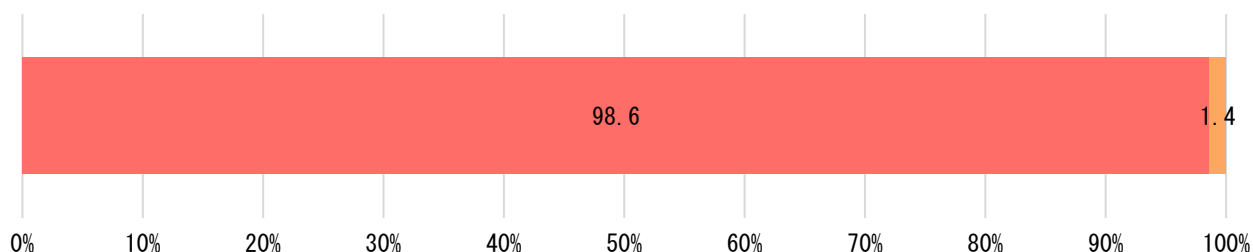
##### (1) SNSの利用状況

問42 SNS (LINE、YouTube、X (旧Twitter)、Instagram、TikTok等) を利用していますか。

コミュニケーションのツールとして、電話やメールからSNSが主役になっていることは明白です。一方で、SNSを通じたトラブルも新しく生まれた現象であり、その正しい利用方法について、倫理的内容も含めて知っておく必要があります。また、過度の依存は健康を損なう恐れがあるので注意が必要と思われます。

■ 利用している                      ■ 利用していない

##### 【全体(487人)】



##### (学部別)



##### (入学年度別)



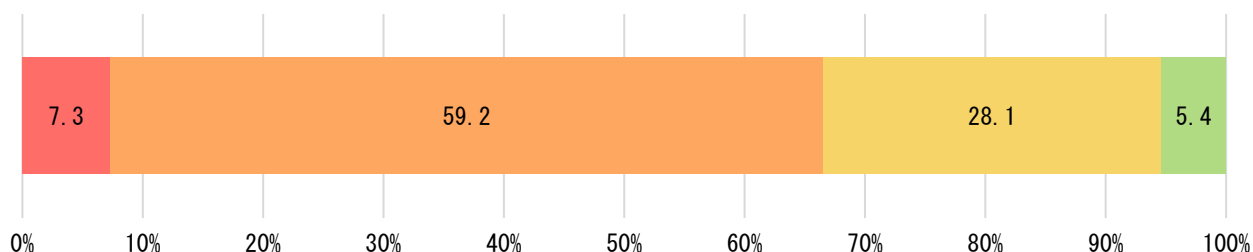
## (2) SNSの利用時間

問43 SNSを1日にどの程度使用していますか。

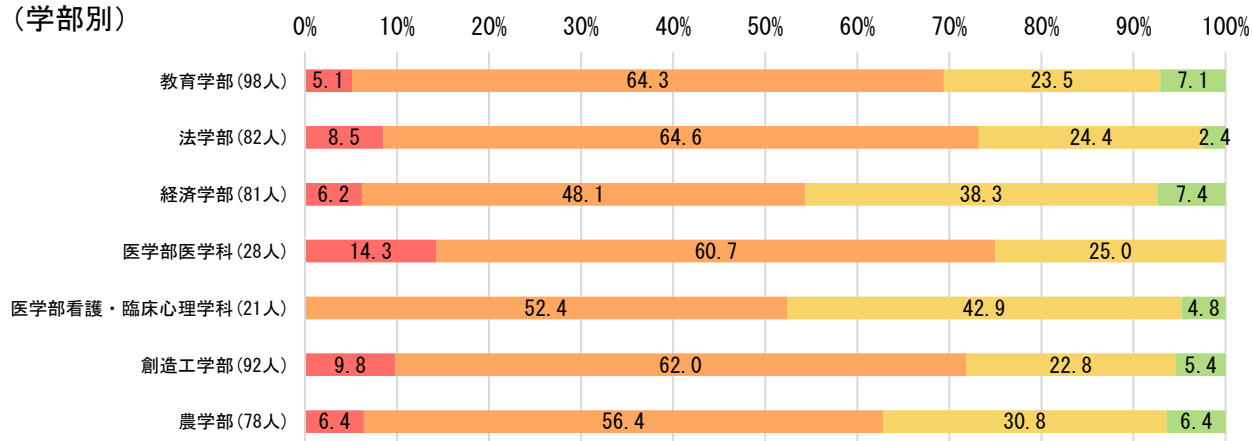
大学生の平日のSNS平均利用時間は4時間であり、本学学生が特別に利用が多いわけではありませんでした。前回調査に比べ、利用時間が短くなる傾向にある一方で、7時間以上と回答した学生が一定数おり、トラブルに巻き込まれたり、健康を損なうことがないように注視する必要があります。

■ 1時間未満      ■ 1時間～3時間      ■ 4時間～6時間      ■ 7時間以上

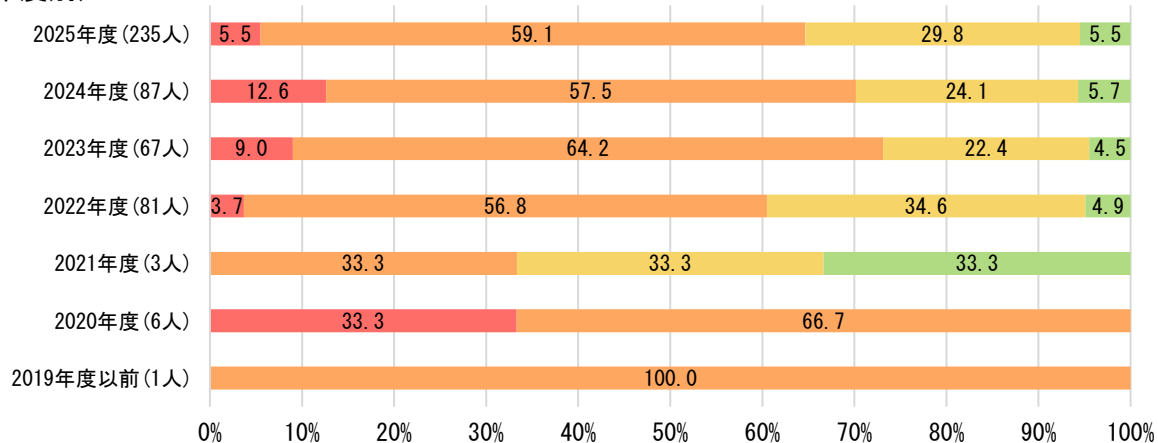
### 【全体(480人)】



### (学部別)



### (入学年度別)



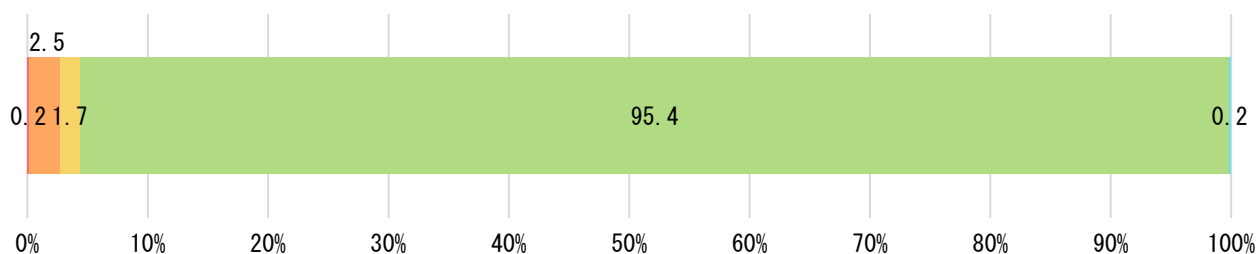
### (3) SNS上でのトラブル

問44 SNSを使用する上で、以下のようなトラブルにあったことがありますか。

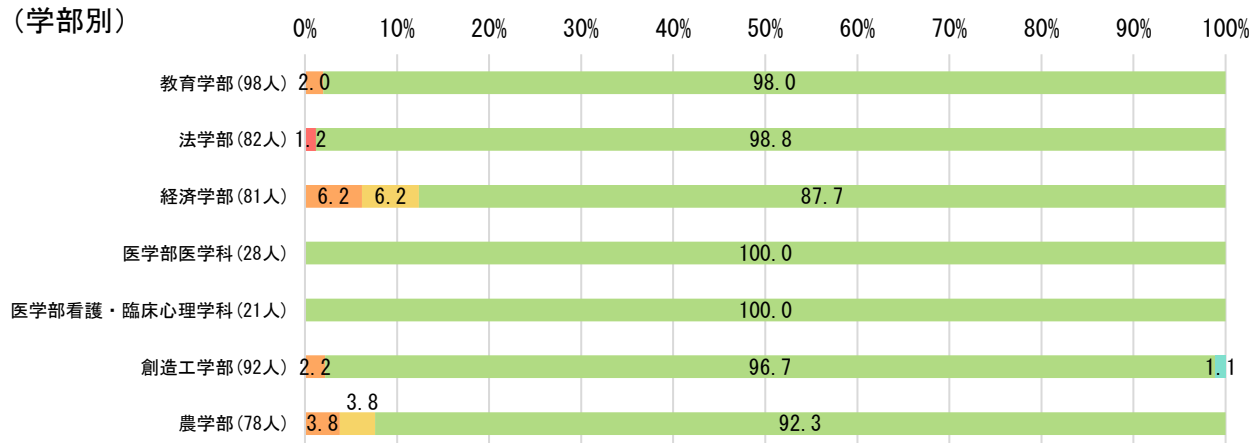
前回同様、大半の学生がトラブルにあったことはないと回答している一方、約4%の学生がSNS上でのトラブルに巻き込まれたと回答していることから、インターネットの利便性や危険性を理解し、情報を適切に活用するための知識や能力を身に着けることは重要であると考えられます。

- SNSへの投稿から個人情報が特定された
- SNS上で知り合った人とトラブルがおきた
- アカウントを乗っ取られ、覚えのない記事等を投稿された
- SNS上でのトラブルに巻き込まれた
- その他
- トラブルにあったことはない

#### 【全体(480人)】



#### (学部別)



#### (入学年度別)



問45 問44で、「その他」を選択した方はその内容を記述してください。

教育学部

[ 回答無し ]

法学部

[ 回答無し ]

経済学部

[ 回答無し ]

医学部医学科

[ 回答無し ]

医学部看護・臨床心理学科

[ 回答無し ]

創造工学部

[ ・作成したSNSアカウントがすぐに凍結される ]

農学部

[ 回答無し ]

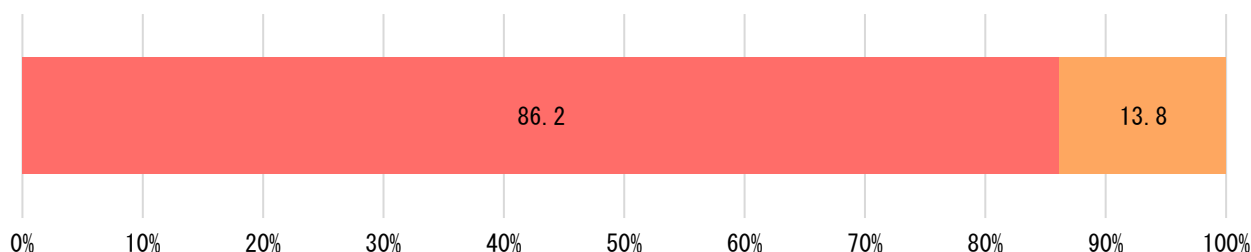
#### (4) 生成AIについて

問46 「ChatGPT (チャットGPT)」など、生成AIを知っていますか。

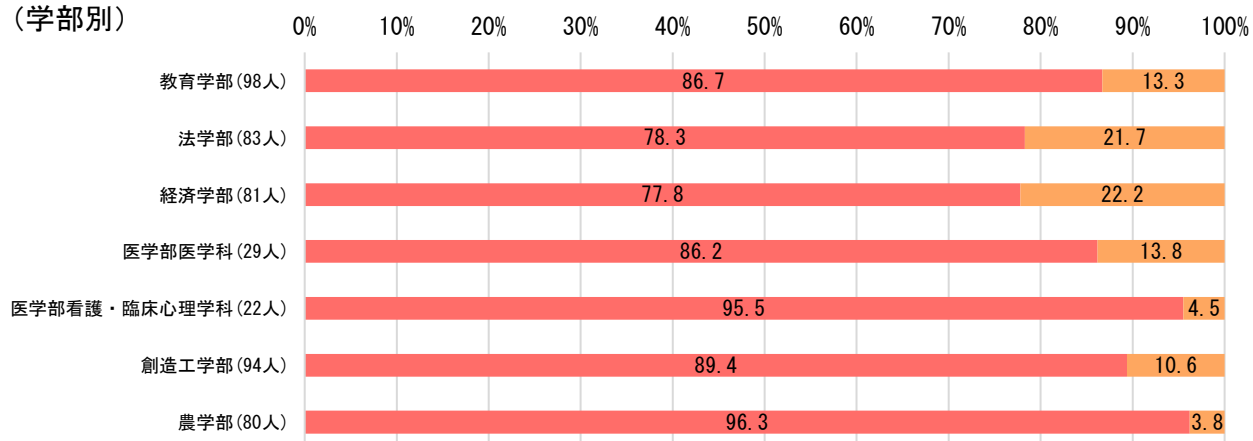
近年、急速な普及を見せており、当たり前のように活用されるようになった生成AIですが、やはり、実際に使ったことがあるという回答は、前回調査の約30%から約86%に増加しています。情報の正確さや著作権などの問題はありますが、メリットも多く、正しい理解と適切な利用が望まれます。生成AIの導入には、リスクを理解した上で、セキュリティ対策やルールの整備が必要であると考えられます。

■ 知っていて、実際に使っている      ■ 知っているが、使ったことはない      ■ 知らない

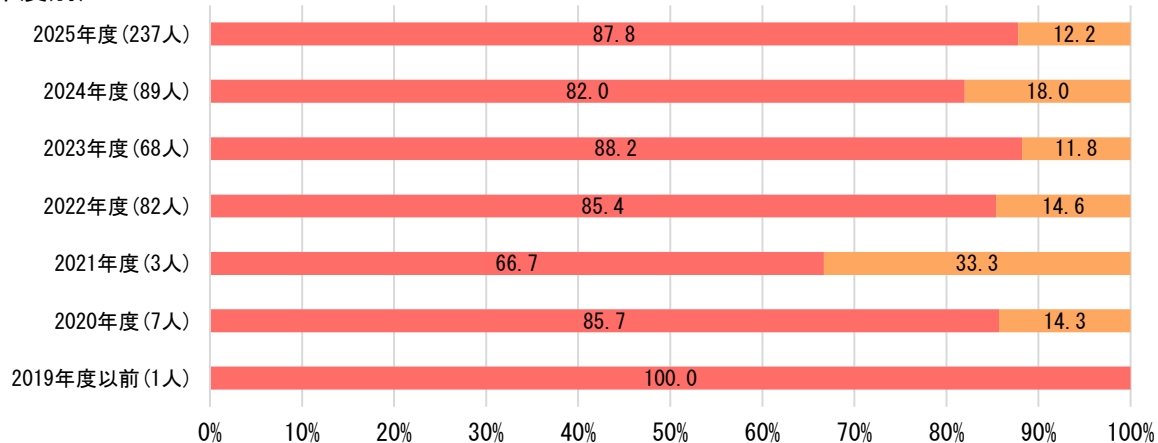
#### 【全体(487人)】



#### (学部別)



#### (入学年度別)



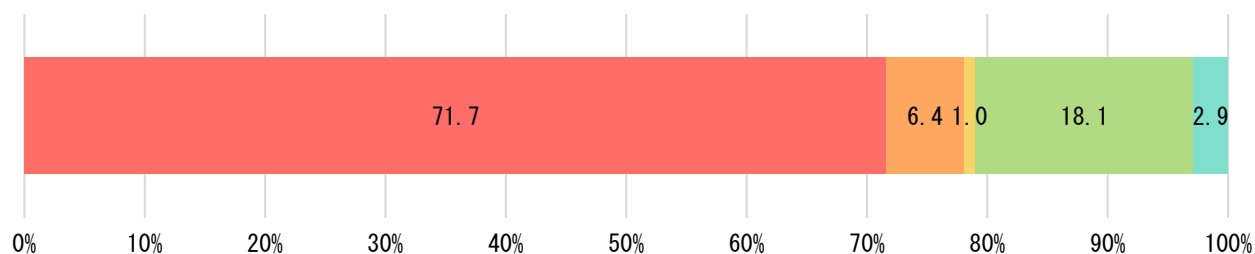
(5) 生成AIの主な用途

問47 生成AIをどのようなことに使っていますか。

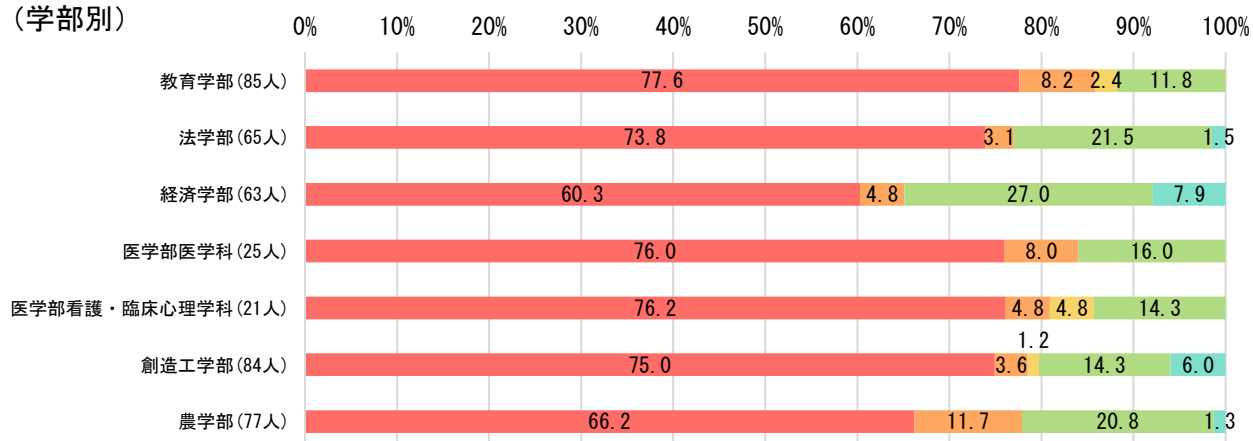
全体で約70%の学生が学業に、約20%が趣味に生成AIを活用していると回答しています。学生生活に生成AIが定着していることが分かります。

■ 学業      ■ 課外学習      ■ アルバイト      ■ 趣味      ■ その他

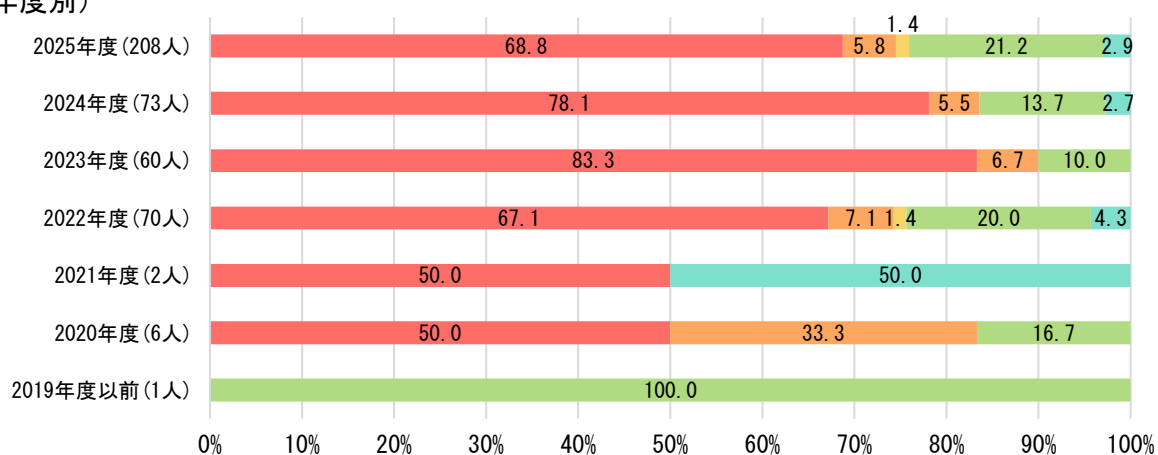
【全体(420人)】



(学部別)



(入学年度別)



問48 問47で、「その他」を選択した方はその内容を記述してください。

教育学部

（ 回答無し ）

法学部

（ ・話し相手 ）

経済学部

（ ・お悩み相談  
・スケジュール作成  
・学生プロジェクト  
・試しに数回使用  
・生活していて思い浮かんだ疑問を  
きいたり、チャットGPTの使えない  
ところを見て適度なストレスを得る ）

医学部医学科

（ 回答無し ）

医学部看護・臨床心理学科

（ 回答無し ）

創造工学部

（ ・就活、学業  
・使える場面であればなんでも  
・相談相手  
・悩み相談  
・宿題で、問題の意図がわからない時や  
考え方がわからない時に、答えでは  
なくやり方を教えてもらうようにして  
質問する ）

農学部

（ ・料理の作り方 ）

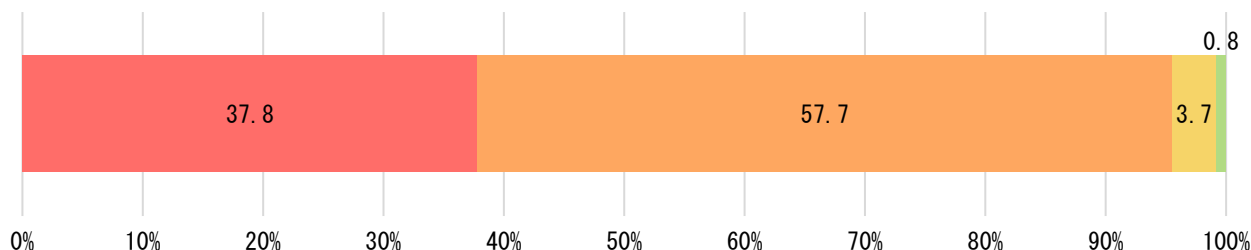
(6) 生成AIの活用について

問49 生成AIを活用することについて、どのように考えますか。

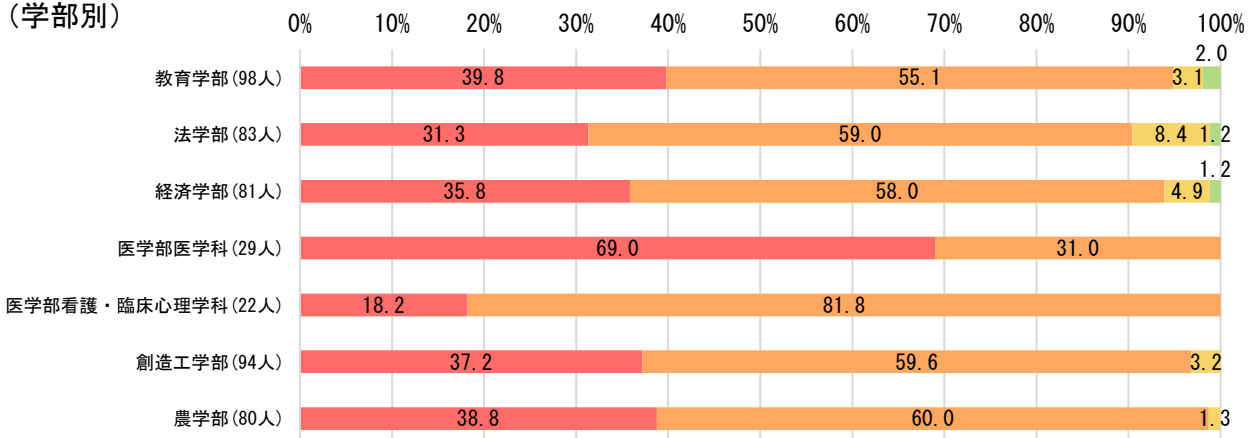
全体で約95%の学生が生成AIを活用すべきと回答していますが、生成AI活用のリスクについても不安を持っていることが分かります。便利なことだけではなく、生成AIを利用することによる問題についても広く周知、できれば低学年のうちから知っておく必要があると思われます。

- 十分に活用すべきである
- 問題（情報漏えい、著作権の侵害など）もあるので、必要な場合に限定して活用すべきである
- あまり活用すべきでない
- わからない

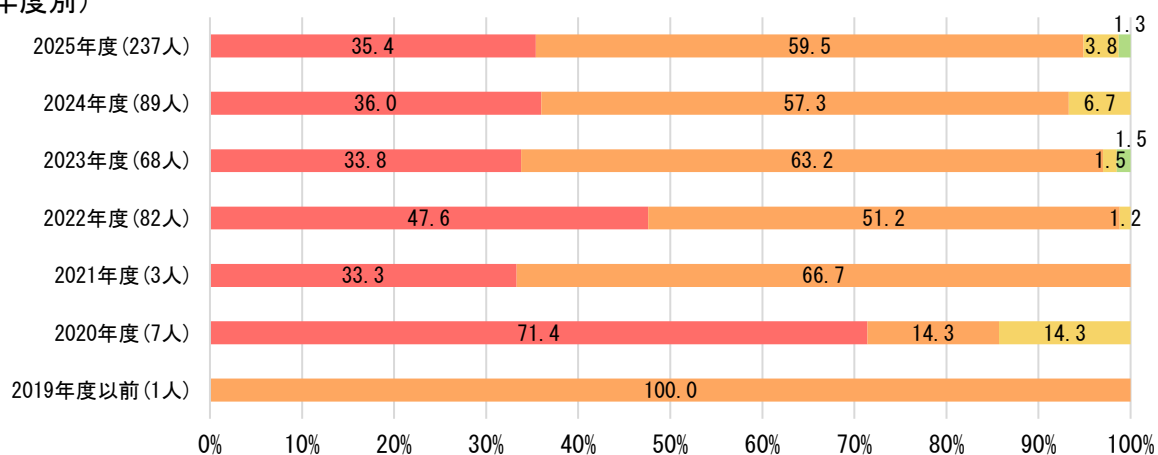
【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



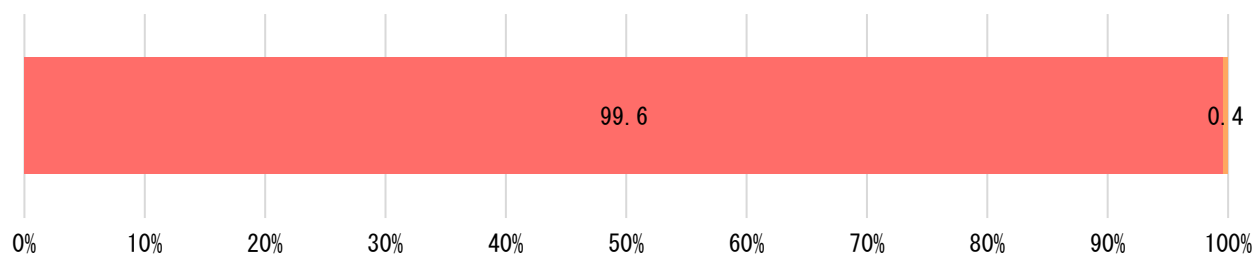
(7) 闇バイトについて

問50 「闇バイト」という言葉を知っていますか。

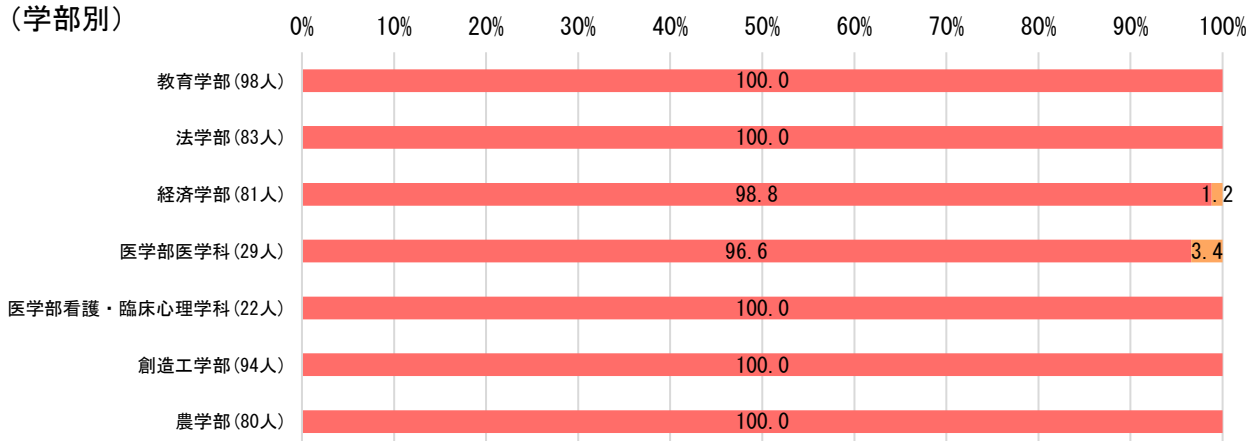
「闇バイト」という言葉について「知っている」が99.6%と大多数を占めています。入学年度別に見ると、入学して年数の浅い学年で「知らない」と回答する割合が、少ないながらも確認できます。入学時やガイダンスにおいて注意喚起を行う必要があるといえます。

■ 知っている                      ■ 知らない

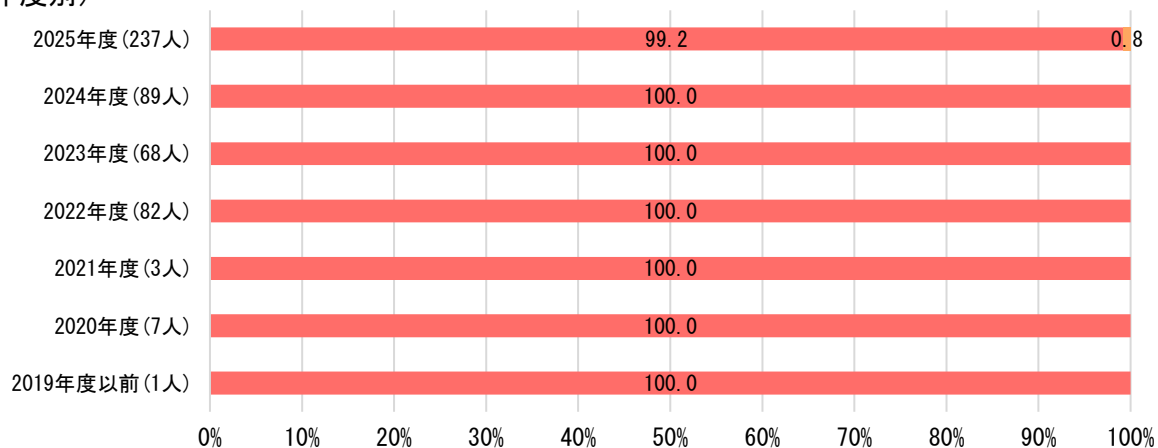
【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)

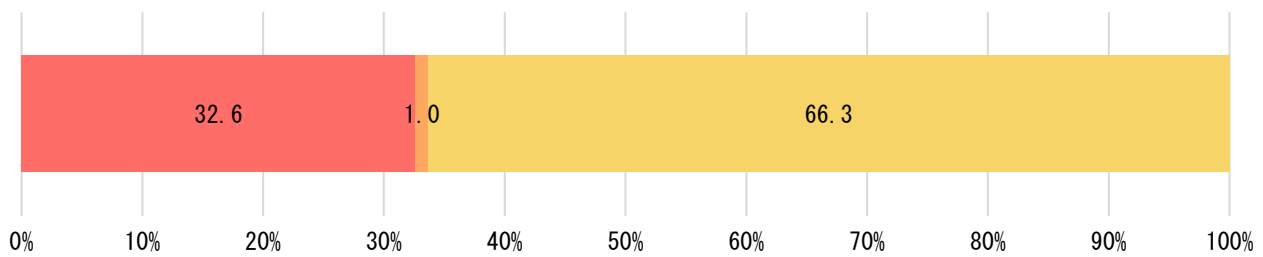


問51 「闇バイト」と思われる怪しい求人内容（簡単に稼げる、高収入、1日で数万円、等）を見たことはありますか。

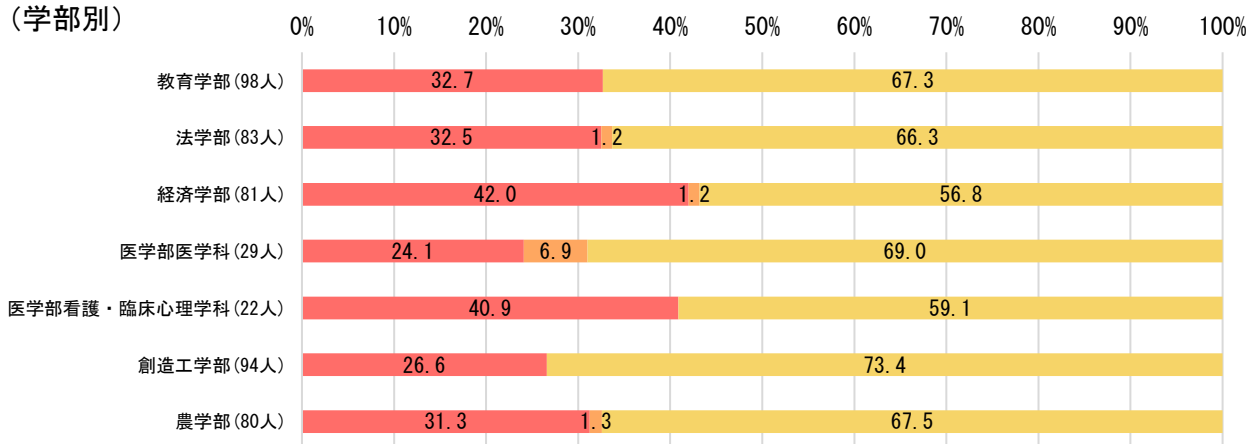
「闇バイト」と思われる怪しい求人内容について「SNS上で見たことがある」32.6%、「街中で見たことがある」1.0%で、「見たことはない」が66.3%となっています。SNSを多用する若者の現状を踏まえると、「闇バイト」の例示や怪しい求人内容について注意喚起をする必要があるといえます。

■ SNS上で見たことがある      ■ 街中で見たことがある      ■ 見たことはない

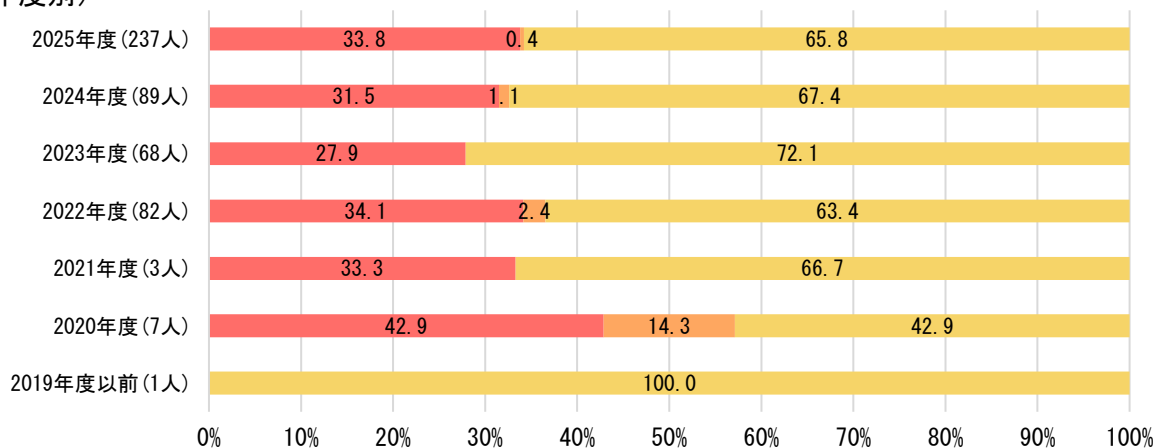
【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)

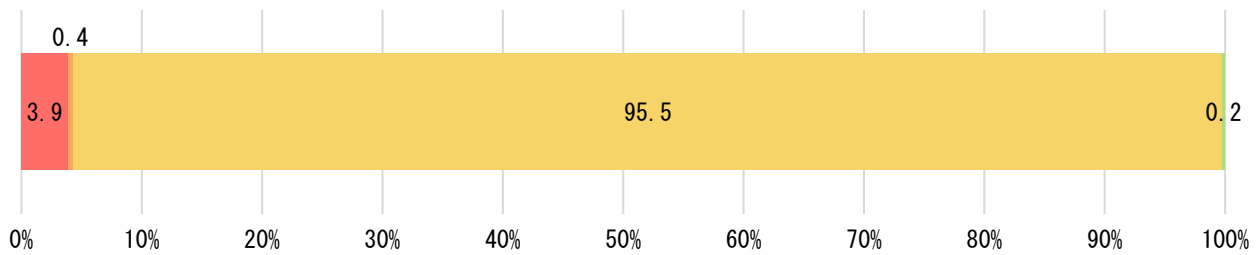


問52 「闇バイト」と思われる怪しい求人について勧誘されたことはありますか。

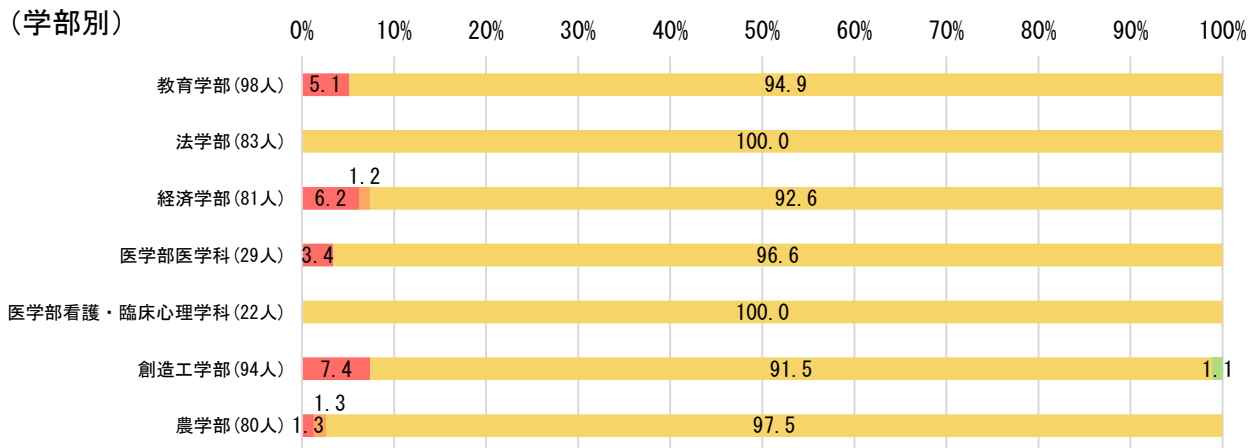
「闇バイト」と思われる怪しい求人について「勧誘されたことはない」が95.5%で大多数を占めますが、「SNS上で勧誘されたことがある」が3.9%、「友人・知人などから勧誘されたことがある」が0.4%と、少ないながらも「闇バイト」の危険にさらされる経験をしている学生がいます。万が一勧誘された場合の対処方法（断り方、相談窓口等）を周知する必要があるといえます。

- SNS上で勧誘されたことがある
- 友人・知人などから勧誘されたことがある
- 勧誘されたことはない
- その他

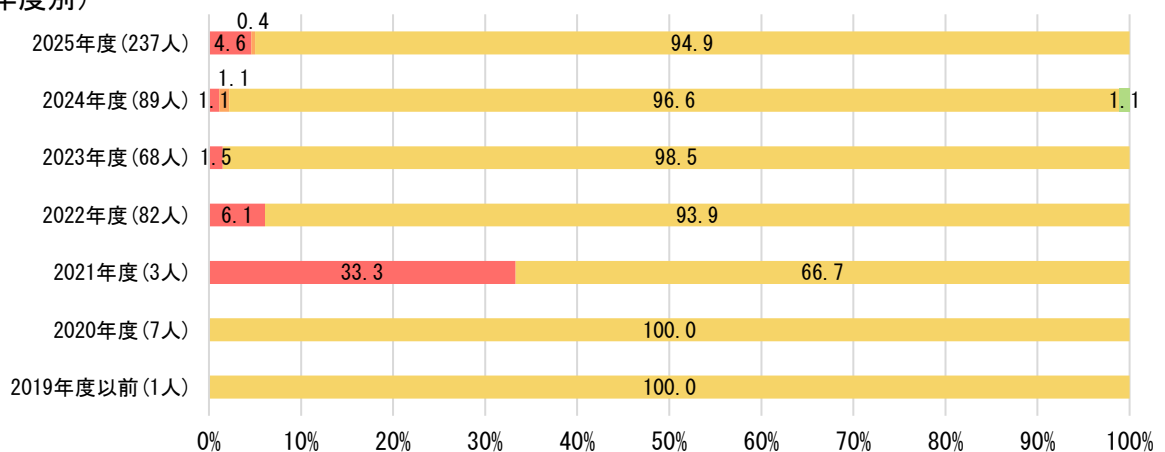
【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



問53 問52で、「その他」を選択した方はその内容を記述してください。

教育学部

[ 回答無し ]

法学部

[ 回答無し ]

経済学部

[ 回答無し ]

医学部医学科

[ 回答無し ]

医学部看護・臨床心理学科

[ 回答無し ]

創造工学部

[ ・YouTubeの動画間の広告で流れてくる ]

農学部

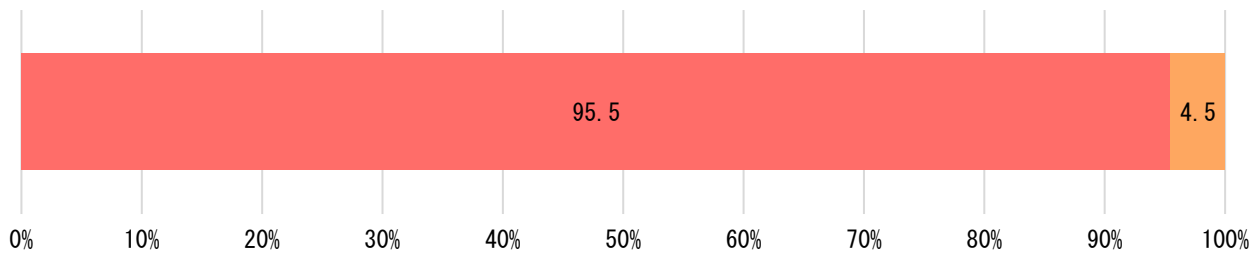
[ 回答無し ]

問54 「闇バイト」に勧誘された時、どのように対処しましたか。

「闇バイト」に勧誘された時、「無視した」が95.5%と多数を占め、「友人・先輩や家族に相談した」が4.5%となっています。「大学に相談した」は0%であることから、学内の相談窓口の認知度が低い可能性が考えられます。友人・先輩から相談される場合の対処方法、学内の相談窓口について周知する必要があるといえます。

■ 無視した ■ 友人・先輩や家族に相談した ■ 大学に相談した ■ 警察など、公的専門機関に相談した

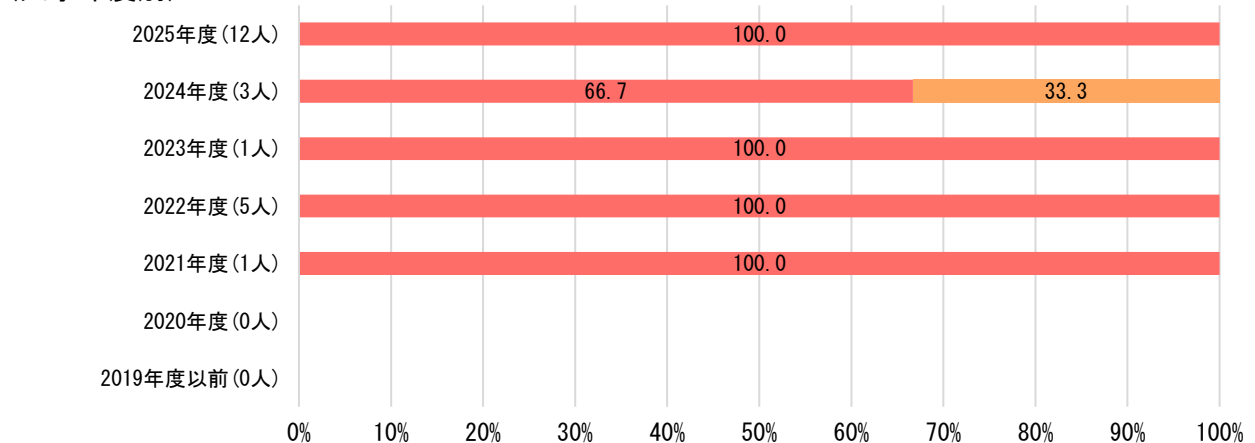
【全体(22人)】



(学部別)



(入学年度別)



## 5. 健康

### (1) 保健管理センターの利用状況

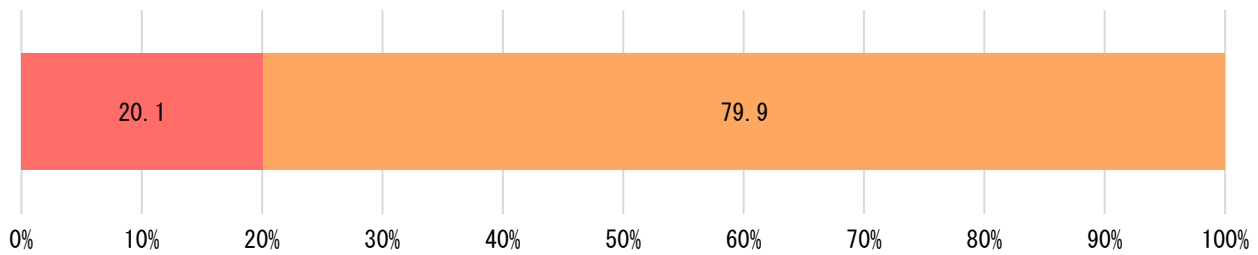
問55 あなたは定期健康診断以外に保健管理センターを利用したことがありますか。

利用したことが「ある」と回答した学生は20.1%で、前回調査（20.8%）から大きな変化はみられませんでしたが、一方で、COVID-19感染予防が実施される以前に行われた令和元年度調査（33.1%）と比べると、感染予防が緩和された現在も利用率は回復途上にある可能性が考えられます。

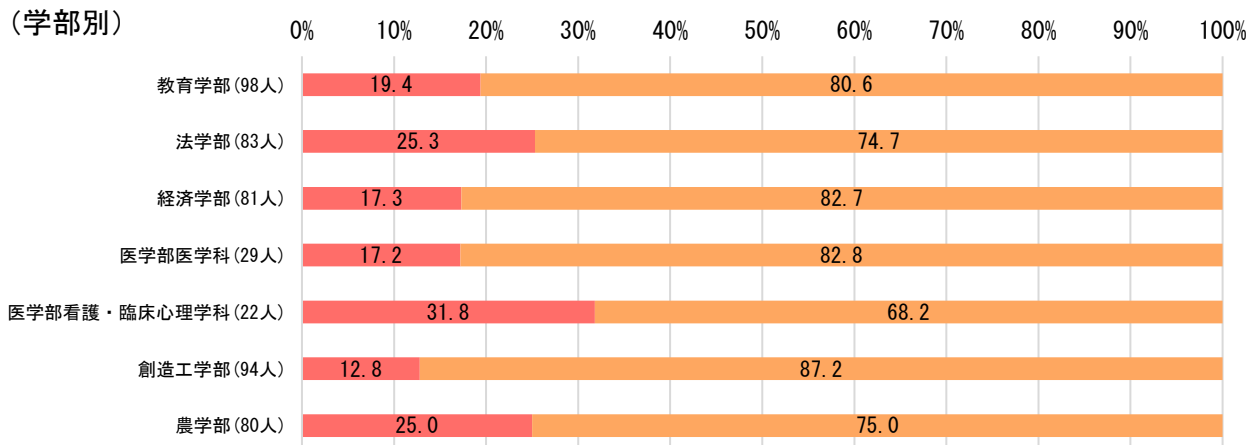
保健管理センターでは、内科的・外科的応急処置、医師・保健師による健康相談、カウンセラーによる心理相談、体重計・身長計などの計測機器の利用が可能です。心身の不調や生活上の悩みを抱えた学生が保健管理センターを気軽に利用できるよう、これらの機能を引き続き周知していくことが大切です。

■ 利用したことがある      ■ 利用したことはない

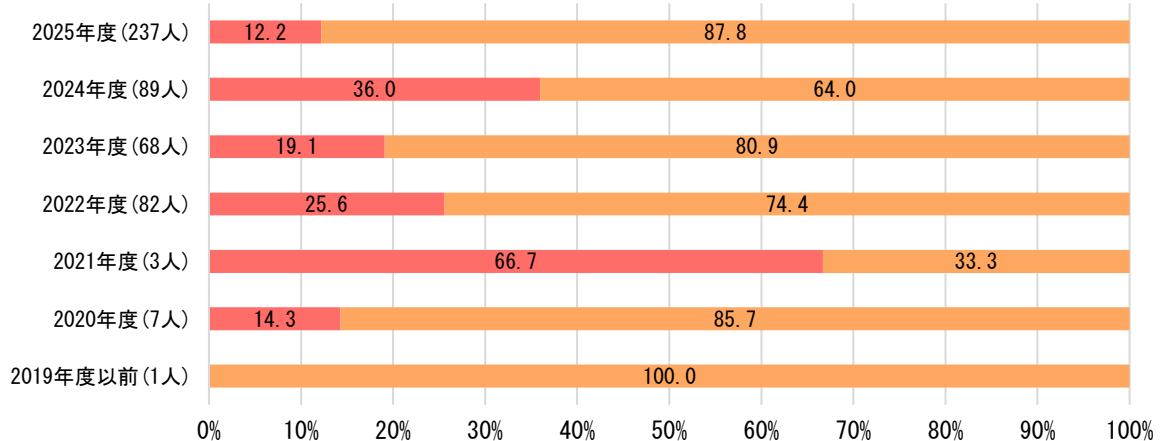
#### 【全体(487人)】



#### (学部別)



#### (入学年度別)

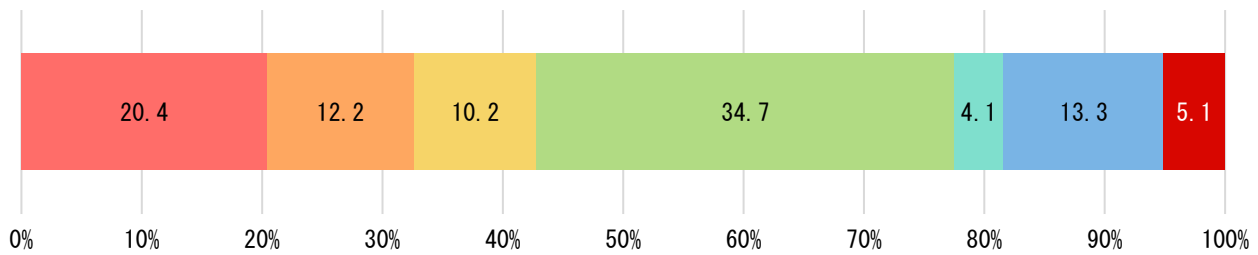


問56 どのような症状で保健管理センターを利用しましたか。

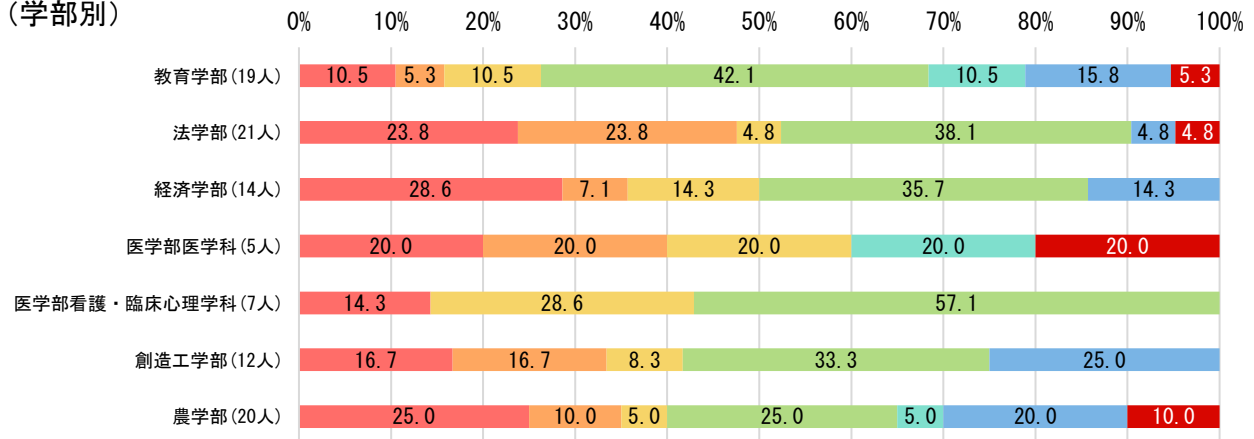
保健管理センターを利用したことが「ある」と回答した学生に対して、利用内容を尋ねたところ「カウンセラーによる心理相談」が34.7%と最も多く、前回調査（27.5%）を上回っていました。次いで「内科的応急処置（20.4%）」「体重計、身長計等の計測機器の利用（13.3%）」「外科的応急処置（12.2%）」「医師・保健師による健康相談（10.2%）」「その他（5.1%）」「精密検査（4.1%）」という結果でした。従来の利用内容として多かった、発熱や気分不良などへの内科的応急処置に加えて、心理相談に対するニーズが学生の間で高まっている様子が見えます。

- 内科的応急処置
- 外科的応急処置
- 医師・保健師による健康相談
- カウンセラーによる心理相談
- 精密検査
- 体重計、身長計等の計測機器の利用
- その他

【全体 (98人)】



(学部別)



(入学年度別)



## (2) 身体の具合が悪くなった時の対処方法

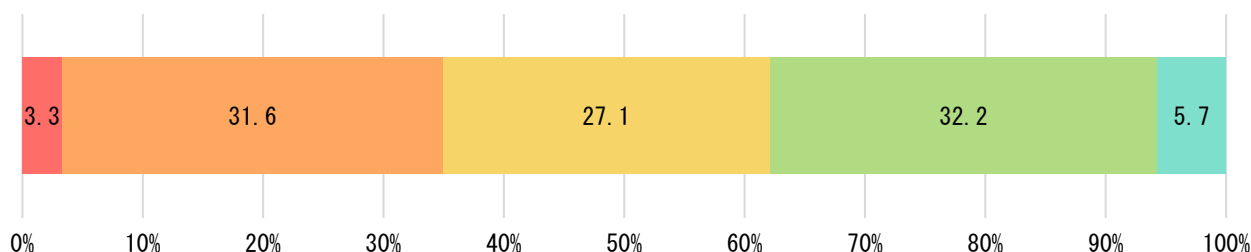
問57 身体の具合が悪くなったとき、通常どのように対処していますか。

体調不良の際に学生がとる対処法としては、「安静にしている」が32.2%と最も多く、次いで「病院へ行く(31.6%)」「市販薬を飲む(27.1%)」「何もしない(5.7%)」「保健管理センターへ行く(3.3%)」という結果でした。全体的な傾向として、前回調査と大きな変化はありませんでした。

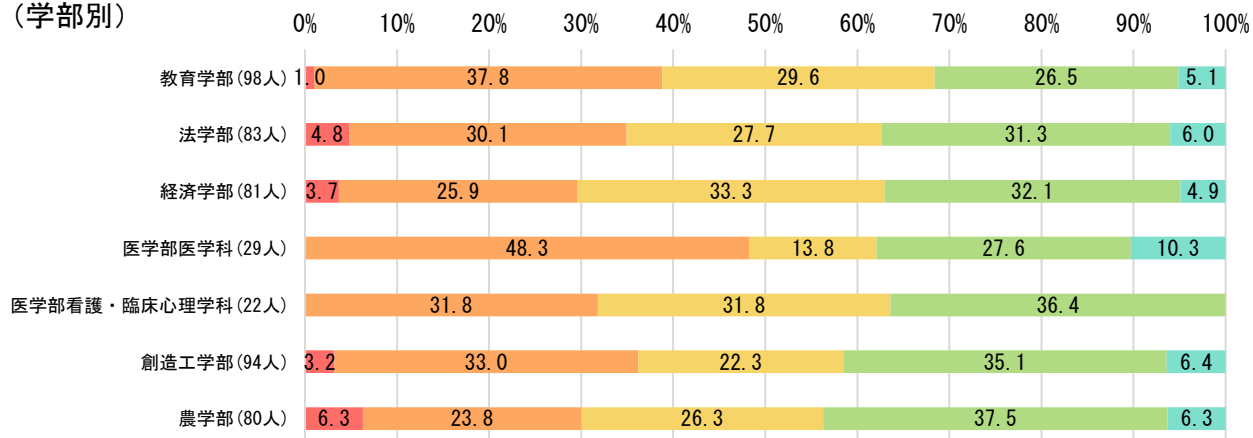
ただし、保健管理センターへ行くよりも、何もせず我慢をしている学生の方が多い現状を踏まえると、身体の具合が悪くなったときの有効な対処法の一つとして、保健管理センターへ相談できることを学内で周知していく必要があります。

■保健管理センターへ行く ■病院へ行く ■市販薬を飲む ■安静にしている ■何もしない

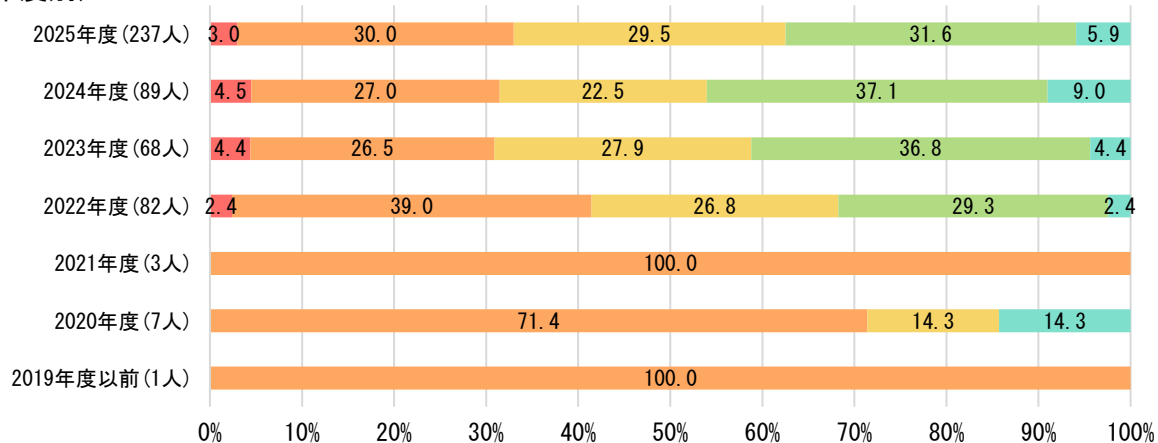
### 【全体(487人)】



### (学部別)



### (入学年度別)



### (3) 飲酒の頻度

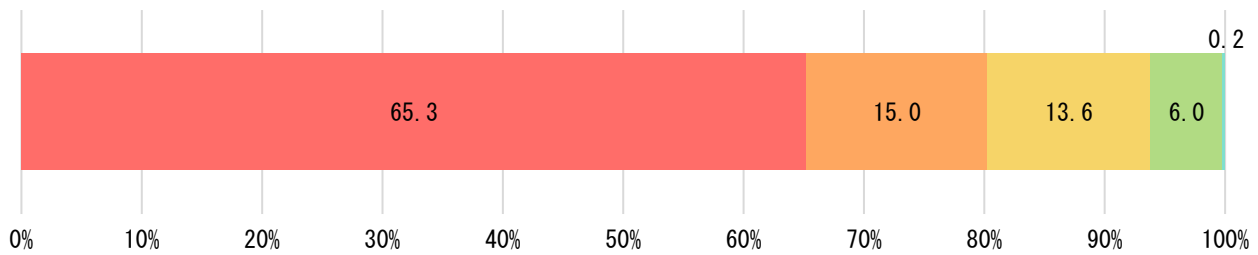
問58 お酒を飲みますか。

お酒を「飲まない・飲めない」と回答した学生は65.3%で、前回調査(51.8%)を上回っていました。また「月に数回飲む」という学生も13.6%と、前回調査(24.4%)から減少しており、学生全体の飲酒機会が減っている様子が見えます。

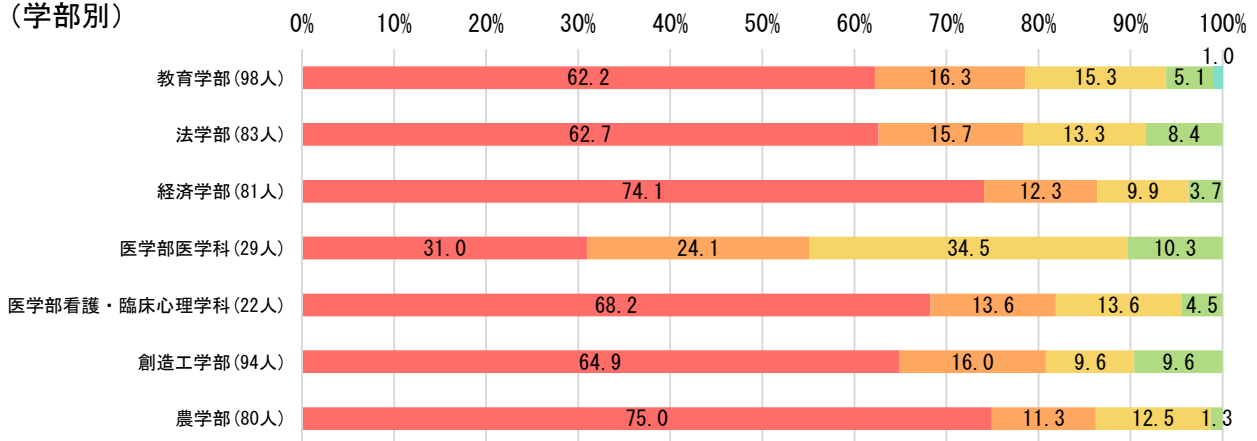
引き続き、20歳未満の飲酒は法律違反であることを各学部・サークル・研究室で周知するとともに、飲酒に伴う身体への影響など、お酒に関する健康教育を学生に行っていくことが大切です。

■ 飲まない・飲めない ■ 年に数回飲む ■ 月に数回飲む ■ 週に数回飲む ■ ほとんど毎日飲む

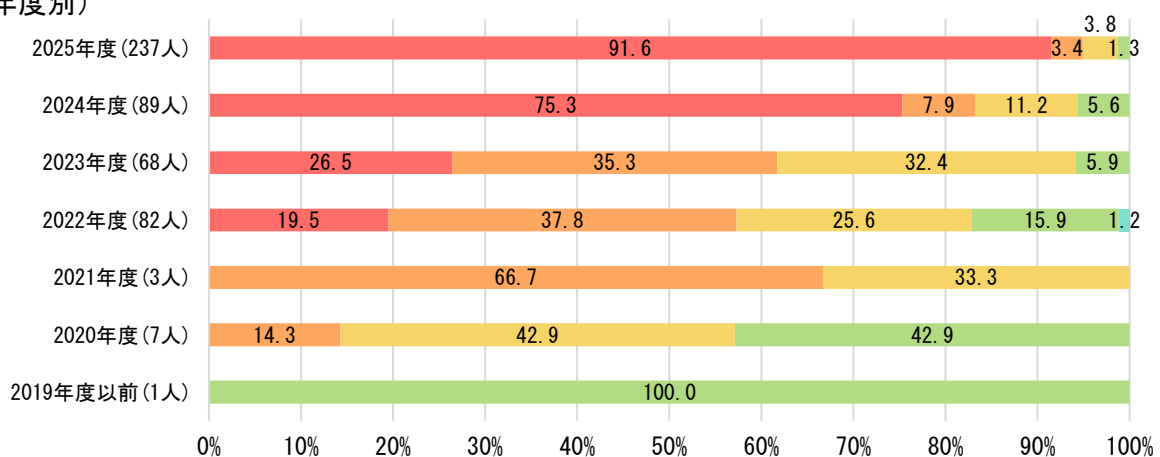
#### 【全体(487人)】



#### (学部別)



#### (入学年度別)



#### (4) 喫煙の頻度

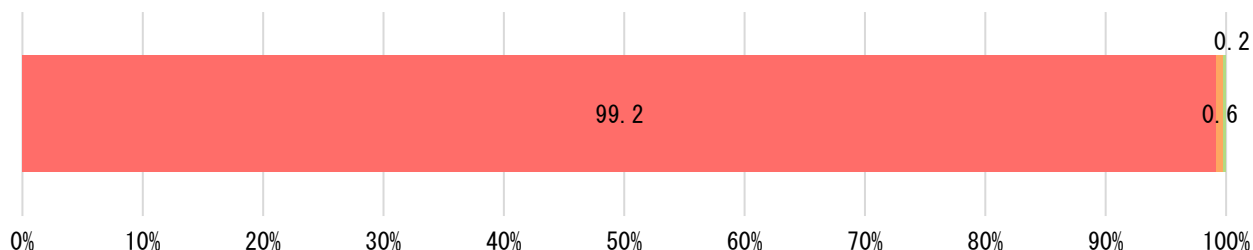
問59 たばこを吸いますか。

たばこを「吸わない・吸えない」と回答した学生は99.2%で、前回調査(98.2%)と同様に、ほとんどの学生がたばこを吸っていない状況が明らかとなりました。また、学年間における差も特にはみられませんでした。

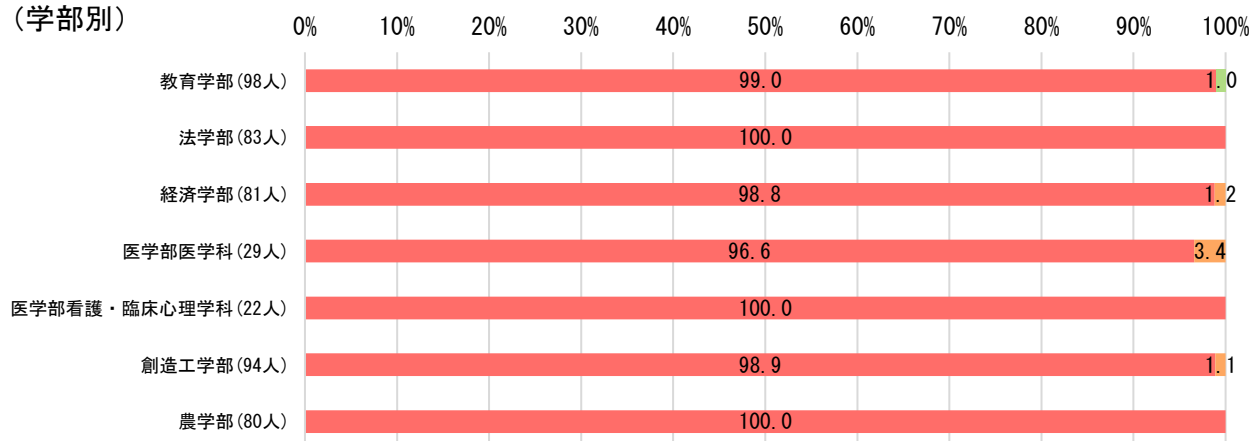
引き続き、喫煙者に対してはマナーを守ることを周知するとともに、喫煙に伴う体への影響など、たばこに関する健康教育を学生に行っていくことが大切です。

■ 吸わない・吸えない ■ 1日に1~10本程度吸う ■ 1日に11~20本程度吸う ■ 1日21本以上吸う

#### 【全体(487人)】



#### (学部別)



#### (入学年度別)



(5) 1日の睡眠時間

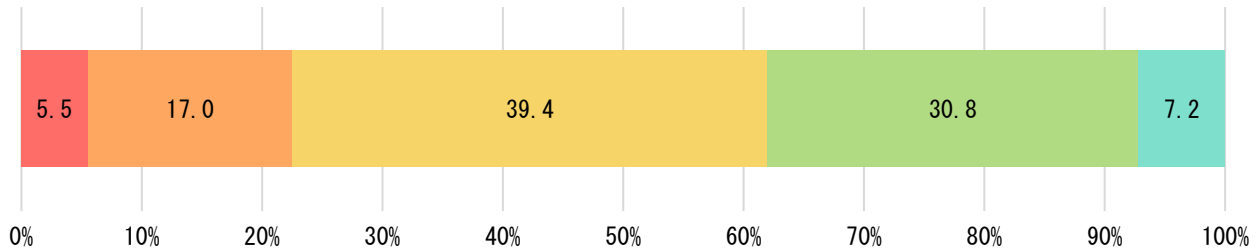
問60 あなたの1日の睡眠時間はおよそ何時間ですか。

睡眠時間が「5時間未満」の学生は5.5%、「5時間」は17.0%と、全体の約4分の1にあたる学生が6時間を下回る睡眠状況にあることが示されました。また、こうした学生は履修する授業数が多く、サークルやアルバイトなどの課外活動が盛んな1・2年生に多いことがうかがえました。

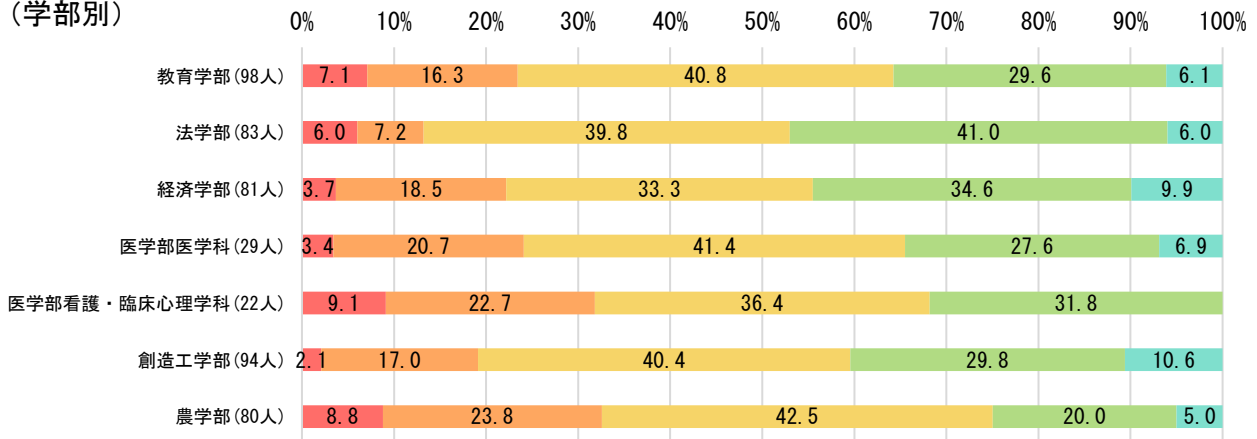
睡眠不足は、心身の健康や学業に影響するため注意が必要です。眠りたくても眠れない・途中で目が覚めてしまうなど、睡眠困難の症状がみられる場合には、保健管理センターへの相談や病院受診を考えても良いでしょう。

■ 5時間未満 ■ 5時間 ■ 6時間 ■ 7時間 ■ 8時間以上

【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



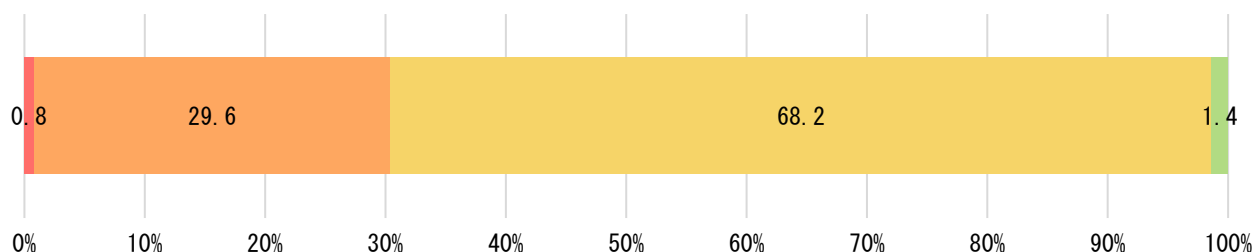
## (6) 1日の食事回数

問61 あなたの1日の食事は何回ですか。

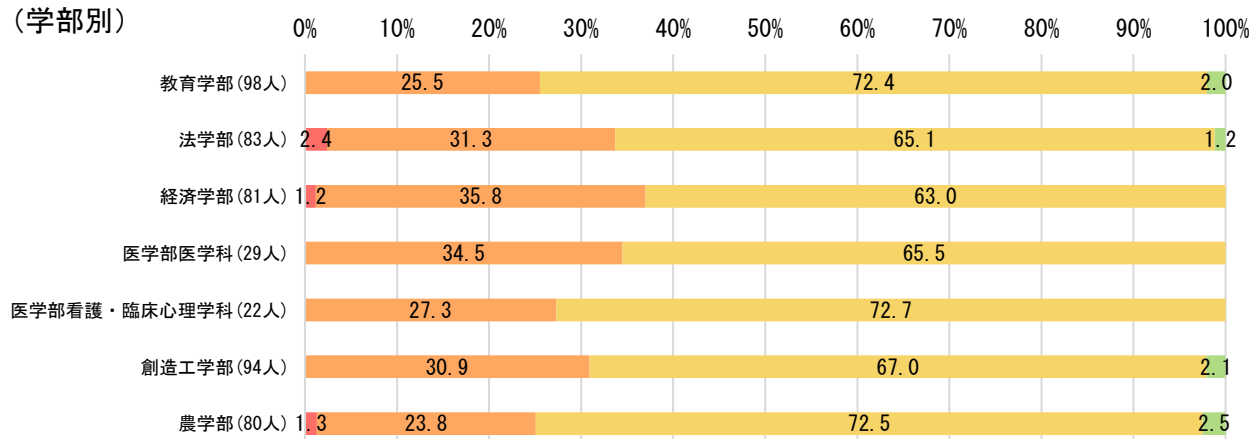
食事を3回とっている学生が68.2%と前回調査の65.1%よりやや上回りました。食事が1回という学生は0.8%と前回調査0.6%とほぼ変わりませんでした。規則正しい生活を送ることで、食事の回数を3回とることが可能になります。自炊、学食の利用、中食の利用など、様々な選択肢があるので、自身の生活にあわせて健康的な食生活を送りましょう。

■ 1回 ■ 2回 ■ 3回 ■ 4回以上

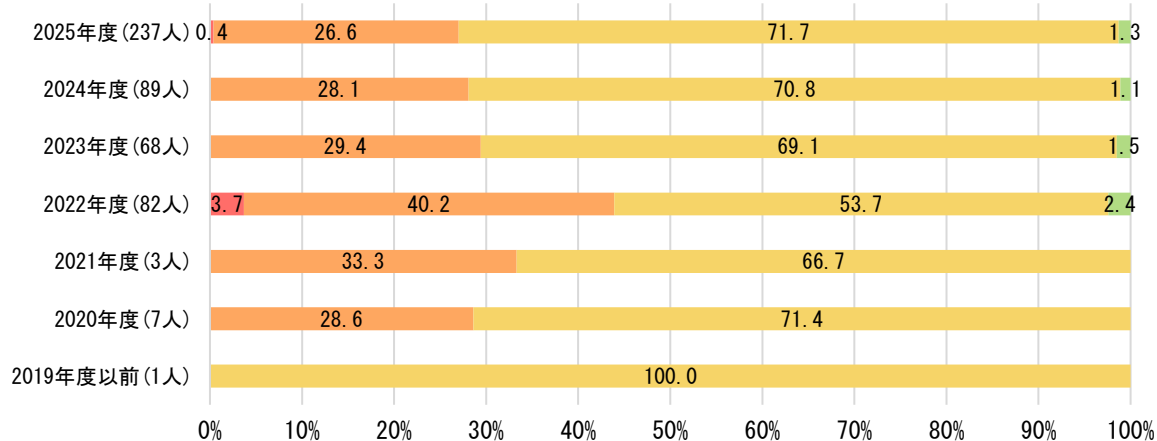
### 【全体(487人)】



### (学部別)



### (入学年度別)



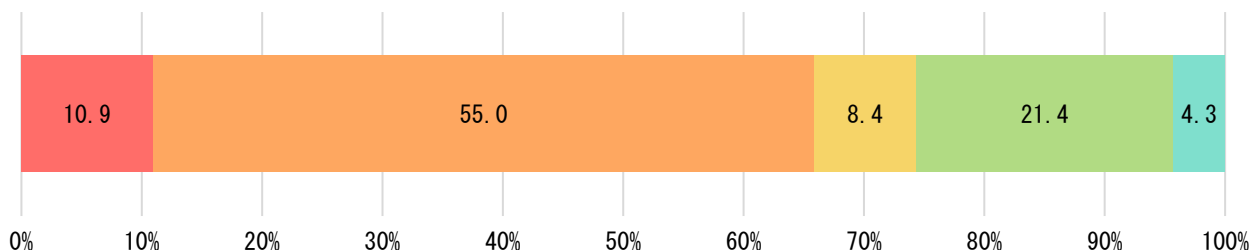
## (7) 精神的ストレス

問62 あなたは日常生活でどの程度精神的なストレスを感じていますか。

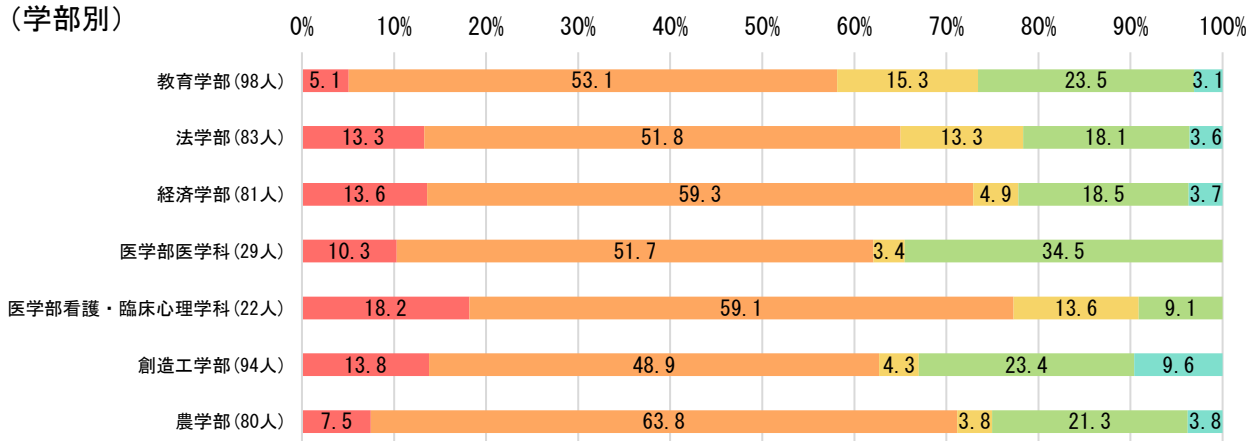
精神的なストレスについて、「非常に感じている」という学生は10.9%と前回調査の5.1%の倍の数値となりました。「たまに感じている」という学生は55.0%であり、精神的ストレスを抱えている学生は全体の6割を超える結果でした。回答の選択肢が今回の調査から若干変更となったため、単純な比較はできませんが、ストレスを感じている学生が多くなった可能性があります。学部別にみると医学部看護・臨床心理学科で高くなっており、入学年度別にみると2年生がストレスを多く感じているようです。全学共通科目から専門科目にシフトする段階で科目の難易度が高くなり、勉強方法も工夫する必要が出るなど、様々な変化が起こります。自分にあったストレスへの対処法を見つけることが重要です。

■非常に感じている ■たまに感じている ■どちらでもない ■あまり感じていない ■全く感じていない

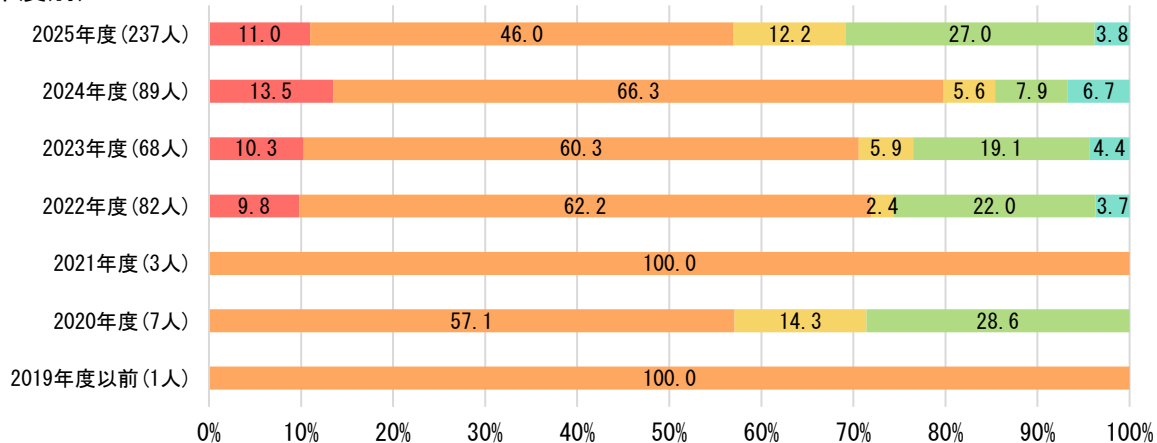
### 【全体(487人)】



### (学部別)



### (入学年度別)



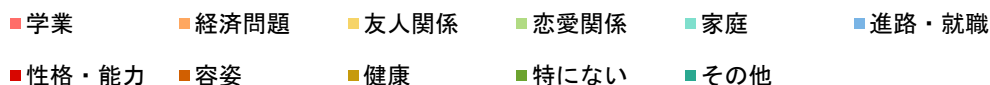
(8) ストレスの要因

問63 あなたにストレスをもたらしている主なものはどんなことですか。

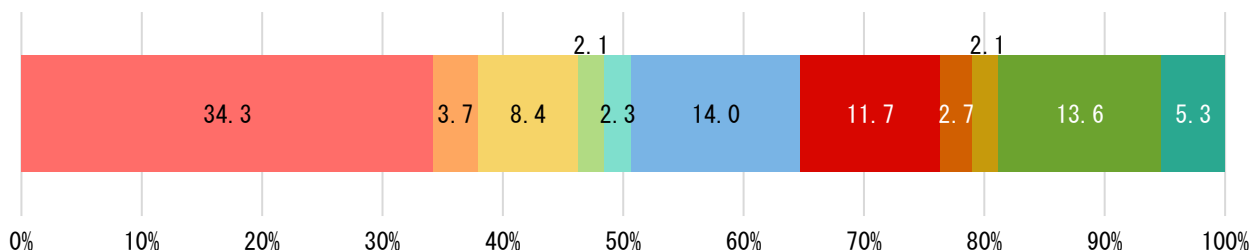
ストレスの原因としては、「学業」が34.3%と最も高く、次に「進路・就職」が14.0%でした。1位、2位の順位は前回調査と同様でした。

学部別にみると、ストレスの主な原因を「学業」と感じている学生は、医学部医学科、医学部看護・臨床心理学科で多いことが分かりました。一方、「進路・就職」をストレスの主な原因と感じている学生は、法学部で他の学部と比較して多いことが分かりました。

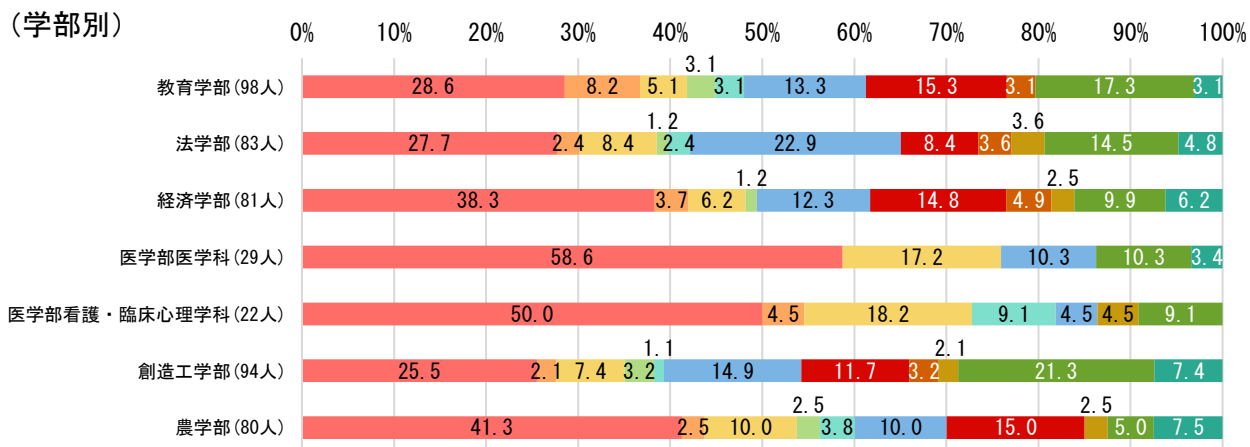
学業に関する悩みは、科目の担当教員やキャンパスアドバイザー、指導教員などに相談できると良いです。進路や就職に関する悩みは、キャンパスアドバイザーや指導教員、キャリア支援センターに相談することができます。



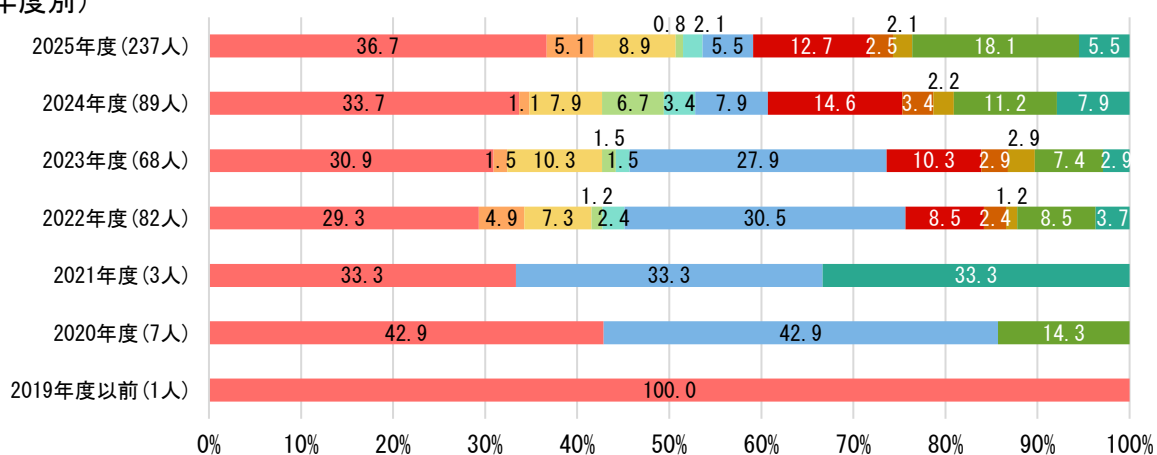
【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



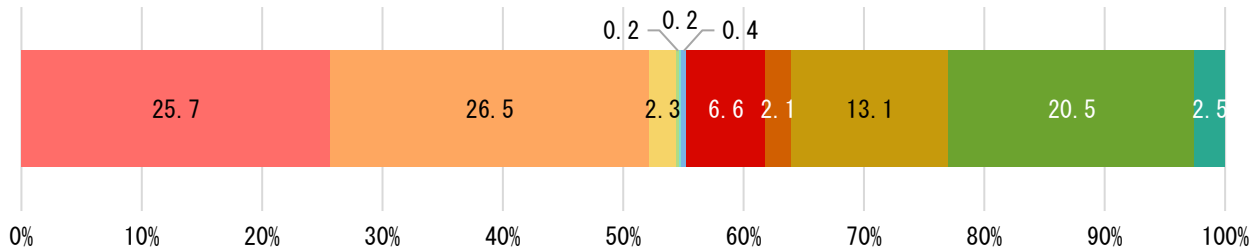
(9) 問題に直面した時の対処方法

問64 あなたは問題に直面したとき、どのように対処しますか。

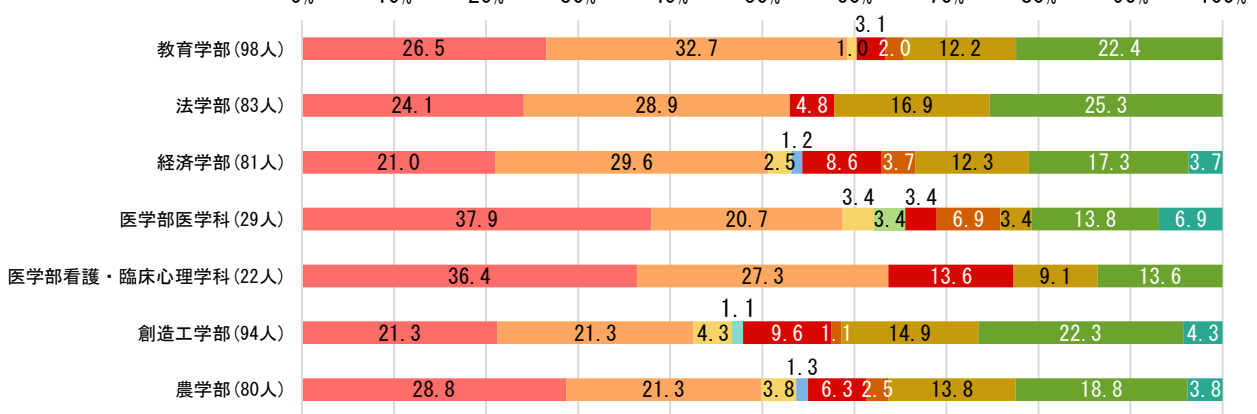
問題に直面した時の対処法として、「友人・先輩に相談する」が25.7%、「親・兄弟に相談する」が26.5%と身近な人に相談することができる学生が約半数という結果でした。「成り行きにまかせる」という回答が3番目に多い(20.5%)ですが、問題を先延ばしにすることで解決するのが難しくなる場合もあります。身近な人に相談しにくい場合は、学生相談など学生が無料で利用できる相談窓口もありますので、必要に応じて利用しましょう。

- 友人・先輩に相談する
- 親類・縁者に相談する
- カウンセラー(保健管理センター・バリアフリー支援室含む)等に相談する
- 本を読んだりして、自分で解決する
- 娯楽で解消する
- その他
- 親・兄弟に相談する
- 教員に相談する
- お寺・教会など宗教関係者に相談する
- スポーツで発散する
- 成り行きにまかせる

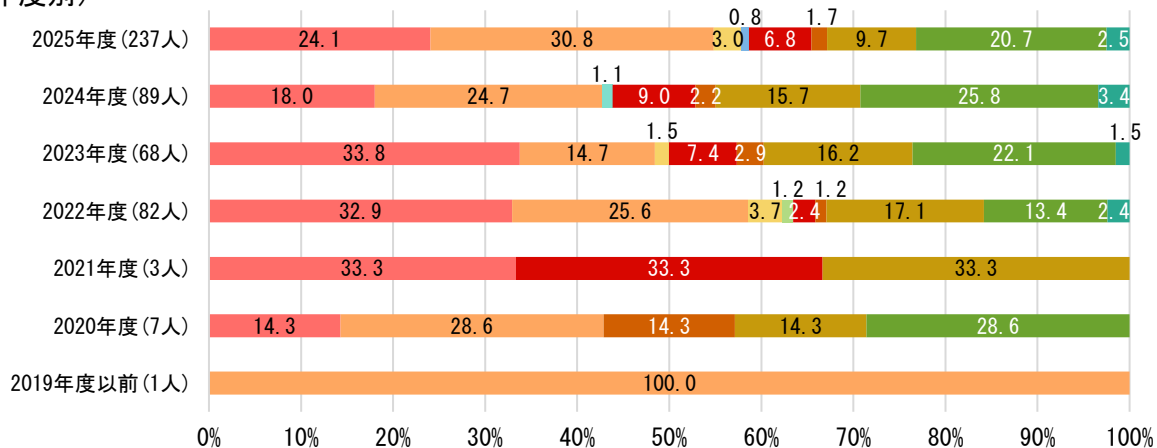
【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



問65 問64で、「その他」を選択した方はその内容を記述してください。

教育学部

回答無し

法学部

回答無し

経済学部

- ・ひとりでどうにかする
- ・自分でなんとかする
- ・問題が無くなるように更にその原因をやりこむ

医学部医学科

- ・いくつかの生成AIに相談、人に相談したければ、親友に相談する
- ・恋人に相談する

医学部看護・臨床心理学科

回答無し

創造工学部

- ・1人で悩む
- ・生成AIに聞く
- ・何もしない
- ・寝る

農学部

- ・自分でなんとかする
- ・その問題を管轄している人がいれば相談する

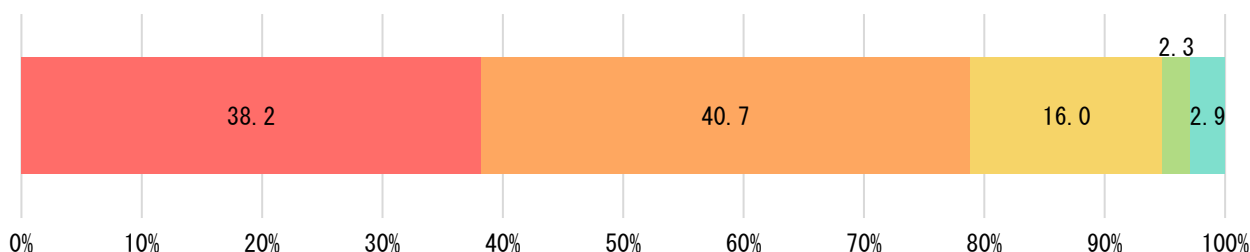
(10) 学内の友人関係

問66 あなたは大学内にどの程度付き合える友人がいますか。(同性異性は問いません。)

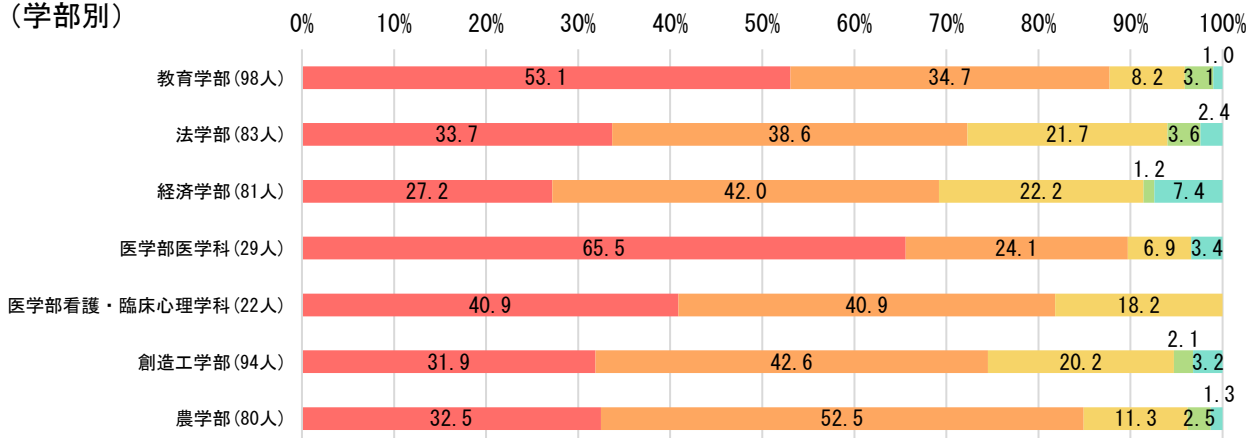
学内の友人関係について、「互いに希望や悩みを打ち明け合い、心を許し合える友人がいる」と回答した学生が38.2%と前回調査41.3%よりやや低くなりました。近年は、インターネットを通じて遠くの友人とも気軽に顔を合わせて会話できるなど、対面でなくとも友人関係を維持することができるようになっており、今回の結果に影響している可能性もあります。学部別にみると、医学部医学科、教育学部で学内に親密な友人がいる学生の割合が多いようです。学内に親密に付き合える友人がいることで、授業の情報交換ができるなどメリットもあります。自分にとって心地よい距離感で友人関係を構築できると良いと思われま

- 互いに希望や悩みを打ち明け合い、心を許し合える友人がいる
- ある程度親密に付き合える友人がいる
- 一緒に話をするが、それほど親密でない友人がいる
- あいさつを交わす程度の友人がいる
- 友人はいない

【全体(487人)】



(学部別)



(入学年度別)



### 第3章 自由記述欄への回答について

区分	回答者 所属学部	記述内容	回答
修学に関する記述	教育学部	いつも丁寧に親切なご指導をしてくださりありがとうございます。みなさまのおかげで充実した大学生活を送ることができています。さらに充実した大学生活を送るために、提案の一つさせていただきたいです。成績について、出力される日時を〇月〇週目のようなざっくりしたものでもよいので教えていただけます。またもう少し出力時期を早めに設定していただきたいです。定期試験の時期や先生方のご予定などにもよるとは思いますが、何卒よろしく願います。	貴重なご意見ありがとうございます。今回いただいたご意見は、今後の改善に向けてのご意見とさせていただきます。
	教育学部	グローバル教育に関する授業が欲しいです。	ご意見ありがとうございます。教育学部開設科目では「多文化共生論」や「異文化理解」などの授業があります。また、全学共通科目の主題科目などではグローバルな視点から考察する科目の開講がありますので、香川大学教務システムからシラバスを検索してみてください。
	教育学部	卒業要件の確認等、今後の人生に関わるようなことは、時間がかかっても良いので「このままで卒業できるか」といった程度のことは3年生くらいまでに伝えて欲しいです。	卒業要件は入学時にお渡ししています「履修の手引」にて確認をお願いしています。毎年実施しています各学年のガイダンスにて説明していますので、不明な点は指導教員、教務課学務係等へお問い合わせください。
	法学部	法学部の成績評価について、なぜ秀や優の比率が決められているのですか。他の学部でも同じなのでしょうか。	成績評価の分布に関するルールは部局ごとに異なります。比率の設定は、当該授業を受講した場合、この程度の成績分布になるだろうと想定の上、難易度を調整した授業内容及び評価方法になるよう組み立てるための、いわば目安となります。たとえば、受講者数等によってはありえませんが、どの授業も全員が秀になるほど容易な内容であってはなりません。一定の高度な知識・スキル提供の担保のために設定されております。
	法学部	Moodleの利便性向上について 現在、Moodleは短時間でログアウトされるため、頻繁な再ログインが必要です。学習の効率化のため、個人の端末を信頼済みとして登録し、ログイン状態を維持できる機能の追加をご検討ください。	ご意見ありがとうございます。現在のMoodleの設定では、ログインはMoodleのデフォルト設定のままのため、頻繁に再ログインが必要になる設定にはなっていません。もしかすると、使用している端末の設定が影響している可能性もあるため、一度ヘルプデスクへ相談に来ていただきますようお願いいたします。
	法学部	授業の録画配信による学習機会の拡充について 授業内容の復習をより深く行えるよう、講義の録画・配信システムの導入をご検討いただけませんか。体調不良でやむを得ず欠席した際の補講や、繰り返し学ぶことで、学生の学習効果は飛躍的に向上すると考えます。まずは設備の整えやすい大教室からでも導入を検討いただけますと幸いです。 ( <a href="https://www.restarcc.com/solution/education/foms-rec.html">https://www.restarcc.com/solution/education/foms-rec.html</a> )	法学部開設科目では、一部の授業において録画・配信を行っている場合はあるものの、授業ごとに方針・形態・内容等異なりますので、全授業一律で対応することはできません。対面授業の場合、基本的に教室にお越しいただくことを前提として授業が進められます。一度に全てを理解することは困難ですが、一つ一つのリアルタイムの授業における教員の説明を大事にいただき、最大限の情報を吸収いただければと思います。不明点が生じた場合は、授業後や教員のオフィスアワーに質問を行ってください。授業で紹介された参考書等もご活用ください。また、全学共通科目では、授業の講義形態は現在原則対面講義となっておりますが、コロナ禍以降の社会状況や学習効果もふまえて、今後の検討事項とさせていただきます。
	法学部	学部開設科目で抽選が行われるなら事前に言ってほしい	法学部開設科目（昼間コース）における受講者数制限については、Moodleや掲示板に掲載しております。修学案内（昼間コース）もMoodle上で毎年更新されておりますので、新年度開始前にご確認いただけますようお願いいたします。他学部開設科目履修時には、当該学部の掲示板や修学案内に記載のルールをご確認いただく必要がありますので、ご留意ください。
	法学部	自分の試験の解答を返却して欲しいです。返却が難しいならばMoodle上で自分だけが見られるようにするなど改善して欲しいです。理由は、勉強に役立てたいからです。	法学部開設科目の試験解答用紙の返却の有無については、申し訳ございませんが、全ての科目で一律の対応を行うことはできません。試験で問われた知識について、ご自身の見解を深めたい場合は、教員のオフィスアワー等をご利用の上、ご質問ください。成績に疑義がある場合は、異議申立制度をご利用ください。また、全学共通科目の試験解答用紙の返却の有無については、授業担当教員の裁量によりますが、今後の検討事項とさせていただきます。

区分	回答者 所属学部	記述内容	回答
修学に関する記述	法学部	授業の受講者数制限を、zoom等を活用してできるだけ撤廃して欲しい	法学部開設科目の受講者数制限は、配当年次や当該授業の特性を考慮した上で優先的に受講できる学年等のルールが定められております。授業を実施するための適正な受講者数の観点から受講者数制限を実施しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。なお、文部科学省によって遠隔授業の上限が定められておりますので、遠隔授業をあまり多く設けることはできません。また、全学共通科目においても、授業の特性や内容等の判断により、受講者数を設けている場合があります。今後の検討事項とさせていただきます。
	法学部	授業への「出席」を重視しすぎていると感じる。具体的に言うと、「授業全体の3分の2以上の出席が必要」という決まりを見直すべきだと思う。例えば「出席20%・試験80%」のように、成績評価の方法に出席回数が含まれている授業に当該決まりを適用するのは理解できるが、「試験(もしくはレポート)100%」のように、成績評価の方法に出席回数が含まれない授業においても「授業全体の3分の2以上の出席」を学生に求め、3分の2に満たない場合は試験の成績に関わらず問答無用で単位取得が認められないというのは酷だと感じる。実験や実習を頻繁に行う理系学部の授業で出席回数を重視するのは分かるが、教授の講義を一方的に聞くことの多い文系学部の授業で「出席」をことさら重視する必要は無いと思う。	大学教育の基本方針である「大学設置基準」をもとに、香川大学では「香川大学成績評価及び単位の授与に関する規程」で、出席時間数の取扱いを「開講時数の3分の2以上」が必要と定めています。ただし、単位認定の際は同規程やシラバスの成績評価の方法にもつきますので、出席状況だけで直接単位認定につながるということではないという点は、ご注意ください。また、授業は、各授業で設定された到達目標に向けて設計されており、各回の授業で教員が学生にお伝えしたい内容があります。自学自習によって得られる知識もあるでしょうが、授業における評価は、いかにその授業内容を吸収し、血肉とすることができたかを測った結果となりますので、まずは出席いただくことに意義があります。自学自習のみで単位修得できる検定試験等とは異なりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
	法学部	年間取得単位数の上限や、授業履修の際の抽選をできる限り撤廃して欲しい。zoom等を活用すれば受講可能であっても、履修者上限により履修解除されるケースが学部科目ですら散見されるので、何とかして欲しい。	履修登録上限については、一つ一つの科目を大事に履修いただくために、自学自習時間等の学生負担も考慮の上、各学期又は年間で履修しうる限界を設けたものとなります。抽選に関しては、授業を実施するための適正な受講者数や各学生の受講機会の観点から行われるものとなります。なお、法学部開設科目では、教育効果向上のために実施されておりますが、完全な抽選では無く、学部科目の特性に応じ、優先的に履修できる学年等の一定のルールを定めております。また、全学共通科目では、授業の特質、内容等から少人数制としている科目もあり抽選科目が生じています。いただいた内容を、今後の検討事項とさせていただきます。
	経済学部	学生の授業を受ける態度がなっていない。ある程度は自己責任だが、あまりにも不適切な態度の人が多く感じる。それを可とする雰囲気さえ大学全体にある。それではこちらの向上心も削がれる。この環境そのものが面白くない。	貴重なご意見ありがとうございます。今回いただいたご意見は、今後の改善に向けてのご意見とさせていただきます。
	経済学部	公欠届を全ての学部でネット提出できるようにしてほしい。	ご意見ありがとうございます。欠席届については、学内で段階的にオンライン申請を導入しているところです。いただいた内容を、今後の検討事項とさせていただきます。
	経済学部	文系学部の大学院進学についてもっと知りたいです。	貴重なご意見ありがとうございます。今回いただいたご意見は、今後の改善に向けてのご意見とさせていただきます。
	創造工学部	1時間目を9時からにしてほしい(生協で朝ごはんを食べる時間が短い)	学内の多くの予定は現在の授業時間を基に決められており、たとえ10分でも時間をずらすと、そのすべてに影響が及ぶこととなりますので、授業開始時刻を変更することは困難です。食堂は原則8時から営業しておりますので、1校時の開始時刻(8時50分)に間に合うよう逆算してご利用いただければと思います。
	創造工学部	課題の締切が分かりにくい	貴重なご意見ありがとうございます。課題の締切については、授業によって周知方法が様々かと思っておりますので、授業内の説明やMoodle、メール等で締切が分からない場合は授業担当教員へご確認ください。
	創造工学部	行事?がある際の休みが講義ごとに一致しないため手間が多い	貴重なご意見ありがとうございます。行事等による臨時休業日については、基本的に講義は休講となっておりますが、講義の特性上、実施されているものもあるようですので、今後の改善に向けての貴重な資料とさせていただきます。
	創造工学部	成績発表をもっとはやくしてほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の改善に向けての貴重な資料とさせていただきます。

区分	回答者 所属学部	記述内容	回答
修学に関する記述	創造工学部	全学共通科目の欠席届をオンラインで申請できるか、学務係でも受付できるようにしてほしい。本学に行く用事がない人からすれば不便すぎる。	ご意見ありがとうございます。 欠席届については、遠隔キャンパスの場合、所属学部の学務係で全学共通科目のものも受付可能です。周知が不十分でありましたので、再度周知徹底いたします。
	農学部	低学年においてアクティブラーニングよりも議論の前提となる基礎的な知識の教育を強化してほしい。	アクティブラーニングを受けても受講者がすぐに解答を導けるわけではないので、授業を通じて知識を習得したといった達成感が得られにくいかもしれません。 アクティブラーニングではアウトプット重視で、レポート提出を課すことが一般的です。そのレポート作成の際に、関連文献をしっかり読む形でも知識は修得可能です。こうしたプロセスを繰り返すことを通じて、徐々に、自発的に知識を獲得して論理的にアウトプットを出す、という思考回路が養われていくと期待されています。こうした観点でアクティブラーニングの有効性や必要性について理解してもらいたいと思います。
	農学部	農学部において、1・2年生向けに研究で必要となる数学（統計学以外）の講義をしてほしい。	農学部の一部の研究室では、数学の基礎（主に微分積分学、線形代数）の履修が研究活動に必要なものかもしれませんが、それらをあまり必要としない研究室が大部分なので、農学部講義での数学の基礎科目を多く提供することは難しいと考えられています。当面は、全学共通科目で提供される数学関連授業の履修を期待しています。数学を必要とする研究室に所属希望であれば、その研究室の教員にどのような数学の勉強をすべきかについて事前に積極的に尋ねてほしいと思います。
	農学部	学務システムのUIを改善してほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。 学務システムのUIは製造元が提供する仕様であり、大学が自由に改変することには限界があります。しかし、学生の皆さんの利便性向上を目的として、操作マニュアルの整備をより一層進めてまいります。
	農学部	農学部において3年前期から分属になったのはいいが、先生方が研究室での指導方法に困っており、特に指導が受けられていない。前期から所属する意義がよく分からなくなっている。	3年前期の指導については学部全体で特に統一した指導基準は設けられておらず、指導教員の裁量に任されています。指導教員に、3年前期にどのような勉強をしたらいかがを積極的に尋ねて、教員から推奨されたテキストを自発的に読み進めることも考えてみてはどうでしょうか。そのような姿勢を持った学生を、教員側は歓迎するはずで。
	農学部	1年生の必修科目講義の評価を100%テストでつけるのをやめてほしい	成績評価で筆記試験の点数へのウェイトが高くなる理由としては、教員が学生に基礎事項の習得を期待している、それを試験で確かめたいと考えているからではないかと推察されます。成績評価は教員の裁量に任されているので、回答者（カリキュラム委員会）としては介入が難しいです。教員の成績評価の方針を推し量って、日常的な授業の予習復習に注力することを優先してもらいたいと考えます。
	農学部	本当にためにならない授業ばかりでうんざりしています。「学び」や「成長」などと耳障りのいい言葉を並べているだけで、実際に行動し、結果を出している学生をまともに評価しようという気すら感じられません。中身の無い形式的な学びばかりで、周囲の学生の多くも刺激も意欲もなく、ただ時間を浪費しているようにしか見えません。それに加えて、学務の対応とカリキュラムは壊滅的です。キャンパス間の移動が必要な授業をまったく考慮せず、ほとんどの学生にとって履修不可能な内容のプログラムを「誰でも取れます」みたいな顔で宣伝してくるのは、はっきり言って詐欺です。そのせいで留年したり、病気になった友人もいます。大学としての機能をまったく果たしていません。テストの「救済措置」なども論外です。落単は落単。基準を下げてまで卒業を促し、SNSで「就職率100%」などと公表する姿勢には反吐が出ます。やる気のある学生ほど不利になり、理不尽な制度に振り回され、心身ともに削られていく。今の香川大学は、やる気のある学生を真っ先に潰す大学です。こんな状況で、遅刻や不正、内職を咎める資格なんて大学側にはないと思います。そもそも、そうせざるを得ない環境を作っているのが香川大学です。カリキュラムはほとんど意味がなく、学生の努力と時間を軽視した運営がまかり通っています。香川大学が「教育機関」を名乗っていること自体、もはや冗談にしか思えません。	ご意見について、深く受け止めております。 分散キャンパスによる移動の負担、時間割上の不便、履修のしづらさ、授業内容や評価方法への不満など、今回ご指摘いただいた事項はいずれも重要な課題であり、大学として真摯に検討すべきものと認識しています。 これらの点については、既に一部の改善を進めておりますが、十分でない部分が残っていることは否めません。今後とも、授業運営・学修支援・カリキュラムの設計や説明方法を含め、関係部署と連携しながら改善に取り組んでまいります。 いただいたご意見は、教育環境の向上に直結する大切な情報です。今回のご意見に改めて感謝申し上げ、引き続き、率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。 なお、個別のご相談も受け付けておりますので、農学部学務係までお越しください。
関教職する員に記述	法学部	法学部・経済学部の事務手続き効率化について両学部の窓口が統合されており、学生・職員双方にとって分かりにくい状況があるかと存じます。窓口の分離、または担当者が明確に分かる案内表示の設置を希望します。	法学部・経済学部どちらの職員でも対応できる案件と、当該学部の職員又は特定の職員で無ければ対応できない案件があります。 窓口の統合は、前者の意味での効率化が図られた結果となります。学生の方には学生証の提示をお願いできればと思います。

区分	回答者 所属学部	記述内容	回答
教職員に関する記述	医学部医学科	医学部学務課に奨学金に関する書類の提出方法について問い合わせたところ、本学の奨学金担当課に聞くように伝えられた。学務でも取り扱うのであれば、ある程度説明できるようにしてほしい。	各キャンパスの学務係・学生係では、奨学金関係書類の取り次ぎなど一部の手続きを行っておりますが、奨学金制度は複雑で、内容によって対応方法が異なる場合があります。そのため、詳細な確認が必要な場合は学生生活支援課へ直接お問い合わせいただくのが確実です。今後も学務係・学生係と学生生活支援課との連携を図り、学生の皆さんが円滑に手続きを進められるよう努めてまいります。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。
	創造工学部	学務係の仕事ぶりが非効率的であると感じる場面が多い、業務担当が変わった際の引継ぎも出来ておらず、業務内容のマニュアル化が進んでいないように感じる。情報伝達も遅く日程調整等で困ったことがしばしばある。窓口での対応も職員によっては高圧的な場合があり、改善すべきである。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の改善に向けての貴重な資料とさせていただきます、より良い対応ができるよう努めてまいります。
	創造工学部	積極的に動きましょう。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の検討に役立てたいと思いますので、具体的な要望がございましたらお聞かせ願います。
施設・設備に関する記述	教育学部	冷房の設定温度を28度に自動で設定し直すのをやめてください。28度では暑すぎて授業に集中できません。	光熱費の高騰により全学的に実施しています。ご了承ください。
	法学部	法学部棟は他の建物に比べて老朽化が進んでいると思います。	将来的には改修がされるかと思いますが、予算や工事計画の関係上、即座の対応はできかねますので、ご容赦ください。
	法学部	自習室の利用時間拡大について 土日祝日も平日と同様に学習時間を確保したく、自習室の開館時間延長を希望します。特に学生証で入退室管理されている学習室だけでも、平日と同様の時間帯で開館していただけると大変助かります。	法学部の自習室は、安全の観点から、平日と休日で利用可能時間帯が異なっておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 また、図書館（中央館）1階の学習室では、学生証・職員証で入室管理していますが、閉室時に図書館職員による点検・施錠を行うため、学習室の開室時間は図書館の開館時間と同時間帯となっております。現在の図書館の開館時間は、授業時間や利用状況などをとらえ定められており、開館時間の延長には光熱水料費などのコストがかかることから、土日祝日の開館時間を平日と同じように延長することは難しい状況です。
	法学部	給水機を置くべき	水分補給に関しては、各所に設置された自動販売機や生協ショップ等をご利用いただけますようお願いいたします。なお、幸町キャンパスの第一体育館、第二体育館にウォータークーラーを設置しております。
	法学部	泡で出る石鹸を各手洗い場に置いてほしい。（最低、各階には1つ）	手洗い用の石鹸の形態に関しては、各人のお好み等あるかと思いますが、設置された石鹸は、使用にあたって必要最低限の効能は満たしておりますので、ご安心ください。
	経済学部	スマホ充電スペースがあったら嬉しい	貴重なご意見ありがとうございます。今回いただいたご意見は、今後の改善に向けてのご意見とさせていただきます。
	経済学部	トイレをもっときれいにしてほしいです。扱い方が適当でない人もいられるため、警告などを全体にほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。今回いただいたご意見は、今後の改善に向けてのご意見とさせていただきます。
	経済学部	幸町北キャンパスで汚いトイレが多い。	ご指摘ありがとうございます。清掃業者と相談させていただきます。
	経済学部	和式のトイレが多いので減らさなくてもいいので洋式を増やしてほしい	貴重なご意見ありがとうございます。今回いただいたご意見は、今後の改善に向けてのご意見とさせていただきます。
医学部医学科	医学部体育館の使用スケジュールがいっぱいなので、医学部キャンパスに体育館を増設するか、農学部体育館の改修・補強を行っていただきたいです。	医学部学務課へはサークル間で調整済みの使用予定をいただいています。今一度サークル間で使用予定の調整を行っていただければと思います。 また、医学部体育館の増設、農学部体育館の改修・補強については、敷地の問題・費用の問題から、前向きに検討することは難しい状況です。	
創造工学部	wi-fiが繋がりにくい場所があり、PCを使う際に困ることがあります。	具体的な場所につきまして、教育情報推進支援センターの「香大生問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。 調査のうえ、その場所が実際に繋がりにくく、また利用者が多く改善を要すると判断した場合は、適宜改善を実施します。	

区分	回答者 所属学部	記述内容	回答
施設 ・ 設備 に 関 す る 記 述	創造工学部	駐輪場にずっと置かれている自転車がある気がします。特に屋根付き駐輪場で使っていない自転車があると、雨のときに困ります。	貴重なご意見ありがとうございます。 幸町キャンパスでは、放置自転車・バイクの処分を年に1度行っております。 林町キャンパスでは、該当する部署に通知するとともに検証し、今後の改善に向けての貴重な資料とさせていただきます。
	創造工学部	創造工学部林キャンパスの自動ドアの感が悪く、通れるまで待ち時間が必要⇒感度を上げて欲しい。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回いただいた意見は該当する部署に通知するとともに検証し、今後の改善に向けての貴重な資料とさせていただきます。
	創造工学部	創造工学部のキャンパスの換気が悪いので、窓を開けやすいようにしてほしい(ブラインドをカーテンにし、風が吹いても音が立たないようにするなど)	貴重なご意見ありがとうございます。 今回いただいた意見は該当する部署に通知するとともに検証し、今後の改善に向けての貴重な資料とさせていただきます。
	創造工学部	創造工学部のキャンパスの自転車場にある、処分対象の車両(バイクなど)の対処を早くやってほしい。(駐輪場の利用の邪魔になっている)	貴重なご意見ありがとうございます。 定期的に確認作業を行っておりますが、今後の改善に向けての貴重な資料とさせていただきます。
	創造工学部	林キャンパスも、図書館を22時まで通常開館してほしい。(学習環境が幸キャンパスより悪い。)	林町キャンパスの図書館(創造工学部分館)の運営体制では22時までの通常開館実施は困難ですが、「開館時間外利用願」の提出により、授業期は原則祝日を除き24時まで、自習、本の貸出返却、メディアコーナーのパソコン利用が可能で、ぜひこちらを活用して、それぞれの学習を進めていただければと考えております。
	創造工学部	各キャンパスにATMを置いてほしい(教科書を買う際に最寄りの郵便局などに行かないといけない場合に、授業に間に合わない可能性があるが、キャンパスにあれば、スムーズに対処できる。学習効果も上がる。)	貴重なご意見ありがとうございます。 今後の検討事項とさせていただきます。
	創造工学部	和式トイレの人気のないため、洋式トイレに置き換えを進めてほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回いただいた意見は該当する部署に通知するとともに検証し、今後の改善に向けての貴重な資料とさせていただきます。
	創造工学部	エアコン設備の改善について いつも学習環境の整備ご尽力いただきありがとうございます。 猛暑が続いている中、現在以下のようなエアコン問題が発生しています。 ・修理してもすぐに不調になる ・エアコンが使用できない研究室がある ・27℃設定の集中管理ではとくに広い講義室では冷房効果が不十分で授業中に暑さを感じる状況 こうした現状を踏まえ、エアコン設備の点検・修理の強化や温度設定の見直しなどをご検討いただくと幸いです。よろしく願いいたします。	貴重なご意見ありがとうございます。今回いただいた意見は該当する部署に通知するとともに検証させていただきます。空調が使用できない等の不具合については随時ご相談ください。 引き続き、省エネルギー対策および経費削減にご理解、ご協力をお願いいたします。
	創造工学部	テラスやベランダの席が使えると気分転換になってよい	貴重なご意見ありがとうございます。 生協食堂にはテラス席がございますのでご利用ください。
	創造工学部	雨天時に非常に不便に感じるので、建物間に屋根を設置してほしい	貴重なご意見ありがとうございます。 すべての建物間に屋根を設置することは経費等の面から難しい状況ですが、具体的に不便に感じている建物間がございましたらお聞かせ願います。 今後の改善に向けての貴重な資料とさせていただきます。
	創造工学部	林町のトイレの洋式の数を増やしてほしい。また、和式のトイレにものを置ける棚があると嬉しい。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回いただいた意見は該当する部署に通知するとともに検証し、今後の改善に向けての貴重な資料とさせていただきます。
	創造工学部	体育館が暑すぎるので、エアコンか扇風機を設置してほしい。	幸町キャンパスの第一体育館、第二体育館ともに扇風機を備えておりますので、適宜ご使用ください。
	創造工学部	授業間の空きコマに過ごすスペースがあればいいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 創造工学部には、授業の空きコマに過ごすための専用スペースはございませんが、自習室や図書館、生協食堂をご利用いただけます。自習室は、6号館5階の教室が授業で使用していなければ自主学習スペースとなっております。
	創造工学部	林町キャンパスのエアコンの設備を良くしてほしい	貴重なご意見ありがとうございます。 今回いただいた意見は該当する部署に通知するとともに検証させていただきます。空調が使用できない等の不具合については随時ご相談ください。引き続き、省エネルギー対策および経費削減にご理解、ご協力をお願いいたします。

区分	回答者 所属学部	記述内容	回答
施設・設備に関する記述	創造工学部	林町キャンパスのトイレ設備を更新してほしいです	貴重なご意見ありがとうございます。 今回いただいた意見は該当する部署に通知するとともに検証し、今後の改善に向けての貴重な資料とさせていただきます。
	農学部	所属学部以外でも学生証で構内に入れるようにしてほしい。サークル活動のために、所属学部でない学部での構内に入ろうとしたら学生証が認識されず困ったことがある。	ご要望は所属学部以外が管理する建物への入構に関するものと推察しますが、サークル活動による入構は原則認めておりません。ご理解くださいますようお願いいたします。
	農学部	図書館の3階の個室自習室のような場所を作ってほしい。	農学部には、池戸会館1階奥の自学自習室、BW棟2階には学部学生自習室があります。オンライン面接等で教室の利用（要予約）も可能です。
	農学部	図書館の自習室のそばに充電コードをつけてほしい	図書館内にいくつか電源延長コードを設置していますので、充電の際ご利用ください。電源延長コードは、カウンターにてお貸しすることも可能です。なお、機器それぞれの充電コードは、各自で準備をお願いします。
就職活動に関する記述	農学部	1年生でもでき、そしてカガタスUCなど少し手を出しづらいような形式を避けた上で、インターンシップの参加募集をして欲しいです。	香川大学生の低学年から参加できるインターンシップやオープンカンパニーの情報は、カガタスUCから多くの情報を得ることが可能となっています。カガタスUCの登録は、香大ID（s+学生番号）とPWで簡単にログインできますので、利用をおすすめします。 また、カガタスUCを経由せず、本学学生向けに届いたセミナーやオープンカンパニー等の案内を確認・応募することも可能です（以下URL参照）。 <a href="https://kagawaverif.sharepoint.com/sites/msteams_d0897e/Lists/List6/001.aspx">https://kagawaverif.sharepoint.com/sites/msteams_d0897e/Lists/List6/001.aspx</a> その他にも、低学年から参加できるオープンカンパニー等の情報を得る手段としては、マイナビやリクナビ等の就職情報サイトがありますのでご利用ください。
	農学部	就活セミナーなどの開催日を見直してほしい。水曜日に開催されることが多く、農学部にも所属している身としては、参加が非常に困難である。	キャリア支援センターが開催するセミナー・ガイダンス・イベント等の中には、農学部キャンパスで木曜日午後開催しているもの、オンデマンド配信しているもの、土日等の休日開催のものもありますので、参加できるものにご参加ください。詳細なセミナー等の情報は、キャリア支援センターHP（ <a href="https://www.kagawa-u.ac.jp/career/pg527.html">https://www.kagawa-u.ac.jp/career/pg527.html</a> ）をご確認ください。 また、セミナーに参加できない場合でも、就職相談（オンライン対応可）での個別対応やカガタスUCに掲載している「香川大学就職手帳」に情報提供している内容もありますのでご利用ください。
大学生協に関する記述	教育学部	2022年の前期？ごろまでやってたカフェのモーニングを復活してほしい。たまに食べたくなるから、月1開催とかでいいので。	ご意見ありがとうございます。 当時のメニューが食材価格高騰により提供できなくなったのと、体制の問題で現状再開の見込みが立っていません。メニューを再検討しリニューアルという形で考えていますので、お時間いただけますと幸いです。
	教育学部	ボン酢付きのから揚げ弁当美味しいです	昨年4月から揚げのレシピをリニューアルしていました。ご意見ありがとうございます。引き続きどうぞよろしく願いたします。
	教育学部	食堂内における窓のサッシに溜まっている虫やほこりと、あらゆる食べ物の混ざったにおいが気になるため、清掃に力を入れたり、換気などでにおいと空気がこもらないように改善していただけると非常に嬉しいです。	ご不便おかけして申し訳ありません。 換気につきましては、人の出入りが多いため混雑するタイミングを中心に窓を開けしめすることで対応を検討します。ほこり等は定期的にスタッフによる清掃を実施するようにいたします。
	教育学部	生協のお弁当が揚げ物しかないの、種類を増やしていただけると嬉しいです。	ご意見ありがとうございます。 種類は定期的に見直して新商品を投入してまいりますのでぜひご利用ください。
	教育学部	土日の学食、ショップ営業を短時間でいいので再開してほしい	ご意見ありがとうございます。 日曜日の営業は当時（4年前）から引き続き採算の見通しが立たず休業しています。何卒ご理解の程申し上げます。
教育学部	食堂をきれいにしてほしい。	ご不便おかけして申し訳ありません。 定期的に清掃しておりますが、徹底するよう改めてスタッフへ周知いたしました。引き続きどうぞよろしく願いたします。	

区分	回答者 所属学部	記述内容	回答
大 学 生 協 に 関 す る 記 述	法学部	食堂の混雑緩和について 昼休みの食堂の混雑が著しく、食事の購入に長時間を要しています。比較的利用者の少ない時間帯の営業を休止し、そのリソースを昼休み時間帯のテイクアウト専用窓口の増設や、他業者のキッチンカーの出店を可能にするといった混雑緩和策に充てていただくことは可能でしょうか。	ご意見ありがとうございます。 体制（スタッフ）の勤務可能時間帯というのがそれぞれにあるため、昼休みにリソースを割くというのが余り現実的ではないというのが実態となります。ただ、おっしゃられているご意見というのは指摘通りかと思っておりますので、利便性向上のために対策を検討してまいります。
	法学部	食堂の量を増やして欲しい	量についてですが、レシートに表示している塩分量やカロリーなどには反映することができないのと、運用面でハードルが高いためできません。同じものをもう一つ取って頂くことやサイズを選べる商品をご選択いただくなどでご対応いただけますと幸いです。
	法学部	食堂もっとおいしくしてほしい	ご意見ありがとうございます。 引き続き美味しい食事を提供できるよう努めてまいります。
	法学部	生協ショップの閉まる時間を19:00にしてもよいと思う。	ご意見ありがとうございます。 今の利用状況では採算が合わないため見送りとしています。何卒ご了承ください。
	法学部	学食を安くして欲しい。毎回600円は超えてしまうので高い。	メニューの価格については、昨今の食材費高騰や燃料費高騰の影響も考慮して決定させていただいております。現状では適正価格にてご提供しているものと思っておりますが、引き続き仕入努力やメニュー価格帯の拡充などの努力も続けてまいります。
	法学部	食堂の床、壁、机、机を仕切るための区切り板が非常に汚いので不衛生だ、と毎回食堂を利用するたび思います。そのため、衛生面を徹底して欲しいです。	ご不便おかけして申し訳ありません。 定期的に清掃しておりますが、徹底するよう改めてスタッフへ周知いたしました。引き続きどうぞよろしく願いたします。
	医学部看護学科・臨床心理学科	医学部食堂の収容人数が少なく、どうしても混んでしまうため、幸町キャンパスのカフェのようなミールカードを使用できる他の食堂が欲しい。	食堂の増設については、敷地の問題・費用の問題から、前向きに検討することは難しいと思います。
	医学部看護学科・臨床心理学科	食堂を利用していますが、去年より利用額が少なくなつて、朝ごはんを食べない日もあります。	ご利用いただくコースにより1日の利用上限額を設定しております。各コースともに1日の利用上限額は昨年よりも上限をアップしておりますので改めてお申込をされたコースについて内容をご確認ください。
	創造工学部	お弁当もっと安くして欲しいです。あとホットスナックとか置いて欲しいです。	ご意見ありがとうございます。 食材価格が高騰し続けているためメニューそのものの価格を安くするというのができません。食堂でテイクアウトが可能ですのでぜひご利用ください。
	創造工学部	幸町の食堂に虫が多いのでどうかして欲しい。	ご不便おかけして申し訳ありません。 定期的に清掃しておりますが、徹底するよう改めてスタッフへ周知いたしました。引き続きどうぞよろしく願いたします。
	創造工学部	食堂に虫が頻繁に入ってくるのが少し厄介	ご不便おかけして申し訳ありません。 定期的に清掃しておりますが、徹底するよう改めてスタッフへ周知いたしました。引き続きどうぞよろしく願いたします。
	農学部	正午ごろの農学部生協食堂の混雑を緩和してほしい。（特に1年生が三木町キャンパスを利用する水曜日）	生協としては、大学より施設をお借りしているため、すぐに解決にはなりません。農学部食堂については、食事が終わったらすぐに離席いただくこと、食事以外で席を使用しないこと等で混雑は多少緩和されます。また空コマがある場合などは時間差（分散）利用をしていただけますと幸いです。
	農学部	ICカードにチャージする機械を新札に対応できるようにしてほしい	部品が調達できないため現状では見込みが立っておりません。 ご不便おかけしますが、有人レジにてお申し出いただけますと対応できますのでご利用ください。
	農学部	食堂で体調が悪い時に食べられるお腹に優しいメニューを出して欲しいです。油物が多くて選びにくかったです。あとお弁当も揚げ物ばかりなので野菜が多い健康的な弁当があるととってもいいのかなと思いました。ご検討よろしくお願いします。	ご意見ありがとうございます。引き続き検討してまいります。
農学部	食堂の椅子がガタガタのものが多。ガタつく椅子は変えて欲しい	ご不便おかけして申し訳ありません。 椅子のガタツキがありましたら調整いたしますのでスタッフまでお申し出ください。	
農学部	生協でサラダを販売して欲しい。野菜を摂りたいけど、食堂に行けないときがあるから。	ご意見ありがとうございます。 利用予測や内容を検討させていただいたうえで判断いたします。	

区分	回答者 所属学部	記述内容	回答
関大 する生 記協 述に	農学部	農学部キャンパスにもカフェを設置して欲しいです。	生協は大学の施設をお借りして事業をさせていただいております。施設拡充については、今後も大学と協議の上、大学のみなさんと生協の思いが一致できるよう、検討を重ねたいと思います。
そ の 他	教育学部	お金配布して欲しいです。	現金給付は難しいですが、「学生応援Day」を設け、昼食提供等を行っておりますのでご参加ください。
	教育学部	とても充実した大学生活が送れています。 香川大学に入学してとても良かったと感じています。	ありがとうございます。 今後も充実するよう邁進いたします。
	教育学部	もっと休学や留学をする人が増えたら楽しいだろうと思う	留学説明会を開催し留学先の情報提供を今後も続けたいと思います。
	教育学部	質問の下に「送信」ボタンがあり、終わりかと思っていたら回答に応じてさらなる質問に答えなければならない、という落胆が何度も生じてかなりイライラしました。(本調査についてです)	貴重なご意見ありがとうございます。 次回に向けて記載方法を検討させていただきます。
	教育学部	奨学金や学生応援Dayなど、経済的に困窮している人への支援に力を入れている点が良かった。	ありがとうございます。 今後も充実するよう邁進いたします。
	教育学部	特にありません。とても充実した生活を送れています。	ありがとうございます。 今後も充実するよう邁進いたします。
	法学部	南キャンパスの警備が北キャンパスに比べて十分でないと思います。	幸町南キャンパスの安全を担保するため、警備員の配置等の警備体制を整えています。 何かお困り事が発生しましたら、お近くの関連の窓口や職員にご相談いただけますようお願いいたします。
	法学部	北キャンパスから南キャンパスに移動する際、車をかなり待たせてしまっているときがあります。迷惑ではないかと少し気になります。	ご意見ありがとうございます。 通行する車両との円滑な共存のため、無理のない範囲で交通状況にご配慮いただければと考えております。
	法学部	学生主体での環境美化活動の提案 日頃の清掃員の方々の業務に感謝しつつも、より美しい学習環境を維持するため、学生が主体となる清掃日を設定はいかがでしょうか。自分たちの学ぶ場を自らの手で綺麗にすることで、施設への愛着や公共のマナーに対する意識、ひいては愛校心の向上にも繋がる有意義な機会になると考えます。	月に1度、学生による幸町キャンパス内清掃活動である「プチクリーンキャンパス」を実施しています。 参加をご希望の場合は、学生生活支援課までお問い合わせください。
	法学部	大学運営への期待 改革の必要性が生じてからの事後対応に留まらず、学生のニーズや社会の変化を先取りするような、主体的かつ継続的な大学改革を進めていただくことを期待しております。	ありがとうございます。 ご期待に添えるよう、学生の皆様のニーズや社会の変化にアンテナを張り巡らせ、より一層の改革を進めてまいります。
	法学部	日本学生支援機構の奨学金受給決定者向けの説明会をテスト期間ではない時にしてほしい。テストがあつて行けない。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 説明会の時期が試験期間と重なり、ご不便をおかけしました。 令和8年度以降の日本学生支援機構奨学金採用者向け説明会については、実施方法の見直しを現在検討しています。
	法学部	各種申請書類の電子化・オンライン提出を可能な限り推進していただけると、学生の利便性が大幅に向上し、大学全体の業務効率化にも繋がると考えます。	本学においては、「香川大学デジタルONE戦略」を定め、情報化・DXによる業務の効率化を強く推進しているところです。 各種申請書類の電子化やフォーム等の利用については随時働きかけや取り組みを行っております。
	法学部	レンタサイクルを香大でも借りることができるようになったら良いと思う。	本学学生の自転車保有率は高く、利用状況を考慮すると、現段階で導入の検討は困難な状況です。 貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。
法学部	ATMで硬貨が使えるようにしてほしい。	ATMは各金融機関にて管理等を行っております。 ご要望につきましては、該当の金融機関へ直接お寄せくださいようお願いいたします。	
経済学部	学生がオンライン上で交流/情報交換できるようなプラットフォームがほしい	学生向けのプラットフォームやアプリケーションについては、以前から検討を行っているところですが、今のところご案内できる情報がありません。 ご意見については今後の議論の参考とさせていただきます。	

区分	回答者 所属学部	記述内容	回答
その他	経済学部	学習する場所ではあるのはわかっていますが、もう少し活気(面白い、来て楽しい感覚を生み出すため)がほしい	貴重なご意見ありがとうございます。今回いただいたご意見は、今後の改善に向けてのご意見とさせていただきます。
	経済学部	いつもお世話になっています。就職活動を通して学生プロジェクトでの活動をやってよかったと思う瞬間がたくさんありました。これからも学生が地域で活動できる場面を増やしていただけると嬉しいです。香川大学に入学できてよかったです。卒業するまで後少しですが今後ともよろしく願いいたします。	貴重なご意見ありがとうございます。
	医学部医学科	医学部で利用しているwebclassで、試験結果など重要な内容についてお知らせされることがある。通知が無いために見逃すこともあるため、新しく投稿された場合はメールなどで伝えられるよう変更して欲しい。	授業に関する通知は、WebClassの他、学内の掲示板にてお知らせしている場合があります。また、授業の中で担当教員から通知方法をアナウンスする場合もあるかと思えます。どのような周知を行っているか個別に確認しますので、医学部学務課まで、具体的な講義名をお知らせいただけますようお願いいたします。
	医学部看護学科・臨床心理学科	学生寮に住んでいるにもかかわらず、医学部キャンパスへのアクセスが悪く交通費・通学時間が長くなっていることが悩みです。以前は存在したキャンパス間のシャトルバスや、ことでん高田駅から医学部キャンパスへのバスの増便等があれば嬉しいです。	キャンパス間シャトルバスは利用者の低迷や燃料費高騰等の状況を鑑み、令和6年度から廃止しており、再開の目途はたっておりません。ご理解くださいますようお願いいたします。また、ことでん高田駅から医学部キャンパスへのバス増便については、琴平電鉄株式会社との協議が必要となりますが、利用者数から便数を決定されていると思いますので、利用者数の増が見込まれない場合は、増便はされないと思います。
	創造工学部	幸町キャンパスからセブンイレブンに行く際に不正横断が見られるため、だめな行為であるならきちんと注意してほしい(または、無信号式の横断歩道を設置してほしい)。(たまに生協職員や学校教員も横断しており、国の教育施設として恥ずかしく感じる。また、学生に示しがない。)	該当箇所は横断禁止場所ではないため、一律に横断を禁止することは困難な状況です。ただし、貴重なご意見として香川県警察への要望を検討します。
	創造工学部	医学部や創造工学部までことでんを延伸してほしい。(学生証にイルカが付いている意味がない学部がある。または、バスを生協アパートをできるだけ回るように走らせてほしい。)	大学として鉄道の運行や路線延伸を決定する権限はございませんので、具体的なご要望につきましては、琴平電鉄株式会社まで直接お寄せくださいますようお願いいたします。
	創造工学部	学生寮をもっと大学から近いところに設置してほしい	全学対象の学生寮の移設や新設については、敷地や予算の都合上、現時点での検討は困難な状況です。ご理解くださいますようお願いいたします。
	創造工学部	将来的な創造工学部生寮の設置	貴重なご意見ありがとうございます。今後の検討事項とさせていただきます。
	創造工学部	幸町キャンパスのセブンイレブン側の自転車通行帯に街路樹が伸びており、車道側に逸脱して避ける必要があるため、管理者に連絡して、適切に管理してほしい。	該当箇所の街路樹は高松市が管理を行っています。ご要望につきましては、高松市まで直接お寄せくださいますようお願いいたします。
	農学部	キャンパス間のバス運行を再開していただけるとありがたいです。	キャンパス間シャトルバスは利用者の低迷や燃料費高騰等の状況を鑑み、令和6年度から廃止しており、再開の目途はたっておりません。ご理解くださいますようお願いいたします。
農学部	セミナーや外国語のイベントなどが水曜日に多いため、農学部や医学部、創造工学部の学生が参加できない。ほとんどの学生が参加できる曜日にしてほしい。	授業との兼ね合いで、全学部学生が参加できる曜日はなく、対応することが難しい状況です。なお、グローバル・カフェでは、毎日お昼休みにクラスを実施しています。イベントは水曜日に限らず、さまざまな曜日に開催しています。また、他キャンパスの学生の皆さんにも参加していただけるよう、夜(18時～19時)のイベントも行っています。より多くの学生が参加しやすいよう、各キャンパスをつないだオンライン実施をさらに増やしていく予定です。ご希望があれば、各キャンパスへの出張イベントの開催も可能です。  具体的に対応してほしいセミナーやイベントがありましたら、各主催部局まで直接ご要望等をお寄せください。	
農学部	カダサポで落とし物一覧表が見れるようにしてほしい	カダサポではありませんが、香川大学ホームページにて、キャンパス内での遺失物(忘れ物・落とし物)リストを公開しておりますのでご確認ください。  香川大学HP>学生生活・就職>学生生活の手引き>拾得物・遺失物・貸出物品 <a href="https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/student_life/lost-found/">https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/student_life/lost-found/</a>	

